

令和6年度  
高崎健康福祉大学大学院  
健康福祉学研究科

講義概要

(修士課程・博士前期課程)

## 本学の授業とSDGsとの関連

シラバス内で授業内容と「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」との関連を示しています。関連する目標は番号で示されておりますので、履修の参考にしてください。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 17の持続可能な開発目標

目標 1.	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる
目標 2.	飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標 3.	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
目標 4.	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する
目標 5.	ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う
目標 6.	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
目標 7.	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
目標 8.	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する
目標 9.	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
目標 10.	各国内および各国間の不平等を是正する
目標 11.	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する
目標 12.	持続可能な生産消費形態を確保する
目標 13.	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
目標 14.	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標 15.	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
目標 16.	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
目標 17.	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

### ～シラバス内の表記について～

例として、授業内容が「目標 1」、「目標 3」、「目標 10」、「目標 16」と関連がある場合は下記のように表記します。

特に関連のある目標を示しています。空欄であるからといって、いずれの目標にも全く関連しない、ということではありません。

SDGsとの関連	①	③	⑩	⑯
----------	---	---	---	---

## 令和6年度 健康福祉学研究科 修士課程・博士前期課程 シラバス目次

医療情報学特論.....	1	社会福祉研究方法論.....	48
Medical Informatics.....	1	Research Methods of Social Welfare.....	48
病院経営特論.....	3	保健福祉調査特論.....	50
Theory of Hospital Management.....	3	Basic Research Methods in Health and Welfare Sciences.....	50
生体画像情報学特論.....	6	精神神経医学特論.....	52
Biological Imaging and Information Science.....	6	Neuropsychiatry research.....	52
データ分析特論.....	8	家族社会学特論.....	54
Advanced Data Analysis.....	8	Research of Family Sociology.....	54
医科学特論.....	11	子育て支援特論 I.....	56
臨床医学特論.....	13	Child Care Support (Mastered I).....	56
Fundamental Clinical Medicine.....	13	子育て支援特論 II.....	58
医療産業特論.....	15	Child Care Support (Mastered II).....	58
Healthcare Industry.....	15	コミュニティメンタルヘルスケア特論.....	60
医療情報学特論演習.....	18	Community mental health care.....	60
Medical Informatics Practice.....	18	食とメンタルヘルス特論.....	62
質的/量的研究特論.....	20	Mental health and eating attitudes.....	62
Qualitative research and Quantitative research.....	20	地域福祉特論.....	64
社会福祉研究方法論.....	22	Community Care System.....	64
Research Methods of Social Welfare.....	22	高齢者保健福祉特論.....	66
医療倫理特論.....	24	Health and Welfare for older adults.....	66
Medical Ethics.....	24	発達障害の脳科学と支援特論.....	68
医療経済学特論.....	26	Neuroscience of developmental disorders towards improvements of their support.....	68
Health Economics.....	26	福祉人材育成特論.....	70
健康情報学特論演習.....	28	Human Resource Development for a Person Engaged in Social Welfare Service.....	70
Healthcare Informatics.....	28	刑事司法精神保健ソーシャルワーク特論.....	72
生体信号処理特論演習.....	30	Forensic mental health social work.....	72
Biosignal Processing.....	30	貧困問題特論.....	74
生活援助工学特論.....	32	Poverty issue.....	74
Life Support Engineering.....	32	健康運動科学特論.....	76
医療情報システム構築特論演習.....	34	Health and Exercise Sciences.....	76
Construction of Medical Information Systems.....	34	社会福祉発達史特論.....	78
情報セキュリティ管理運用特論.....	36	Social Welfare Development History.....	78
Security Management in Cyber Domain.....	36	高齢者権利擁護特論.....	80
情報セキュリティ実装特論.....	38	Advocate for the rights of the elderly.....	80
Cyber Security Implementation in Practice.....	38	保健福祉学特別研究.....	82
情報セキュリティ監査特論.....	40	Seminar for Master's Thesis on Health and Welfare Sciences.....	82
Auditing and Testing in Cyber Security.....	40	食品栄養学特論.....	83
情報セキュリティ特論演習.....	42	Advanced Food and Nutrition Science.....	83
Cyber Security Exercise.....	42	食品学特論.....	86
医療福祉情報学特別研究.....	44	Advanced Food Chemistry.....	86
Healthcare Informatics Research.....	44		
質的/量的研究総論.....	45		
Qualitative research and Quantitative research.....	45		

応用食品学特論.....	88	Science I .....	124
Applied food science .....	88	食品栄養学総合演習 I .....	126
食品安全学特論.....	90	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	126
Advanced Food Safety .....	90	食品栄養学総合演習 I .....	128
調理機能学特論.....	92	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	128
Advanced Course on Functional Cookery Science..	92	食品栄養学総合演習 I .....	130
栄養学特論.....	94	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	130
Advanced Nutrition .....	94	食品栄養学総合演習 II .....	132
応用栄養学特論.....	96	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	132
Applied Nutrition.....	96	食品栄養学総合演習 II .....	134
分子生物学特論.....	98	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	134
Special Seminar for Molecular biology.....	98	食品栄養学総合演習 II .....	136
栄養生化学特論.....	100	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	136
Advanced Nutrition Biochemistry.....	100	食品栄養学総合演習 II .....	138
栄養生理学特論.....	102	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	138
Advanced Course on Nutritional Physiology.....	102	食品栄養学総合演習 II .....	140
臨床栄養学特論.....	104	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	140
Clinical Nutrition.....	104	食品栄養学総合演習 II .....	142
臨床栄養管理特論.....	106	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	142
Advanced Clinical Nutrition.....	106	食品栄養学総合演習 II .....	144
食育と精神保健特論.....	108	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	144
Mental health and education of eating attitudes..	108	食品栄養学総合演習 II .....	146
栄養教育学特論.....	110	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	146
Nutrition Education.....	110	食品栄養学総合演習 II .....	148
保健情報学特論.....	112	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science II .....	148
Health Informatics.....	112	食育特論.....	150
食品栄養学総合演習 I .....	114	Advanced Shokuiku.....	150
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	114	食品栄養学特別研究.....	152
食品栄養学総合演習 I .....	116	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Sciences .....	152
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	116		
食品栄養学総合演習 I .....	118		
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	118		
食品栄養学総合演習 I .....	120		
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	120		
食品栄養学総合演習 I .....	122		
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I .....	122		
食品栄養学総合演習 I .....	124		
Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition			

科目名	医療情報学特論		
英文名	Medical Informatics		
担当教員	長澤 亨		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 必修 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 現在、電子カルテの導入、遠隔医療など医療環境は大きく変化している。さまざまな検査技術を習得することも大切であるが、それらの技術から提供される医療情報の活用や管理がより一層重要になってきている。そのため、医療の特質をふまえて、最適な情報処理技術にもとづき、医療情報を安全かつ有効に活用、提供することができる知識、技術および資質を有する医療関係者の育成が急務となっている。</p> <p>特論では、医療情報学において対象とする医療情報を定量的に解析する際に必要となる多変量解析を講義から理論を理解し、医療情報活用の基礎学力を養成することを目的とする。</p> <p>② 講義とディスカッションで理解を深める。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療情報の特性を理解し、説明できる。</li> <li>2. 医療情報の有効活用するために必要なデータ解析手法を身につけている。</li> <li>3. クレンジング処理の手法や外れ値処理の方法が説明できる。</li> <li>4. 重回帰分析、正準判別分析、主成分分析など多変量解析手法の理論を理解し簡潔に説明できる。</li> <li>5. 目的に応じた多変量解析手法が選択できる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめ発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	<b>4</b>		
評価方法	講義は理論的な解説と対話、発表形式となるため、対話や発表内容(50%)、提出された課題(50%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	提出課題に関しては、添削して返却、内容により再提出の指示がある。 特に定期試験は課さない。予習を十分に行い講義への参加と課題提出が重要である。		
使用教材	参考図書は紹介する。レクチャーに使用する資料は随時配布する。		
1	講義内容	前期講義計画、統計学の予備知識	
	該当する到達目標	予習	線形代数学、統計学の基礎について予習する。 1時間
2	講義内容	統計的仮説検定と多変量解析の基礎	
	該当する到達目標	予習	行列演算について予習する。 1時間
3	講義内容	データの前処理(データクレンジング処理、グラフ、正規性の検定)	
	該当する到達目標	予習	統計で使われる分布、グラフ、散布図について予習する。 1時間
4	講義内容	分割表分析(感度・特異度、オッズ比・相対危険度、カイ2乗検定など)	
	該当する到達目標	予習	分割表分析について予習する。 1時間
		復習	課題を仕上げる。 1.5時間

医療福祉情報学専攻

5	講義内容	重回帰分析の理論(標準化、多重共線性と交絡因子)、ロジスティック回帰分析		
	該当する到達目標	予習	単回帰分析について予習する。	1 時間
	1,2,3,4	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
6	講義内容	主成分分析の理論(固有値と因子負荷量)		
	該当する到達目標	予習	行列の固有値演算を予習する。	1 時間
	1,2,4	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
7	講義内容	因子分析の理論(因子モデルと共分散構造解析)		
	該当する到達目標	予習	主成分分析と因子分析のモデルの違いを予習する。	1 時間
	1,2,4	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
8	講義内容	クラスター分析の理論(距離の定義と類似性の視覚化)		
	該当する到達目標	予習	種々の距離の概念を予習する。	1 時間
	1,2,4	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
9	講義内容	正準判別分析の理論(変量群の関係を探る)		
	該当する到達目標	予習	判別分析を予習する。	1 時間
	1,2,4	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
10	講義内容	分散分析(平均値の差と多重比較の利用、実験計画法への展開)		
	該当する到達目標	予習	平均値の差、分散分析の理論を予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
11	講義内容	生存率曲線(曲線の作成と曲線間の検定)、COX ハザードモデル		
	該当する到達目標	予習	生存率の計算について予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
12	講義内容	時系列データ解析(モデリングと予測)		
	該当する到達目標	予習	時系列解析の目的方法について予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
13	講義内容	林の数量化理論 I ~ IV(質的な多変量データの解析)		
	該当する到達目標	予習	数量化理論について予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
14	講義内容	多次元尺度構成法(心理学、行動学分野への応用)		
	該当する到達目標	予習	多次元尺度構成を予習する。	1 時間
	1,2,4,5	復習	課題を仕上げる。	1.5 時間
15	講義内容	統計解析ソフト R と SPSS		
	該当する到達目標	予習	他の統計解析ソフトについて調査する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	まとめ課題を仕上げる。	1.5 時間
備考	<p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>オフィスアワー: 月曜日の 1 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス「nagasawa#takasaki-u.ac.jp(#→@)」</p> <p>研究室: 1 号館 6 階 608</p> <p>VOD: 出席と成績は課題提出で評価する。</p>			

科目名	病院経営特論		
英文名	Theory of Hospital Management		
担当教員	木村 憲洋		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 必修 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 病院経営は、医療政策や地域の医療ニーズ、医療従事者の動向に左右される。医療政策は、国民医療費の増大に対応するため効率的な医療費の配分の方策へと向かっている。地域の医療ニーズは、公衆衛生データや公開されたDPCのデータから予測され、自院のポジションを知ることから病院経営へ生かすことができる。また、医療従事者の地域における需給状況は経営にとって大きな影響を与えることとなる。</p> <p>本講座では、診療情報管理の重要性に基づき、地域の医療ニーズと自院の地域における医療提供体制を理解し、先進的な病院経営戦略を構築するための方策を検討する。</p> <p>② 授業は、課題提供を行いディスカッションしながら理解を深めていく。</p>		
到達目標	<p>1. 病院経営に関する最新のツールと知識に関する理解と応用をすることができる。</p> <p>2. 最新の病院経営手法やツールの病院へ導入することでどのような効果があるか考察できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
		健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: green; font-weight: bold;">3</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span> <span style="margin-left: 100px; color: red; font-weight: bold;">8</span> <span style="color: orange; font-weight: bold;">9</span> <span style="margin-left: 100px; color: orange; font-weight: bold;">11</span> </p>		
評価方法	講義におけるディスカッションを評価する。(100%)		
課題に対するフィードバック	ディスカッションを中心に講義を行う。		
使用教材	<p>病院のしくみ(日本実業出版社)</p> <p>病院経営のしくみ(日本医療企画)</p> <p>1からの病院経営(碩学社)</p>		
1	講義内容	病院経営	
	該当する到達目標 1,2	予習	病院経営に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。 1時間
		復習	病院経営に関する講義の内容を深く調べまとめる。 2時間
2	講義内容	医療の質	
	該当する到達目標 1,2	予習	医療の質に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。 1時間
		復習	医療の質に関する講義の内容を深く調べまとめる。 2時間
3	講義内容	経営基盤	
	該当する到達目標 1,2	予習	経営基盤に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。 1時間
		復習	経営基盤に関する講義の内容を深く調べまとめる。 2時間
4	講義内容	病院における統計のグラフ化	
	該当する到達目標 1,2	予習	病院経営に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。 1時間

医療福祉情報学専攻

		復習	病院経営に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
5	講義内容		選択と集中	
	該当する到達目標 1,2	予習	選択と集中に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	選択と集中に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
6	講義内容		機能分化と連携	
	該当する到達目標 1,2	予習	機能分化と連携に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	機能分化と連携に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
7	講義内容		医療とマーケティング	
	該当する到達目標 1,2	予習	医療とマーケティングに関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	医療とマーケティングに関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
8	講義内容		チーム医療	
	該当する到達目標 1,2	予習	チーム医療に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	チーム医療に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
9	講義内容		組織変革	
	該当する到達目標 1,2	予習	組織変革に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	組織変革に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
10	講義内容		人材活用	
	該当する到達目標 1,2	予習	人材活用に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	人材活用に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
11	講義内容		教育研修	
	該当する到達目標 1,2	予習	教育研修に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	教育研修に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
12	講義内容		診断群分類と分析	
	該当する到達目標 1,2	予習	診断群分類と分析に関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	診断群分類と分析に関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
13	講義内容		BSC	
	該当する到達目標 1,2	予習	BSCに関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	BSCに関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
14	講義内容		TQM/TPS	
	該当する到達目標 1,2	予習	TQM/TPSに関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	TQM/TPSに関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間
15	講義内容		イノベーション	
	該当する到達目標 1,2	予習	医療イノベーションに関する最新の知識を調べ理解し講義時のディスカッションに備える。	1時間
		復習	医療イノベーションに関する講義の内容を深く調べまとめる。	2時間

備考	教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。 オフィスアワー月曜日 1 時限
----	--

科目名	生体画像情報学特論			
英文名	Biological Imaging and Information Science			
担当教員	光山 訓			
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 必修 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 近年、画像診断装置の高性能化、高機能化が進展し、診断・治療における重要性が高まっている。特に画像のデジタル化は、計算機の高性能化、画像処理技術の発達と相まって三次元表示や画像診断支援などの新たな機能を実現し、診断の精度や効率を飛躍的に高めることが期待されている。</p> <p>② 本講義では様々な医用画像の撮像原理、特徴、管理方法、解析方法について学習する。また、ワークショップ形式で医用画像に適用される画像処理手法に関する演習や議論を行う。</p>			
到達目標	<p>1. 代表的な画像診断装置の撮像原理を理解する。</p> <p>2. 画像診断分野における IT 活用の動向、IT が実現する機能を理解する。</p> <p>3. 医用画像に使用される基本的な画像処理手法を理解し、医用画像処理に関して議論できるようになる。</p>			
学位授与方針との 対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身につけている。		
		高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。		
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
		健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGs との 関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">④</span>			
評価方法	ワークショップ(50%)及び演習課題の結果(50%)を総合的に評価する。総合評価 60%以上を合格とする。			
課題に対する フィードバック	課題については講義内、あるいはメール等でコメントを付して返却する。			
使用教材	講義に必要な資料・文献は適宜配布する。			
1	講義内容	医用画像の基礎		
	該当する到達目標 1	予習	医用画像(画像診断装置)の種類について調べておく。	1時間
		復習	配布資料で医用画像の種類や画像のデジタル化について復習する。	2時間
2	講義内容	X線画像		
	該当する到達目標 1	予習	X線および医療におけるX線の利用について調べておく。	1時間
		復習	配布資料でX線の性質、X線による撮影原理について復習する。	2時間
3	講義内容	様々なX線撮影装置		
	該当する到達目標 1	予習	X線撮影装置について調べておく。	1時間
		復習	配布資料でX線撮影装置の原理、種類、画像の特徴について復習する。	2時間
4	講義内容	X線CT		
	該当する到達目標 1	予習	X線CTについて調べておく。	1時間
		復習	配布資料でX線CTの原理、種類、画像の特徴について復習する。	2時間
5	講義内容	MRI		
	該当する到達目標 1	予習	MRIについて調べておく。	1時間
		復習	配布資料でMRIの原理、種類、画像の特徴について復習する。	2時間
6	講義内容	超音波診断装置		

医療福祉情報学専攻

	該当する到達目標	予習	超音波診断装置について調べておく。	1時間
	1	復習	配布資料で超音波診断装置の原理、種類、画像の特徴について復習する。	2時間
7	講義内容	核医学診断装置		
	該当する到達目標	予習	核医学診断装置について調べておく。	1時間
	1	復習	配布資料で核医学診断装置の原理、種類、画像の特徴について復習する。	2時間
	講義内容	内視鏡・眼底検査・生体認証		
8	該当する到達目標	予習	内視鏡、眼底検査の仕組み、撮影される画像の特徴、画像を使用した生体認証について調べておく。	2時間
	1	復習	配布資料で内視鏡、眼底検査、画像を使用した生体認証の種類・原理について復習する。	1時間
9	講義内容	検体検査における画像		
	該当する到達目標	予習	画像を用いた検体検査について調べておく。	2時間
	1	復習	配布資料で画像を用いた検体検査の種類、画像の特徴について復習する。	1時間
	講義内容	医用画像処理の実例		
10	該当する到達目標	予習	医用画像処理の実例を調べておく。	2時間
	2	復習	配布資料で、医用画像処理における注意点を復習する。	1時間
11	講義内容	画像診断のシステム化・画像診断支援		
	該当する到達目標	予習	画像診断を支援する情報システム、情報処理技術について調べておく。	2時間
	2	復習	配布資料で、画像診断で用いられている画像診断支援システムの種類、用いられている情報処理技術について復習する。	1時間
	講義内容	ワークショップ及び演習(1)		
12	該当する到達目標	予習	医用画像に用いられる画像処理手法に関して調べておく。	2時間
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1時間
13	講義内容	ワークショップ及び演習(2)		
	該当する到達目標	予習	医用画像に用いられる画像処理手法に関して調べておく。	2時間
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1時間
	講義内容	ワークショップ及び演習(3)		
14	該当する到達目標	予習	医用画像に用いられる画像処理手法に関して調べておく。	2時間
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1時間
15	講義内容	ワークショップ及び演習(4)		
	該当する到達目標	予習	演習課題を仕上げておく。	2時間
	3	復習	理解が不十分であった画像処理手法について資料を読み理解を深める。	1時間
	備考	オフィスアワー:火曜4時限、木曜2時限 / メールアドレス:mitsuyama#takasaki-u.ac.jp(#→@)		

科目名	データ分析特論			
英文名	Advanced Data Analysis			
担当教員	石川 雅弘			
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 必修 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 電子化とネットワーク化が進み、様々な分野で大量のデータが収集・蓄積されるようになった。大量のデータに対しては、従来は一貫性の保持と効率的な管理が重視されてきた。しかしデータの蓄積が進むにつれて、データからいかに自明ではない有益な知識を獲得し意思決定に結び付けられるかが重要になってきた。その実現のためには、データの管理・分析のための技術や手法に通じている必要がある。また、近年はそれらの技術や手法を利用するための様々なアプリケーションソフトやプログラミングツールが登場・普及しており、その利用スキルを身につけることも重要である。</p> <p>② 本科目では、表計算ソフトによるデータ分析、データベース管理システムによるデータ管理と利用、機械学習による分析・可視化を、実際にコンピューターを操作するワークショップ形式で学ぶ。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>データの収集から分析までの流れを理解する。</li> <li>Excelによる基本的なデータ処理ができる。</li> <li>関係データベースの基本を理解し、SQLによる基本操作ができる。</li> <li>教師あり学習の概要を理解し、基本的な手法を実行できる。</li> <li>教師なし学習の概要を理解し、基本的な手法を実行できる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。		
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。		
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。		
SDGsとの関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">⑧</span> <span style="color: orange; font-weight: bold;">⑨</span>			
評価方法	演習・課題の達成状況(50%)＋議論参加(50%)で評価する。			
課題に対するフィードバック	適宜コメントを付して評する。			
使用教材	講義に必要な資料等は適時配布する。			
1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標 1	予習	資料に目を通し、データの収集から分析への流れと各種技術の位置づけを理解する。	1時間
		復習	データ収集から分析の各段階で用いられる技術の概要を理解する。	1.5時間
2	講義内容	Excelによるデータ処理(1)		
	該当する到達目標 2	予習	資料に目を通し、Excelによる基礎的な統計処理の概要を理解する。	1時間
		復習	例題を振り返り、Excelで基礎的な統計処理を行えるように練習する。	1.5時間
3	講義内容	Excelによるデータ処理(2)		
	該当する到達目標 2	予習	資料に目を通し、Excelによる統計学的検定の概要を理解する。	1時間
		復習	例題を振り返り、Excelで簡単な統計学的検定を実行する。	1.5時間
4	講義内容	Excelによるデータ処理(3)		
	該当する到達目標 1,2	予習	資料に目を通し、Excelによるデータベース処理の概要を理解する。	1時間
		復習	例題を振り返り、Excelで基礎的なデータベース処理を行えるように練習する。	1.5時間
5	講義内容	関係データベースとSQL(1)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、様々なデータベース形式の概要を理解する。	1時間

医療福祉情報学専攻

	1,2,3	復習	RDBMS と SQL、NoSQL、XML などの目的と意義について理解する。	1.5 時間
6	講義内容	関係データベースと SQL(2)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、SQL の概要を理解する。	1 時間
	3	復習	例題を振り返り、SQL の基本を理解し、簡単な SQL 命令を組み立て実行する。	1.5 時間
7	講義内容	教師あり学習(1)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、教師あり学習、クラス分類、回帰分析の基本的考えを理解する。	1 時間
	4	復習	各種技法の目的と意義を確認する。	1.5 時間
8	講義内容	教師あり学習(2)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、k-最近傍法の概要を理解する。	1 時間
	4	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で k-NN 分類、k-NN 回帰の例題を実行する。	1.5 時間
9	講義内容	教師あり学習(3)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、線形回帰、リッジ回帰、Lasso 回帰の概要を理解する。	1 時間
	4	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で線形回帰、リッジ回帰、Lasso 回帰の例題を実行する。	1.5 時間
10	講義内容	教師あり学習(4)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、決定木、決定木のアンサンブル法の概要を理解する。	1 時間
	4	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で決定木、ランダムフォレストの例題を実行する。	1.5 時間
11	講義内容	教師あり学習(5)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、サポートベクターマシンの概要を理解する。	1 時間
	5	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook でサポートベクターマシンの例題を実行する。	1.5 時間
12	講義内容	教師なし学習(1)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、事前処理やスケール変換について概要を理解する。	1 時間
	5	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook でデータの事前処理の例題を実行する。	1.5 時間
13	講義内容	教師なし学習(2)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、主成分分析、非負値行列因子分解、t-SNE による次元削減と可視化の概要を理解する。	1 時間
	5	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で様々な可視化手法の例題を実行する。	1.5 時間
14	講義内容	教師なし学習(3)		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、k-means 法、階層型、DBSCAN などのクラスタリング手法の概要を理解する。	1 時間
	5	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で様々なクラスタリング手法の例題を実行する。	1.5 時間
15	講義内容	学習結果の評価		
	該当する到達目標	予習	資料に目を通し、交差検証、グリッドサーチなどの概要を理解する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	資料を振り返り、Jupyter Notebook で基本的な検証手法の例題を実行する。	1.5 時間
備考	<p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>【オンラインで授業を実施する場合】                      授業はビデオ通信で行う。必要な Jupyter Notebook 環境は学外からも常時アクセス可能とするので、お互いそれにアクセスしながら進める。</p>			

オフィスアワー: 月曜 4 限

メールアドレス: [#→@](mailto:ishikawa#takasaki-u.ac.jp)

科目名	医科学特論		
英文名	Fundamentals of Medical Sciences		
担当教員	小澤 瀬司		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① ICD-10,-11(国際疾病分類第10,11版)による疾病の分類法に基づき、主要疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後について、医療内容を理解するために必要な知識を習得する。また、それらに関連する最新の知識を自力で深めるために医学情報データベースや参考書の活用法を身に付ける。</p> <p>② 講義内容に応じて討論形式で実施しながら授業を進める。各授業の終了時に、次回の講義内容に関連する重要事項を提示し、必要に応じて資料提供、および事前に読むべき論文を指示する。</p>		
到達目標	<p>1. 主要疾患の特徴・病因・症状・診断・治療・予後の概要を説明できる。</p> <p>2. 日進月歩の診断・治療法の変化について自力で調べることができる。</p> <p>3. 医療・医学関連の英語文献を読みこなすことができる。</p>		
学位授与方針との対応	<p>✓ 健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。</p> <p>高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。</p> <p>健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。</p> <p>✓ 健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。</p>		
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: green;">3</span> <span style="color: red;">4</span> <span style="color: orange;">9</span> </p>		
評価方法	討論形式の講義における積極性と対話内容の質(50%)、および提出されたレポートの完成度(50%)により総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートは講評を付して返却する。		
使用教材	<p>参考書: 病気がみえるシリーズ 医療情報科学研究所編集、メディックメディア発行</p> <p>Website: <a href="https://medlineplus.gov/">https://medlineplus.gov/</a> を利用する。</p>		
1	講義内容	英語医学情報データベース Medlineplus の紹介	
	該当する到達目標	予習	ホームページを閲覧して Medlineplus の構成を調べておく。 2 時間
3		復習	Medlineplus の概要を理解する。 1.5 時間
		講義内容	Medlineplus の利用法(1)英語医学用語の体系的習得法(討論形式で実施)
2	該当する到達目標	予習	Medlineplus の医学用語チュートリアルを通読する。 2 時間
	3	復習	英語医学用語の造語の基本を理解する。 1.5 時間
3	講義内容	Medlineplus の利用法(2)人体解剖・生理・病態生理関連ビデオの閲覧(討論形式で実施)	
	該当する到達目標	予習	ホームページの関連部位を予め閲覧しておく。 2 時間
3		復習	人体解剖・生理・病態生理を英語で理解する。 1.5 時間
		講義内容	Medlineplus の利用法(3)主要疾患の診断・治療関連情報の取得法(討論形式で実施)
4	該当する到達目標	予習	ホームページの関連部位を予め閲覧しておく。 2 時間
	3	復習	講義で取り上げられた疾患の診断・治療法を英語で理解する。 1.5 時間
5	講義内容	Medlineplus の利用の実際に関するワークショップ、医学用語に関する知識の修得度のチェック	
	該当する到達目標	予習	4回目までの講義の要点を復習する。 2 時間
3		復習	主要な医学用語を英語で表現できるようにする。 1.5 時間
		講義内容	ICD-10,11 に基づく疾病の分類
6	該当する到達目標	予習	配布資料を精読する。 2 時間

医療福祉情報学専攻

	1,3	復習	国際標準での疾病の分類法を理解する。	1.5 時間
7	講義内容	循環器疾患の病態生理、診断、治療、予後		
	該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間
	1,2	復習	代表的な循環器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	呼吸器疾患の病態生理、診断、治療、予後		
	該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間
	1,2	復習	代表的な呼吸器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	消化器疾患の病態生理、診断、治療、予後		
	該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間
	1,2	復習	代表的な消化器疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	内分泌・代謝疾患の病態生理、診断、治療、予後		
	該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間
	1,2	復習	代表的な内分泌・代謝疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間
11	講義内容	神経疾患の病態生理、診断、治療、予後		
	該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間
	1,2	復習	代表的な神経疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間
12	講義内容	精神疾患の病態生理、診断、治療、予後		
	該当する到達目標	予習	予め指示された参考書の関連部位を精読する。	2 時間
	1,2	復習	代表的な精神疾患の病態生理、診断、治療、予後を理解する。	1.5 時間
13	講義内容	重粒子線がん治療に関する講義と治療施設の見学		
	該当する到達目標	予習	配布資料を精読する。	2 時間
	1,2	復習	重粒子線がん治療の有効性について理解を深める。	1.5 時間
14	講義内容	県内基幹病院における最先端病院情報システムの解説と実地見学		
	該当する到達目標	予習	配布資料を精読する。	2 時間
	1,2	復習	病院運営における情報システムの重要性について理解を深める。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ、展望についての討論、レポート課題の提示		
	該当する到達目標	予習	講義で使用した資料に目を通す。	2 時間
	1,2	復習	本講義で学んだこと、および今後学ぶべきことを整理する。	1.5 時間
備考	オフィスアワー:水曜日の 3 時限と 4 時限 メールアドレス:sozawa#takasaki-u.ac.jp (#→@) 研究室:1 号館 6 階 606			

科目名	臨床医学特論		
英文名	Fundamental Clinical Medicine		
担当教員	正宗 賢		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 2年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 医療関連の必修専門科目である基礎医学を元に、本講義では臨床医学とは何かを学ぶ。具体的に臨床現場での事例を挙げながら、患者とのインタフェースに視点を置き臨床医学のあるべき姿について討議する。また、受講者自身の研究論文をベースに、情報ツールの活用方法および臨床医学との関連の理解を深め、医療情報の専門家としてのスキルアップを図る。</p> <p>② 全体を通じて受講生による発表・討論を行い、また、施設見学を行うことで臨床医学研究の理解を深める。</p>		
到達目標	<p>1. 修士論文の指導による、完成までのマイルストーン・方向性を確認できる</p> <p>2. 医療機器の研究開発の現状と手法を理解できる</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	③	⑨	
評価方法	レポートを課し、その内容を評価し成績をつける(100%)。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、授業中に課題内容(修士論文)を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	講師作成の ppt ファイルおよびプリントが中心となる。		
1	講義内容	医学概論コンピュータ外科(1) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理と次週の課題の確認	
	該当する到達目標	予習	Free mind map を PC にインストールして、使用方法に、習熟する。 1 時間
	2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
2	講義内容	医学概論コンピュータ外科(2) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理と次週の課題の確認	
	該当する到達目標	予習	Free mind map を PC にインストールして、使用方法に、習熟する。 1 時間
	2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
3	講義内容	医学概論コンピュータ外科(3) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理と次週の課題の確認	
	該当する到達目標	予習	Free mind map を PC にインストールして、使用方法に、習熟する。 1 時間
	2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
4	講義内容	医学概論医療機器開発と薬事法(1) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確認	
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
5	講義内容	医学概論医療機器開発と薬事法(2) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確認	
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間

医療福祉情報学専攻

	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
6	講義内容	医学概論医療機器開発と薬事法(3) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確認		
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	医学概論レギュラトリーサイエンスとリスク管理(1) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確認		
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	医学概論レギュラトリーサイエンスとリスク管理(2) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確認		
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	医学概論レギュラトリーサイエンスとリスク管理(3) Free mind map を使用し、修士論文の概要整理、前週までの進捗確認と次週の課題の確認		
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理とマイルストーンの確認(1)		
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
	1,2	復習	修士論文の内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理とマイルストーンの確認(2)		
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
	1,2	復習	修士論文の内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	Free mind map を使用し、修士論文の概要整理とマイルストーンの確認(3)		
	該当する到達目標	予習	修士論文に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
	1,2	復習	修士論文の内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	課外学習(TWIns) 施設見学と医療機器の研究開発についての理解と討論(1)		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容と修士論文を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	1時間
	1,2	復習	討論した事項をまとめ、修士論文にかかわる課題を考察する	1時間
14	講義内容	課外学習(TWIns) 施設見学と医療機器の研究開発についての理解と討論(2)		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容と修士論文を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	1時間
	1,2	復習	討論した事項をまとめ、修士論文にかかわる課題を考察する	1時間
15	講義内容	課外学習(TWIns) 施設見学と医療機器の研究開発についての理解と討論(3)		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容と修士論文を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	1時間
	1,2	復習	討論した事項をまとめ、修士論文にかかわる課題を考察する	1時間
備考	<p>配布した資料を基に、復習と自主的な発展的学習を行うこと。自ら、修士論文の疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>質問及び学習相談には、授業開始前もしくは終了時間後に応じる。</p> <p>教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。</p>			

科目名	医療産業特論			
英文名	Healthcare Industry			
担当教員	木村 憲洋			
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 医療産業におけるメインプレイヤーは、医療機関であることは間違いないが、医療機関だけでは良質な医療提供をすることができない。医療産業においては、医療機関が医療サービスを提供するために、医療機関を支援する企業など周辺の企業やサービスなどが多数存在する。</p> <p>本講座では、医療産業に関わる医療機関から医療を支援する企業について理解することにより、新たなビジネスモデルについて創造することを目標とする。</p> <p>② 授業は、様々な医療業界の事業者のビジネスモデルについて説明し、最終的に新たなビジネスモデルを構築する。</p>			
到達目標	<p>1. 医療機関と周辺企業におけるそのビジネスモデルを理解できる。</p> <p>2. 医療周辺企業のビジネスモデルのブラッシュアップをすることができる。</p> <p>3. 医療産業における新たなビジネスモデルを構築することができる。</p>			
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。		
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。		
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
		健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。		
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: green; font-weight: bold;">3</span>   <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span>                      <span style="color: red; font-weight: bold;">8</span>   <span style="color: orange; font-weight: bold;">9</span>                      <span style="color: orange; font-weight: bold;">11</span> </p>			
評価方法	講義におけるディスカッションを評価する。(100%)			
課題に対するフィードバック	ディスカッションを中心に講義を行う。			
使用教材	<p>病院のしくみ(日本実業出版社)</p> <p>病院経営のしくみ(日本医療企画)</p> <p>1からの病院経営(碩学社)</p>			
1	講義内容	医療政策		
	該当する到達目標 1,2	予習	医療政策に関する最新の情報を調べ理解し講義時にプレゼンテーションする。	1時間
		復習	医療政策に関する講義の内容を再度考察する。	2時間
2	講義内容	診療報酬点数と医療サービス		
	該当する到達目標 1,2	予習	診療報酬点数に関する最新の知識を調べ理解する。	1時間
		復習	診療報酬点数と医療サービスの関連について講義の内容を再度調べ理解する。	2時間
3	講義内容	診療所と病院、保険薬局		
	該当する到達目標 1,2	予習	診療所と病院、保険薬局の経営に関する最新の知識を調べ、講義時にプレゼンテーションする資料を作る。	1時間
		復習	診療所と病院、保険薬局の経営に関する講義の内容を深く理解する。	2時間
4	講義内容	居宅系サービス、施設系サービス、居宅介護支援		
	該当する到達目標 1,2	予習	居宅系サービス、施設系サービス、居宅介護支援の経営に関する最新の知識を調べ、講義時にプレゼンテーションする資料を作る。	1時間
		復習	居宅系サービス、施設系サービス、居宅介護支援の経営に関する講義の内容	2時間

			を深く理解する。	
5	講義内容	医薬品と製薬企業		
	該当する到達目標 1,2	予習	医薬品と製薬企業に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	医薬品と製薬企業に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
6	講義内容	医療機器と医療機械メーカー		
	該当する到達目標 1,2	予習	医療機器と医療機械メーカーに関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	医療機器と医療機械メーカーに関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
7	講義内容	医薬品流通と医療機器・材料流通、病院物流支援		
	該当する到達目標 1,2	予習	医薬品流通と医療機器・材料流通、病院物流支援に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	医薬品流通と医療機器・材料流通、病院物流支援に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
8	講義内容	医療事務代行と院内清掃、病院給食代行		
	該当する到達目標 1,2	予習	医療事務代行と院内清掃、病院給食代行に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	医療事務代行と院内清掃、病院給食代行に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
9	講義内容	臨床検査代行と画像診断支援代行		
	該当する到達目標 1,2	予習	臨床検査代行と画像診断支援代行に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	臨床検査代行と画像診断支援代行に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
10	講義内容	医薬品開発支援		
	該当する到達目標 1,2	予習	医薬品開発支援に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	医薬品開発支援に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
11	講義内容	医業経営支援		
	該当する到達目標 1,2	予習	医業経営支援(医療経営コンサルタント)に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	医業経営支援(医療経営コンサルタント)に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
12	講義内容	人材紹介業(医師紹介業など)		
	該当する到達目標 1,2	予習	人材紹介業(医師紹介業など)に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	人材紹介業(医師紹介業など)に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間
13	講義内容	医療関連 ICT		
	該当する到達目標 1,2	予習	医療関連 ICT に関するビジネスモデルを調べ講義時のプレゼンテーションに備える。	1時間
		復習	医療関連 ICT に関するビジネスモデルに関する講義の内容を深く理解する。	2時間

医療福祉情報学専攻

14	講義内容	ビジネスモデル構築演習 1		
	該当する到達目標	予習	医療産業に関するビジネスモデルを構築する。	5時間
	3	復習	ビジネスモデルに関するディスカッションを踏まえ直す。	5時間
15	講義内容	ビジネスモデル構築演習 2		
	該当する到達目標	予習	医療産業に関するビジネスモデルを構築する。	1時間
	3	復習	ビジネスモデル構築の復習をする。	1時間
備考	教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。 オフィスアワー月曜日 1 時限			

科目名	医療情報学特論演習		
英文名	Medical Informatics Practice		
担当教員	長澤 亨		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 医療情報学特論演習では、前期の特論の学習内容を定着するために、実際の医療データに対して多変量解析を適用し、解析手順、オプションの設定、解析結果の読み方、意味づけなどワークショップ形式で演習を行い、医療データの有効活用のための基礎力を涵養することを目的とする。</p> <p>② 演習とディスカッションで理解を深め、知識の定着を図る。</p>		
到達目標	<p>1. 前期に履修した医療情報の特性や多変量解析の理論を説明できる</p> <p>2. 医療データの解析を行い、適用した方法、解析手順、パラメータの設定、解析結果を説明できる。</p> <p>3. データによる適切なクレンジング処理、グラフ化、正規化、データ変換などの処理ができる。</p> <p>4. 目的に応じて適切な多変量解析方法を選択できる。</p> <p>5. 解析結果に対して適切に解釈できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの 関連	<b>4</b>		
評価方法	ワークショップではデータ解析とその解釈など、プレゼンテーション形式で行うため、発表内容を重視する(50%)、および課題レポート(50%)で評価する。		
課題に対する フィードバック	演習は、実際の医療データを多変量解析ソフトで処理を行うワークショップ形式で行い、提出された課題レポートは添削して返し、学習を深める材料とする。		
使用教材	参考図書は紹介する。レクチャーに使用する資料は随時配布する。		
1	講義内容	後期講義計画と多変量解析の演習の準備	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	前期の講義内容を復習する。 1 時間
		復習	課題を仕上げる 1.5 時間
2	講義内容	データのクレンジング処理の方法とその重要性の把握	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	データクレンジング、グラフ、はずれ値処理、正規化など予習する。 1 時間
		復習	課題を仕上げる 1.5 時間
3	講義内容	分散分析の読み方と多重比較方法の選択	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	分散分析について予習する。 1 時間
		復習	課題を仕上げる 1.5 時間
4	講義内容	クラスタ分析によりデータの類似性を定量的・視覚的に把握する	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	クラスタ分析について予習する。 1 時間
		復習	課題を仕上げる 1.5 時間
5	講義内容	分割表分析の活用と問題解決	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	分割表分析について予習する。 1 時間
		復習	課題を仕上げる 1.5 時間
6	講義内容	重回帰分析における多重共線性と交絡因子の把握	
	該当する到達目標	予習	重回帰分析について予習する。 1 時間

医療福祉情報学専攻

	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
7	講義内容	ロジスティック回帰分析		
	該当する到達目標	予習	2 項、多項、順序ロジスティック回帰分析について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
8	講義内容	主成分分析による類似項目の把握と因子負荷料、寄与率などについて理解する		
	該当する到達目標	予習	主成分分析について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
9	講義内容	因子分析による潜在因子の把握、主成分分析との違いを理解する。		
	該当する到達目標	予習	因子分析について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
10	講義内容	多次元尺度構成法による項目間距離による類似項目の把握する。		
	該当する到達目標	予習	多次元尺度構成法について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
11	講義内容	信頼度分析の活用と有効な項目の選択、クロンバック $\alpha$ の理解する。		
	該当する到達目標	予習	信頼度分析について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
12	講義内容	時系列解析によるトレンド分析、時間平均の活用について理解する。		
	該当する到達目標	予習	時系列分析について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
13	講義内容	生存率曲線の検定と COX の比例ハザードモデルを理解する。		
	該当する到達目標	予習	生存率曲線について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
14	講義内容	数量化分析の要点とアンケート処理を理解する。		
	該当する到達目標	予習	数量化分析について予習する。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	課題を仕上げる	1.5 時間
15	講義内容	総合復習とまとめ		
	該当する到達目標	予習	本演習全体に対して十分に理解しているか。	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	まとめ課題を仕上げる。	1.5 時間
備考	<p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。                      オフィスアワー：月曜日の 1 時限と 3 時限、質問はメールでも受け付ける。                      メールアドレス「nagasawa#takasaki-u.ac.jp (#→@)」                      研究室：1 号館 6 階 608                      VOD：出席と成績は課題提出で評価する。</p>			

科目名	質的/量的研究特論			
英文名	Qualitative research and Quantitative research			
担当教員	上原 徹、安達 正嗣			
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 保健福祉学における調査研究の主たる二つの方法である質的研究と量的研究について講義を行う。質的研究は、比較的数に少ないデータについて「何故、どうして」という意味内容を把握するために行われる。内容分析、グラウンデッドセオリー、エスノグラフィーなどの方法で記述データを扱うことが多い。量的研究は、数の多いデータを標準化された測定法や尺度で数量化し、定式化された統計手法で仮説を科学的に検証する研究である。学生が、研究の基礎になる二つの方法論について十分に理解すること、以上を目標とする。</p> <p>② 履修者の進捗状況に合わせて、個別指導に近い形態で、ディスカッションや相互討論も含めながら講義を行う。パワーポイントのスライドや PDF 資料などの教材は随時配布する。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の基本事項を説明できる</li> <li>2. 研究デザインの重要性を認識できる</li> <li>3. 研究手法の種類と解析方法を解説できる</li> <li>4. 自身の研究方法について、適応を検討できる</li> <li>5. 実現可能な研究方法を一人で計画できる</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。		
		高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。		
		健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。		
SDGsとの関連	1	10	16	
評価方法	「講義への出席 3 分の 2 以上」、授業への参加態度 40%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 60%等を総合して判断する。			
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。			
使用教材	第 1 回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める			
1	講義内容	調査研究の基礎(質的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
2	講義内容	仮説と実証(質的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
3	講義内容	研究デザインの基礎(質的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
4	講義内容	質的研究概説		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間

5	講義内容	質的研究例と方法論		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
6	講義内容	研究論文のまとめ方(質的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	調査研究の基礎(量的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	仮説と実証(量的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	研究デザインの基礎(量的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	量的研究概説		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	量的研究と方法論		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	研究論文のまとめ方(量的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	統計処理の基本		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	研究倫理審査について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	総合討論、まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2時間
	1,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2時間
備考	<p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。</p> <p>講義前には、担当に該当する教科書の内容を読んでおくこと。講義の後に「関連文献」や「関連書籍」を伝えるので、それを読み関心を高めること。なお、質的研究を安達、量的研究を上原が主に担当する予定。</p> <p>教員への連絡方法は、担当教員の初回授業時に提示する。</p> <p>オフィスアワー(上原):前後期ともに、月曜4限、金曜4限とする。</p> <p>オフィスアワー(安達):前後期ともに、火曜5限と水曜3限とする。</p>			

科目名	<b>社会福祉研究方法論</b>		
英文名	<b>Research Methods of Social Welfare</b>		
担当教員	安達 正嗣		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 社会福祉学ならびにその関連の学問分野(老年学、社会学など)における参考文献、既存の学術論文・報告書などを検討して、その研究方法を学習することを通じて、受講生各自で社会福祉研究法を理解し身につけることが目標である。</p> <p>② 講義全体を通じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図書の各章(担当者の指定する教科書の場合もある)・学術論文を解読し意見を述べ、担当者ならびに他の受講生と質疑応答・議論をする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉研究の方法論の基本事項を説明できる。</li> <li>2. 社会福祉研究のデザインの重要性を認識できる。</li> <li>3. 社会福祉研究の手法の種類と分析方法を解説できる。</li> <li>4. 受講生自身の研究方法について、社会福祉研究の方法を適用できる。</li> <li>5. 実現可能な研究方法を一人で計画できる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
		高度な情報処理技術を習得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
		健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連			
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 30%を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
2	講義内容	学問の一分野としての社会福祉研究	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	現場の視点と研究の視点	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
4	講義内容	研究レビューの方法と作成	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
5	講義内容	研究の倫理	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間

医療福祉情報学専攻

	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
6	講義内容	研究課題の設定とその手順		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	仮説の構築と検証の手続き		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	研究資料の収集と分析		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	量的調査データの分析		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	面接調査による質的研究		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	マイクロレベルの評価分析		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	メゾレベルの評価分析		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	研究計画の作成		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	問題を政策に結びつける調査研究		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	総合討論、まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2時間
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2時間
備考	最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワーは、前後期共に、火曜日 5 限・6 限である。 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。			

科目名	医療倫理特論			
英文名	Medical Ethics			
担当教員	大石 桂子			
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 講義の目標:近年では先端医療技術の飛躍的な発展によって、人間が生まれる、生きる、死を迎えるという各段階それぞれに、新たな倫理的課題が生じている。本講義では倫理学の基礎理論を踏まえつつ、「移植医療」、「遺伝子診断」、「エンハンスメント」などのテーマを取り上げる。資料の講読、事例研究、ディスカッションを通して、生命を取り巻く現代の状況、生命の尊重、病気や障害をどのように受けとめるかについて自ら考察することを目的とする。</p> <p>② 講義の実施方法:配布資料、論文、統計資料、映像教材などを活用する。また、出席者同士のディスカッションなども行う。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療倫理の四原則、ジュネーブ宣言やリスボン宣言など、医療倫理の規範を概説できる。</li> <li>2. 生命の尊厳、自己決定の尊重など、医療倫理の基礎となる思想について概説できる。</li> <li>3. 遺伝子診断、移植医療、エンハンスメントなど、医療技術の進歩にともなう課題について概説できる。</li> <li>4. 個人の決定と社会の相互関係について、事例をもとに理解できる。</li> <li>5. 各テーマに関して思考を深め、みずからの問題意識をもって意見を述べることができる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。		
		高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。		
		健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。		
SDGsとの関連	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="background-color: #28a745; border-radius: 50%; padding: 5px;">3</span> <span style="background-color: #ffc107; border-radius: 50%; padding: 5px;">4</span> <span style="background-color: #ffc107; border-radius: 50%; padding: 5px;">10</span> <span style="background-color: #17a2b8; border-radius: 50%; padding: 5px;">16</span> </div>			
評価方法	レポート課題(50%)、ディスカッション内容(50%)			
課題に対するフィードバック	課題はコメントを添えて返却する。			
使用教材	講義中にプリントを配布する。			
1	講義内容	ガイダンス		
	該当する到達目標	予習	シラバスに目を通し、講義目標や内容を確認する。	1時間
		復習	講義内容、評価方法などについて理解する。	1時間
2	講義内容	なぜ自己決定が重視されるのか——医療倫理と社会的・思想的背景		
	該当する到達目標	予習	医療倫理の四原則について調べる。	1時間
	1,2	復習	自己決定権が重視される思想基盤、医療事情を理解する。	1.5時間
3	講義内容	なぜ人命は尊重されるのか——パーソン論とカント		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	2,5	復習	人命尊重の二つの根拠の相違点を理解し、課題を完成させる。	2時間
4	講義内容	善悪の基準(1):幸福のための道徳——目的論		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	2	復習	功利主義の思想と医療倫理への影響を理解する。	1.5時間
5	講義内容	善悪の基準(2):公正のための道徳——義務論		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	2	復習	カントの義務論の思想と医療倫理への影響を理解する。	1.5時間

6	講義内容	エンハンスメント(1):脳と記憶への介入、「医療化」の進む社会		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1.5時間
	3	復習	エンハンスメントの実例、病気の定義の流動性について理解する。	1.5時間
7	講義内容	エンハンスメント(2):弱さの価値		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1.5時間
	3,5	復習	エンハンスメントが社会的連帯にもたらす影響について、課題を完成させる。	3時間
8	講義内容	遺伝子診断:出生前診断、遺伝子による就労差別		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	3	復習	出生前診断の現状、知らされない権利について理解する。	1.5時間
9	講義内容	真実告知		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	3,5	復習	VTRの内容をふまえ、子どもへの真実告知のあり方について課題を作成する。	3時間
10	講義内容	代理決定		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	1.5時間
	3	復習	終末期医療やアシュリー・ケースに見る代理決定の範囲について理解する。	2時間
11	講義内容	移植医療(1):臓器移植法		
	該当する到達目標	予習	改正臓器移植法について調べる。	2時間
	3	復習	臓器移植法の課題について理解する。	1.5時間
12	講義内容	移植医療(2):脳死問題と死の定義、移植医療の意義		
	該当する到達目標	予習	配布資料に目を通す。	2時間
	3,5	復習	資料をもとに移植医療について課題を完成させる。	3時間
13	講義内容	技術と社会		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	4	復習	社会環境が自己決定に与える影響について理解する。	1.5時間
14	講義内容	病気の受けとめと「生きがい」		
	該当する到達目標	予習	配布プリントに目を通す。	1時間
	2,3,4	復習	死の五段階などについて理解する。	1.5時間
15	講義内容	総括		
	該当する到達目標	予習	第1回~第14回までのノートに目を通す。	1.5時間
	1,2,3,4,5	復習	各テーマについて自分の見解を再確認する。	2時間
備考	<p>知識の修得だけでなく、みずから考えることを重視するので、課題など積極的に取り組んで下さい。</p> <p>*オンライン授業となった場合は、C-Learning上で講義資料を閲覧・課題を提出する形式になります。</p> <p>オフィスアワー:水曜日の2時限、金曜日の2時限。質問はメールでも受け付けます。</p> <p>メールアドレス「oishi#takasaki-u.ac.jp(#→@)」</p> <p>研究室:1号館6階601</p>			

科目名	医療経済学特論		
英文名	Health Economics		
担当教員	町田 修三		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 将来医療関連の仕事や研究に従事する学生にとって必要な、医療および医療経済に関する諸問題を検証する講座である。医療経済に関する最新の情報を確認し受講者と議論するとともに、最先端の研究を紹介し、この分野への理解を深めたい。</p> <p>② 医療は多くの国で未解決の課題を残しているという現状をふまえ、日本の抱える問題点の理解とそれらの解決策について、特に海外との比較研究を実施することで受講生との議論を深めていきたい。課題の発見と解決という視点を重視した講義形態をとる。可能であるならば、本学が実施している海外研修(ドイツ、フィンランド、ベトナム、インドネシア、台湾など)に同道して、現地の医療を調査しリサーチの質を担保したい。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療需要の特徴を説明できる。</li> <li>2. 国民医療費とその財源について、現状と課題を確実に理解している。</li> <li>3. 日本の医療供給体制の現状と課題を確実に理解している。</li> <li>4. 日本の医療政策の課題と対応策について説明できる。</li> <li>5. 海外諸国の医療制度や医療政策について、特に日本とのちがいについて、その特徴を説明できる。</li> <li>6. これからの日本の医療のありかたについて、自分の考えを発表できる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
		高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">3</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">8</span> <span style="color: blue; font-weight: bold;">16</span>		
評価方法	ワークショップ、プレゼンテーション等の授業参加度 70%、レポート 30%により、評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートや提出物については、コメントをつけて返却する。		
使用教材	特に指定はしないが、推薦図書は何冊か紹介する。講義に使用する資料は前もって配布する。		
1	講義内容	イントロダクション—授業の進め方、到達目標、評価方法の確認	
	該当する到達目標	予習	シラバスをよく読み、講義の概略を理解しておく。 1時間
		復習	与えられた資料を熟読し、興味のある分野のリサーチを開始する。 1時間
2	講義内容	医療の経済分析—医療需要	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通しておく 1時間
	1	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを開始する。 1時間
3	講義内容	ワークショップ 医療の経済分析—医療需要と国民医療費の計量分析	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。 1.5時間
	1,2	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。 1.5時間
4	講義内容	医療供給のマイクロ分析	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通しておく 1.5時間
	3	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のリサーチを実施する。 1.5時間
5	講義内容	ワークショップ 病院行動と患者の病院選択分析	

医療福祉情報学専攻

	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	3	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
6	講義内容	日本の医療政策と医療制度改革		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通しておく	1.5 時間
	4	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
7	講義内容	ワークショップ 日本の医療政策と医療制度改革		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	4	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
8	講義内容	ワークショップ 医療の国際比較① 先進国の医療政策		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
9	講義内容	ワークショップ 医療の国際比較② 経済開発と途上国の医療政策		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
10	講義内容	ワークショップ 医療の国際比較③ 先進国の医療改革		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
11	講義内容	ワークショップ 医療の国際比較④ 経済開発と途上国の医療改革		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
12	講義内容	ワークショップ 医療の国際比較⑤ 現地調査(ベトナム、ドイツ、フィンランドのいずれか)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	4,5	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
13	講義内容	ワークショップ 医療技術と医療評価		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ配布された資料に目を通し、ディスカッションできるようにしておく。	1.5 時間
	6	復習	講義で扱った資料を読み直し、興味のある分野のResearchを実施する。	1.5 時間
14	講義内容	ワークショップのまとめとプレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	これまでのワークショップを振り返り、よく理解しておく。	2 時間
	2,3,4,5,6	復習	これまでのResearchをもとにプレゼンテーションの原稿作成に着手する。	3 時間
15	講義内容	Research内容のプレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	プレゼンテーション原稿を完成させる。	3 時間
	2,3,4,5,6	復習	指摘を受けた部分に手を入れ、完成原稿として提出する。	2 時間
備考	<p>BP 対象講義なので、ワークショップやディスカッションを多数取り入れた講義である。</p> <p>学習時間はレポート作成や、講義終了後の学習によって補完すること。</p> <p>教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。</p> <p>オフィスアワー: 月曜日 4 限目と金曜日 2 限目 研究室: 1 号館 6 階 603</p>			

科目名	健康情報学特論演習		
英文名	Healthcare Informatics		
担当教員	松尾 仁司		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 疾患の早期発見を目的とした健康管理では、日常生活で発生している個人の生活習慣情報や健康情報から健康維持・増進に有用な知識を獲得することの重要性が指摘されている。本講義では個人の健康情報の取得方法及び解析方法を修得する。</p> <p>② 前半で健康情報取得に関する課題を調査と講義で理解し、後半で生活習慣情報や健康情報の利活用に関して討論しながら、演習により健康維持・増進に有用な知識を得るための手法を修得する。</p>		
到達目標	<p>1. 少子高齢社会における健康データの意義について理解し課題を定義できる。</p> <p>2. 健康データ処理の手法を理解し実践できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">⑧</span> <span style="color: orange; font-weight: bold;">⑪</span>		
評価方法	各回の討論内容(50%)と演習の結果報告の理解度(50%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	討論とワークショップが主体となるので、課題に対するフィードバックは毎回行われる。		
使用教材	関連資料を適宜配布する。		
1	講義内容	導入・健康情報学とは	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 1時間
	1,2	復習	講義の目的と意義を理解する。 1.5時間
2	講義内容	個人健康管理の課題	
	該当する到達目標	予習	第2回目資料に目を通しておく。 1時間
	1,2	復習	個人健康管理の課題を理解する。 1.5時間
3	講義内容	生体計測の課題	
	該当する到達目標	予習	第3回目資料に目を通しておく。 1時間
	1,2	復習	生体計測の課題を理解する。 1.5時間
4	講義内容	ウェアラブルデバイスの理解	
	該当する到達目標	予習	第4回目資料に目を通しておく。 1時間
	1,2	復習	ウェアラブルデバイスの現状と課題を理解する。 1.5時間
5	講義内容	画像検査の理解	
	該当する到達目標	予習	第5回目資料に目を通しておく。 1時間
	1,2	復習	画像検査の現状と課題を理解する。 1.5時間
6	講義内容	低侵襲治療の理解	
	該当する到達目標	予習	第6回目資料に目を通しておく。 1時間
	1,2	復習	低侵襲治療の現状と課題を理解する。 1.5時間
7	講義内容	地域医療ネットワークの課題	
	該当する到達目標	予習	第7回目資料に目を通しておく。 1時間

医療福祉情報学専攻

	1,2	復習	地域医療ネットワークの課題を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	保健医療データ利活用の概念		
	該当する到達目標	予習	第8回目資料に目を通しておく。	1 時間
	1,2	復習	保健医療データ利活用の概念を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	健康情報に関する討論(Ⅰ)		
	該当する到達目標	予習	健康情報の利活用に必要な情報を調べておく。	1 時間
	1,2	復習	健康情報の利活用に必要な課題を整理する。	1.5 時間
10	講義内容	健康情報に関する討論(Ⅱ)		
	該当する到達目標	予習	健康情報の利活用に適切な評価指標を考えておく。	2 時間
	1,2	復習	健康情報の利活用に適切な評価指標を整理する。	1 時間
11	講義内容	データ解析の手法		
	該当する到達目標	予習	解析手法について調べておく。	2 時間
	1,2	復習	解析手法を理解する。	1 時間
12	講義内容	健康データワークショップ(Ⅰ)		
	該当する到達目標	予習	文献を読んでおく。	3 時間
	1,2	復習	健康データ解析のコンセプトを理解する。	1 時間
13	講義内容	健康データワークショップ(Ⅱ)		
	該当する到達目標	予習	文献を読んでおく。	3 時間
	1,2	復習	健康データ解析の手法を理解する。	1 時間
14	講義内容	健康データワークショップ(Ⅲ)		
	該当する到達目標	予習	解析ツールの使い方を調べておく。	3 時間
	1,2	復習	健康データ解析を実行する。	2 時間
15	講義内容	健康データワークショップ(Ⅳ)		
	該当する到達目標	予習	健康データ解析によりえられた結果を整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	健康データ解析の結果を評価してまとめる。	2 時間
備考	健康・医療データを対象としたデータ処理方法について学んでおく。 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。 オフィスアワー:水曜日 4 時限目			

科目名	生体信号処理特論演習		
英文名	Biosignal Processing		
担当教員	高橋 大志		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 近年、生体信号が学術分野のみならず、生活の中でも取得できるようになってきた。この日常で取得した生体信号は疾病予防等に対して、さらに重要性を増すことが予想される。そのため、通信や信号処理技術も含めた要素技術の理解や、システム設計・構築技術の修得が必須となる。</p> <p>② 本演習ではデジタル通信の制御法、及び画像取得も含む生体信号の取得から情報処理法の基礎技術について解説し、実際に電気電子回路の構築と生体信号の取得、並びにソフトウェアを用いた情報通信制御とデジタルカメラの駆動制御と画像処理法についての演習を行う。また、システム構築における筐体作製等に関わる3次元モデリング技法と3次元プリンタを用いた3D印刷技術も学修する。</p>		
到達目標	<p>1. 電気電子回路の設計と構築法、及び情報通信技術を理解し、各種装置を制御できる。</p> <p>2. 電気電子回路とコンピュータの接続による生体信号の取得と保存法を身につける。</p> <p>3. 3次元モデリング技法及び3次元印刷法を身につける。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
		健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの 関連	<b>4</b>		
評価方法	演習実施状況(課題)(50%)とレポート(50%)により評価し、総合評価60%以上を合格とする。		
課題に対する フィードバック	レポート課題についてはコメントを付して返却する。		
使用教材	講義に必要な資料・文献等は適時配布し、実験機材類はこちらで準備する。		
1	講義内容	デジタル画像を含む生体信号とその特徴、及び各種信号処理法の理解	
	該当する到達目標 1	予習	生体信号と特徴、信号処理法等について調べる。 1.5時間
		復習	生体信号と特徴、信号処理法等を理解する。 1.5時間
2	講義内容	電気電子回路の設計・構築法の理解(1)	
	該当する到達目標 1	予習	電気電子回路に必要な各要素(ダイオード、トランジスタ等)について調べる。 1.5時間
		復習	電気電子回路に必要な各要素(ダイオード、トランジスタ等)を理解する。 1.5時間
3	講義内容	電気電子回路の設計・構築法の理解(2)	
	該当する到達目標 1	予習	オペアンプを用いた電気電子回路の理論(差動増幅等)について調べる。 1.5時間
		復習	オペアンプを用いた電気電子回路の理論(差動増幅等)を理解する。 1.5時間
4	講義内容	電気電子回路の構築演習(その1)	
	該当する到達目標 1	予習	配布資料を読み理解する。 1.5時間
		復習	課題を実施する。 1.5時間
5	講義内容	電気電子回路の構築演習(その2)	
	該当する到達目標 1	予習	課題を実施する。 1.5時間
		復習	課題を完了させる。 1.5時間
6	講義内容	電気電子回路の構築演習(その3)	
	該当する到達目標	予習	レポートを作成する。 1.5時間

医療福祉情報学専攻

	1	復習	レポートを提出する。	1.5 時間
7	講義内容	電気電子回路の構築とデジタル通信制御演習(その1)		
	該当する到達目標	予習	電気電子回路の構築法(差動増幅器等)を調べ、資料を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	電気電子回路の構築法(差動増幅器等)を理解する。	1.5 時間
8	講義内容	電気電子回路の構築とデジタル通信制御演習(その2)		
	該当する到達目標	予習	電気電子回路の構築法(ADC)とSPI通信を調べ、資料を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	電気電子回路の構築法(ADC)とSPI通信技術を理解する。	1.5 時間
9	講義内容	電気電子回路の構築と通信制御演習(その3)		
	該当する到達目標	予習	電気電子回路の構築(サーボモータ制御)について、資料を読む。	1.5 時間
	1,2	復習	電気電子回路の構築(サーボモータ制御)を理解する。	1.5 時間
10	講義内容	電気電子回路の構築と通信制御演習(その4)		
	該当する到達目標	予習	レポートを作成する。	1.5 時間
	1,2	復習	レポートを提出する。	1.5 時間
11	講義内容	デジタル画像処理演習(その1)		
	該当する到達目標	予習	開発環境の構築法(OpenCVを用いたPythonコード)を調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	開発環境構築及びPythonコードでの機器制御法を学習する。	1.5 時間
12	講義内容	デジタル画像処理演習(その2)		
	該当する到達目標	予習	資料を読み課題を実施する。	1.5 時間
	1,2	復習	課題を完了させる。	1.5 時間
13	講義内容	デジタル画像処理演習(その3)		
	該当する到達目標	予習	レポートを作成する。	1.5 時間
	1,2	復習	レポートを提出する。	1.5 時間
14	講義内容	3Dモデリング技法		
	該当する到達目標	予習	資料を読み課題を実施する。	1.5 時間
	3	復習	3Dモデルを完成させる。	1.5 時間
15	講義内容	3Dプリント技法		
	該当する到達目標	予習	資料を読み3Dプリント技法を理解する。	1.5 時間
	3	復習	3Dモデリングから3D印刷の流れを理解する。	1.5 時間
備考	<p>学習内容をより深いものとするために、予習及び復習をしっかりと実施すること。                      演習のため対面で実施する。                      授業開始前や終了後、及びメールでも質問に応じる(研究室:1号館3階314)。                      ※メールアドレスは授業内に知らせる。</p>			

医療福祉情報学専攻

科目名	生活援助工学特論		
英文名	Life Support Engineering		
担当教員	鈴木 亮二		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 「もの」と「ひと」をつなぐ生活援助工学を、医学、工学、建築学など多方面から考えることによって、「ひと」に役立つ「もの」を提供することができることを自ら学び取る。 ② ディスカッション形式で講義を行う。		
到達目標	1. 遠隔医療、ICTを用いた見守りシステムについて理解することができる。 2. 医療情報システムについて理解することができる。 3. 疾患別、障害別による住環境について理解することができる。 4. ADL(Activities of Daily Living)による住環境について理解することができる。 5. 福祉用具を用いた住環境について理解することができる。		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">④</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">⑤</span>		
評価方法	2回のレポートの内容評価(1回目:50%、2回目:50%)により成績評価を行う。		
課題に対するフィードバック	次回講義の最初に解説を行う		
使用教材	東京商工会議所、福祉住環境コーディネーター検定試験2級公式テキスト 改定6版		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標	予習	不要 0時間
		復習	講義内容・到達目標・学位授与方針・評価方法を理解する。 0.5時間
2	講義内容	遠隔医療	
	該当する到達目標	予習	用語をあらかじめインターネットで調べ、質問を最低1つ用意する。 1時間
	1	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。 1.5時間
3	講義内容	ICTを用いた見守りシステム	
	該当する到達目標	予習	用語をあらかじめインターネットで調べ、質問を最低1つ用意する。 1時間
	1	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。 1.5時間
4	講義内容	医療情報システム	
	該当する到達目標	予習	用語をあらかじめインターネットで調べ、質問を最低1つ用意する。 1時間
	2	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。 第1回目のレポート課題を提示するので、2週後の講義の際提出すること。 3時間
5	講義内容	疾患別による住環境1(脳血管障害、廃用症候群、骨折、認知症)	
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。 1時間
	3	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。 1.5時間
6	講義内容	疾患別による住環境2(関節リウマチ、糖尿病、心筋梗塞)	
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。 1時間

医療福祉情報学専攻

	3	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
7	講義内容	障害別による住環境1(肢体不自由、ALS、脳性麻痺)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	3	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
8	講義内容	障害別による住環境2(内部障害)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	3	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
9	講義内容	障害別による住環境3(視覚・聴覚障害、認知・行動障害)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	3	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
10	講義内容	ADLによる住環境1(移動)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	4	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
11	講義内容	ADLによる住環境2(排泄)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	4	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
12	講義内容	ADLによる住環境3(入浴)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	4	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
13	講義内容	福祉用具を用いた住環境1(ベッド、杖、車椅子)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	5	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
14	講義内容	福祉用具を用いた住環境2(排泄、入浴、その他)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1時間
	5	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。	1.5時間
15	講義内容	福祉用具を用いた住環境3(住宅改修)		
	該当する到達目標	予習	教材の当日講義部分を読み、質問を最低1つ用意する。	1.5時間
	5	復習	講義概要を300字以内にまとめる。また、疑問点を自分で調べる。 第2回目のレポート課題を提示するので、2週間以内に提出すること。	3時間
備考	福祉住環境コーディネーター検定試験2級を受験できるレベルの知識を習得する。 オンラインで実施する場合にも同様の講義内容で行う。 単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。			

科目名	医療情報システム構築特論演習		
英文名	Construction of Medical Information Systems		
担当教員	東福寺 幾夫		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 医療において病気を診断し、最適の治療方針を選択し、治療効果の評価をしていくうえで、情報こそがそのキーである。もはや現代の医療は情報システムの支援なくして、成り立ち得ない。医療情報システムは、こうした現代医療を支える重要なツールである。しかし、近年病院もサイバー攻撃の対象とされ実害も生ずるようになった。病院情報システムも様々な脅威に対応するため、その安全確保のための効果的な方策が求められている。</p> <p>② 本演習は医療情報システムの安全管理ガイドラインを題材に、ワークショップ形式で進めていき、ディスカッション等を通じて医療情報システムの安全管理に関する理解を深める。合わせて、相互運用性を確保するための標準化の動向も理解する。</p>		
到達目標	<p>1. 医療情報システムの安全管理に関わる要件を把握し、理解できている。</p> <p>2. 医療情報システムの技術動向や標準化動向を把握し、理解できている。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	<b>3</b>		
評価方法	授業への参加態度 50%、ディスカッションの内容 50%を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	<p>① 医療情報システムの安全管理ガイドライン 第6版</p> <p>② IHE 入門</p> <p>③ 要求定義の基本と仕組み その他、必要な資料は適宜提供する</p>		
1	講義内容	Introduction、本演習の進め方	
	該当する到達目標	予習	自分の関わる業務を整理し、シラバスを読む 1時間
	1,2	復習	医療情報システム構築の動向を調べる 1時間
2	講義内容	ワークショップ 医療情報を扱う際の責任の在り方	
	該当する到達目標	予習	教材①を読む。 1時間
	1	復習	討論内容を振り返り、医療情報の取り扱いについて整理する 1時間
3	講義内容	ワークショップ 情報の相互運用性と標準化①	
	該当する到達目標	予習	教材①、②を読む。 1時間
	1,2	復習	討論内容を振り返り、標準化動向を整理する 1時間
4	講義内容	ワークショップ 情報の相互運用性と標準化②	
	該当する到達目標	予習	教材①、②を読む。 1時間
	1,2	復習	討論内容を振り返り、標準化への対応策を整理する 1時間
5	講義内容	ワークショップ 医療情報システムの安全管理①	
	該当する到達目標	予習	教材①を読む 1時間

医療福祉情報学専攻

	1	復習	討論内容を振り返り、医療情報システムの安全管理の政策動向を整理する	1 時間
6	講義内容	ワークショップ 医療情報システムの安全管理②		
	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、医療情報システムの安全対策を整理する	1 時間
7	講義内容	ワークショップ 医療情報システムの安全管理③		
	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全対策の項目を整理する	1 時間
8	講義内容	ワークショップ 診療録電子保存の要求事項		
	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、電子保存の 3 要件を整理する	1 時間
9	講義内容	ワークショップ 診療録を外部保存する際の基準		
	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、外部保存要件を整理する	1 時間
10	講義内容	ワークショップ 紙の情報の電子化保存		
	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、外部保存要件を整理する	1 時間
11	講義内容	ワークショップ 運用管理		
	該当する到達目標	予習	教材①を読む	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、運用管理の留意点を整理する	1 時間
12	講義内容	ワークショップ サイバー攻撃の事例研究①		
	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃被害について事例をネットで調査する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全確保要件を整理する	1 時間
13	講義内容	ワークショップ サイバー攻撃の事例研究②		
	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃被害について事例をネットで調査する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全確保要件を整理する	1 時間
14	講義内容	ワークショップ サイバー攻撃の事例研究③		
	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃被害について事例をネットで調査する	1 時間
	1	復習	討論内容を振り返り、安全確保要件を整理する	1 時間
15	講義内容	ワークショップ まとめ		
	該当する到達目標	予習	サイバー攻撃から守るためになすべき事項を PPT にまとめる	2 時間
	1,2	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間
備考	<p>事前に配布する関連資料は必ず事前に熟読し、授業時の発表・討議に必要な準備作業を完了させておくこと。</p> <p>学習時間はレポート作成や、講義終了後の学習によって補完すること。</p> <p>オフィスアワー：月曜日の 4 時限と水曜日 3 時限</p> <p>メールアドレス：tofukuji #takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

科目名	情報セキュリティ管理運用特論		
英文名	Security Management in Cyber Domain		
担当教員	松尾 仁司		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 健康・医療・保健福祉分野の情報は機微な個人情報であり、適切な管理が求められる。一方でオンライン診療や地域包括ケアシステムにおける医療機関や福祉施設の情報共有など、サイバー空間上での情報の活用も必要となっている。本講義では、情報セキュリティの基本概念を理解すると共に、情報セキュリティマネジメントのモデルとプロセスを修得する。</p> <p>② 情報セキュリティの基本概念、リスク管理、セキュリティ対策、情報セキュリティマネジメントのモデルとプロセスに関して、基本的理解に関する討論と事例を用いた課題検討を主体に行う。</p>		
到達目標	<p>1. 国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。</p> <p>2. 情報セキュリティの管理手法に関して理解し実践できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	<span style="border: 1px solid green; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-left: 100px;">8</span> <span style="border: 1px solid orange; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-left: 10px;">9</span> <span style="border: 1px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-left: 100px;">11</span> <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-left: 100px;">16</span> <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-left: 10px;">17</span>		
評価方法	講義中の討論での理解度(50%)と提出課題(50%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	討論と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。		
使用教材	関連資料を適宜配布する。		
1	講義内容	情報セキュリティとは	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 2時間
	1,2	復習	講義の目的と意義を理解する。 2時間
2	講義内容	情報セキュリティの専門用語	
	該当する到達目標	予習	第2回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報セキュリティの専門用語を理解する。 2時間
3	講義内容	情報セキュリティの概念	
	該当する到達目標	予習	第3回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報セキュリティの概念を理解する。 2時間
4	講義内容	セキュリティにおける脅威	
	該当する到達目標	予習	第4回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	セキュリティにおける脅威を理解する。 2時間
5	講義内容	情報セキュリティ戦略(Ⅰ)	
	該当する到達目標	予習	第5回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報セキュリティ戦略を理解する。 2時間
6	講義内容	情報セキュリティ戦略(Ⅱ)	
	該当する到達目標	予習	第6回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報セキュリティ戦略を理解する。 2時間
7	講義内容	情報セキュリティ対策(Ⅰ)	

医療福祉情報学専攻

	該当する到達目標	予習	第7回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報セキュリティ対策を理解する。	2時間
8	講義内容	情報セキュリティ対策(Ⅱ)		
	該当する到達目標	予習	第8回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報セキュリティ対策を理解する。	2時間
9	講義内容	リスクマネジメント(Ⅰ)		
	該当する到達目標	予習	第9回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	リスクマネジメントに必要な情報を整理する。	2時間
10	講義内容	リスクマネジメント(Ⅱ)		
	該当する到達目標	予習	第10回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	リスクマネジメントな評価方法を整理する。	2時間
11	講義内容	耐障害管理		
	該当する到達目標	予習	第11回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	耐障害管理を理解する。	2時間
12	講義内容	セキュリティマネジメントのモデル		
	該当する到達目標	予習	第12回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントのモデルを理解する。	2時間
13	講義内容	セキュリティマネジメント(Ⅰ)		
	該当する到達目標	予習	第13回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントのプロセスを理解する。	2時間
14	講義内容	セキュリティマネジメント(Ⅱ)		
	該当する到達目標	予習	第14回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントのフェーズを理解する。	2時間
15	講義内容	情報セキュリティ関連法規		
	該当する到達目標	予習	第15回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報セキュリティの関連法規を理解する。	2時間
備考	サイバーセキュリティプログラム科目 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。 オフィスアワー:水曜日4時限目			

医療福祉情報学専攻

科目名	情報セキュリティ実装特論		
英文名	Cyber Security Implementation in Practice		
担当教員	松尾 仁司		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 医療機関等における情報セキュリティインシデント(事故)を防ぐために、ネットワーク装置・システムにおけるセキュリティ管理及び運用の技術的な課題と対応策を修得する。 ② ネットワーク上での情報システムに関して、脅威に対する防御法やインシデントの検出などをグループワークと課題により実践的に学修する。		
到達目標	1. 国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。 2. 情報システムのセキュリティ対策を設計運用できる。		
学位授与方針との 対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの 関連			
評価方法	講義中の実習貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。		
課題に対する フィードバック	グループ討論と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。		
使用教材	関連資料を適宜配布する。		
1	講義内容	情報セキュリティと脅威	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 2時間
	1,2	復習	講義の目的と意義を理解する。 2時間
2	講義内容	マルウェア対策	
	該当する到達目標	予習	第2回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	マルウェア対策を理解する。 2時間
3	講義内容	情報資産とセキュリティマネジメント	
	該当する到達目標	予習	第3回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報資産とセキュリティマネジメントを理解する。 2時間
4	講義内容	オペレーティングシステムの脆弱性対策	
	該当する到達目標	予習	第4回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	オペレーティングシステムの脆弱性対策を理解する。 2時間
5	講義内容	情報機器のセキュリティ強化	
	該当する到達目標	予習	第5回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報機器のセキュリティ強化を理解する。 2時間
6	講義内容	セキュリティ検知システム	
	該当する到達目標	予習	第6回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	セキュリティ検知システムの技術を理解する。 2時間
7	講義内容	ユーザ認証	
	該当する到達目標	予習	第7回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	ユーザ認証の技術を理解する。 2時間

医療福祉情報学専攻

8	講義内容	ファイアウォール		
	該当する到達目標 1,2	予習	第8回目資料を読む。	2時間
		復習	ファイアウォールによる情報セキュリティ対策を理解する。	2時間
9	講義内容	セキュリティログの監視と監査		
	該当する到達目標 1,2	予習	第9回目資料を読む。	2時間
		復習	セキュリティログの監視と監査を理解する。	2時間
10	講義内容	情報セキュリティ戦略と戦術		
	該当する到達目標 1,2	予習	第10回目資料を読む。	2時間
		復習	情報セキュリティ戦略と戦術を理解する。	2時間
11	講義内容	レッドチーム演習		
	該当する到達目標 1,2	予習	第11回目資料を読む。	2時間
		復習	レッドチームによるサイバー攻撃のシミュレーションを理解する。	2時間
12	講義内容	セキュリティインシデント対応		
	該当する到達目標 1,2	予習	第12回目資料を読む。	2時間
		復習	セキュリティインシデントへの対応を理解する。	2時間
13	講義内容	セキュリティ管理の実践(Ⅰ)		
	該当する到達目標 1,2	予習	第13回目資料を読む。	2時間
		復習	情報システムのセキュリティ管理を実践する。	2時間
14	講義内容	セキュリティ管理の実践(Ⅱ)		
	該当する到達目標 1,2	予習	第14回目資料を読む。	2時間
		復習	情報システムのセキュリティ管理を実践する。	2時間
15	講義内容	大規模システムのセキュリティ		
	該当する到達目標 1,2	予習	第15回目資料を読む。	2時間
		復習	大規模システムのセキュリティを理解する。	2時間
備考	サイバーセキュリティプログラム科目 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。 オフィスアワー:水曜日 4 時限目			

科目名	情報セキュリティ監査特論		
英文名	Auditing and Testing in Cyber Security		
担当教員	松尾 仁司		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 2年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 保健医療福祉分野では、組織内外で多職種の情報連携が多く発生し、人材の流動性も高いことから、組織としての情報セキュリティの維持管理が重要になっている。本講義では、組織が情報セキュリティ管理を行うために監査と検証に関する理論と手法を理解する</p> <p>② 本講義では、組織として情報セキュリティ管理を行うために有効なマネジメントシステムによる監査と検証に関して、事例研究の課題と実習を通じて理論と技術面・運用面での実践力を学修する。</p>		
到達目標	<p>1. 国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。</p> <p>2. 情報システムのセキュリティテストとセキュリティ監査を実践できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="margin-left: 150px;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">8</span></span> <span style="margin-left: 20px;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">9</span></span> <span style="margin-left: 100px;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">11</span></span> <span style="margin-left: 150px;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">16</span></span> <span style="margin-left: 20px;"><span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">17</span></span> </p>		
評価方法	講義中の実習貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	各回の課題を議論するため、フィードバックは毎回行われる。		
使用教材	関連資料を適宜配布する。		
1	講義内容	導入・情報セキュリティ監査	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 2時間
	1,2	復習	講義の目的と意義を理解する。 2時間
2	講義内容	情報セキュリティ関連法規	
	該当する到達目標	予習	第2回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	マルウェア対策を理解する。 2時間
3	講義内容	情報セキュリティ関連のガイドライン	
	該当する到達目標	予習	第3回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報資産とセキュリティマネジメントを理解する。 2時間
4	講義内容	国際標準と情報セキュリティマネジメントシステム	
	該当する到達目標	予習	第4回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	オペレーティングシステムの脆弱性対策を理解する。 2時間
5	講義内容	情報セキュリティテストの概念	
	該当する到達目標	予習	第5回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報セキュリティテストを理解する。 2時間
6	講義内容	情報セキュリティテスト(I)	
	該当する到達目標	予習	第6回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報セキュリティテストの脆弱性を理解する。 2時間
7	講義内容	情報セキュリティテスト(II)	
	該当する到達目標	予習	第7回目資料を読む。 2時間

医療福祉情報学専攻

	1,2	復習	情報セキュリティの手法を理解する。	2時間
8	講義内容	情報セキュリティテスト(Ⅲ)		
	該当する到達目標	予習	第8回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報セキュリティテストを実践する。	2時間
9	講義内容	情報セキュリティテスト(Ⅳ)		
	該当する到達目標	予習	第9回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報セキュリティテストを実践する。	2時間
10	講義内容	情報セキュリティテスト(Ⅴ)		
	該当する到達目標	予習	第10回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報セキュリティ評価を理解する。	2時間
11	講義内容	情報システム監査のプロセス		
	該当する到達目標	予習	第11回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査プロセスを理解する。	2時間
12	講義内容	情報セキュリティ監査(Ⅰ)		
	該当する到達目標	予習	第12回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査を実践する。	2時間
13	講義内容	情報セキュリティ監査(Ⅱ)		
	該当する到達目標	予習	第13回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査を実践する。	2時間
14	講義内容	情報セキュリティ監査(Ⅲ)		
	該当する到達目標	予習	第14回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報システムのセキュリティ監査対応を理解する。	2時間
15	講義内容	情報セキュリティマネジメントシステムの運用		
	該当する到達目標	予習	第15回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	情報セキュリティマネジメントシステムの運用を理解する。	2時間
備考	サイバーセキュリティプログラム科目 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。 オフィスアワー:水曜日 4 時限目			

科目名	情報セキュリティ特論演習		
英文名	Cyber Security Exercise		
担当教員	松尾 仁司		
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 2年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 情報システムに対するサイバー攻撃の手法と技術は急速に高度化しており、最新の情報を継続的に習得する必要がある。本講義では情報セキュリティマネジメントの管理と運用を修得する。</p> <p>② グループ討論と演習課題提出を中心に、仮想的にインターネット網を構築したサイバーレンジの環境を用いた疑似攻撃や脆弱性評価、インシデント発生時の対策の演習を行い、情報セキュリティマネジメントの管理と運用を実践的に学修する。</p>		
到達目標	<p>1. 国際的な情報セキュリティの脅威と技術を理解し対応ができる。</p> <p>2. インターネット環境での情報セキュリティ対策が実践できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報に関する専門的知識・技能を身につけている。	
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもっている。	
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="margin: 0 20px;"></span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">8</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">9</span> <span style="margin: 0 20px;"></span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">11</span> <span style="margin: 0 20px;"></span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">16</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">17</span> </p>		
評価方法	講義中の実習貢献度(50%)と提出課題(50%)で評価する。		
課題に対するフィードバック	グループ討論と課題提出が主体となるので、フィードバックは毎回行われる。		
使用教材	関連資料を適宜配布する。		
1	講義内容	導入・情報セキュリティ演習	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読み講義の流れを理解しておく。 2時間
	1,2	復習	講義の目的と意義を理解する。 2時間
2	講義内容	サイバーレンジトレーニングの手法	
	該当する到達目標	予習	第2回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	サイバーレンジトレーニングの手法を理解する。 2時間
3	講義内容	情報システムの脆弱性	
	該当する到達目標	予習	第3回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報システムの脆弱性を理解する。 2時間
4	講義内容	ネットワークにおける脅威	
	該当する到達目標	予習	第4回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	ネットワーク上の脅威分析を理解する。 2時間
5	講義内容	サイバー攻撃の種類	
	該当する到達目標	予習	第5回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	サイバー攻撃の種類を理解する。 2時間
6	講義内容	情報セキュリティ対策	
	該当する到達目標	予習	第6回目資料を読む。 2時間
	1,2	復習	情報セキュリティ対策を理解する。 2時間
7	講義内容	システムの復旧	
	該当する到達目標	予習	第7回目資料を読む。 2時間

医療福祉情報学専攻

	1,2	復習	システムの復旧を理解する。	2時間
8	講義内容	大規模システムのセキュリティマネジメント		
	該当する到達目標	予習	第8回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	大規模システムのセキュリティマネジメントを理解する。	2時間
9	講義内容	サイバーレンジトレーニング(Ⅰ)		
	該当する到達目標	予習	第9回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策のシミュレーションを企画する。	2時間
10	講義内容	サイバーレンジトレーニング(Ⅱ)		
	該当する到達目標	予習	第10回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2時間
11	講義内容	サイバーレンジトレーニング(Ⅲ)		
	該当する到達目標	予習	第11回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2時間
12	講義内容	サイバーレンジトレーニング(Ⅳ)		
	該当する到達目標	予習	第12回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2時間
13	講義内容	サイバーレンジトレーニング(Ⅴ)		
	該当する到達目標	予習	第13回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	サーバー攻撃と防御・対策を実践する。	2時間
14	講義内容	セキュリティマネジメントの戦略と戦術		
	該当する到達目標	予習	第14回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	セキュリティマネジメントの戦略と戦術を理解する。	2時間
15	講義内容	クリティカルなビジネスの情報セキュリティ		
	該当する到達目標	予習	第15回目資料を読む。	2時間
	1,2	復習	クリティカルなビジネスの情報セキュリティを理解する。	2時間
備考	サイバーセキュリティプログラム科目 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。 オフィスアワー:水曜日 4 時限目			

医療福祉情報学専攻

科目名	医療福祉情報学特別研究	
英文名	Healthcare Informatics Research	
担当教員	東福寺幾夫、松尾仁司、坂本輝彦、石川雅弘、光山訓、木村憲洋、小澤静司、鈴木亮二	
時期・単位	医療福祉情報学専攻修士課程 1・2年 通年 必修 8単位	
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 実社会での課題を自らの発想に基づいて解決するために、医療福祉情報学に関する専門知識を理解し、修士の学位にふさわしい企画力、分析力、創造力、研究遂行力を修得する。</p> <p>② 情報技術の実社会への適用という観点から研究テーマを選定し、研究の計画立案、実施、修士論文作成のすべての過程において、指導教員が助言・指導を行う。特にこの分野は工学(情報)と保健衛生学との学際領域であることから、幅広い視野に立った研究指導を行う。</p>	
到達目標	研究計画の策定、実施、修士論文の作成、プレゼンテーションの過程を通して、医療福祉情報学分野における研究能力と情報技術を実社会に適用できる力を身に付ける。	
学位授与方針との対応	✓	健康・医療・保健福祉に関する幅広い知識と医療情報学に関する専門的知識・技能を身につけている。
	✓	高度な情報処理技術を修得し、それを健康・医療・保健福祉分野の諸問題の解決に適用するための実践的能力を身につけている。
	✓	健康・医療・保健福祉の情報化に関わる課題について研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。
	✓	健康・医療・保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。
SDGsとの関連	<b>3</b>	
評価方法	修士論文の審査結果にて評価に代える。	
課題に対するフィードバック	全て討議の中でフィードバックをかける。	
使用教材	特になし。	
講義内容	第1～4回 テーマ・課題設定に関する討議	
	第5～6回 研究計画の策定・発表	
	第7～15回 研究実施内容の方向付け(討議を含む)	
第16～18回 中間発表内容についての討議		
第19～20回 専攻内中間発表		
第21～24回 修士論文の纏め方についての討論		
第25～28回 修士論文作成指導		
第29～30回 修士論文専攻内最終発表会		
予習	特に指定しない	
復習	特に指定しない	
備考	我が国の少子高齢化に伴う医療福祉分野の様々な課題への情報技術の活用方法について学習を深めておく。 教員への連絡方法は、担当教員の初回授業時に提示する。	

科目名	質的/量的研究総論		
英文名	Qualitative research and Quantitative research		
担当教員	安達 正嗣、上原 徹		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 4単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 保健福祉学における調査研究の主たる二つの方法である質的研究と量的研究について講義を行う。質的研究は、比較的数少ないデータについて「何故、どうして」という意味内容を把握するために行われる。内容分析、グラウンデッドセオリー、エスノグラフィーなどの方法で記述データを扱うことが多い。量的研究は、数の多いデータを標準化された測定法や尺度で数量化し、定式化された統計手法で仮説を科学的に検証する研究である。学生が、研究の基礎になる二つの方法論について十分に理解すること、以上を目標とする。</p> <p>② 履修者の進捗状況に合わせて、個別指導に近い形態で、ディスカッションや相互討論も含めながら講義を行う。パワーポイントのスライドや PDF 資料などの教材は随時配布する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の基本事項を説明できる</li> <li>2. 研究デザインの重要性を認識できる</li> <li>3. 研究手法の種類と解析方法を解説できる</li> <li>4. 自身の研究方法について、適応を検討できる</li> <li>5. 実現可能な研究方法を一人で計画できる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
		精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	1	10	16
評価方法	講義への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 20%等を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第 1 回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める		
1	講義内容	調査研究の基礎(質的 1)	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
2	講義内容	調査研究の基礎(質的 2)	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
3	講義内容	仮説と実証(質的 1)	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
4	講義内容	仮説と実証(質的 2)	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
5	講義内容	研究デザインの基礎(質的 1)	

保健福祉学専攻

	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
6	講義内容	研究デザインの基礎(質的 2)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
7	講義内容	研究倫理審査について(質的)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
8	講義内容	質的研究概説①		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
9	講義内容	質的研究概説②		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
10	講義内容	質的研究概説③		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
11	講義内容	質的研究例と方法論①		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
12	講義内容	質的研究例と方法論②		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
13	講義内容	質的研究例と方法論③		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
14	講義内容	研究論文のまとめ方(質的 1)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
15	講義内容	研究論文のまとめ方(質的 2)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
16	講義内容	調査研究の基礎(量的 1)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
17	講義内容	仮説と実証(量的 1)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
18	講義内容	研究デザインの基礎(量的 1)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
19	講義内容	研究倫理審査について(医学系)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間

保健福祉学専攻

	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
20	講義内容	量的研究概説①		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
21	講義内容	量的研究概説②		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
22	講義内容	量的研究概説③		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
23	講義内容	量的研究と方法論①		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
24	講義内容	量的研究と方法論②		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
25	講義内容	量的研究と方法論③		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
26	講義内容	統計処理の基本		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
27	講義内容	統計ソフトの使い方		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
28	講義内容	研究論文のまとめ方(量的1)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
29	講義内容	研究論文のまとめ方(量的2)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
30	講義内容	総合討論、まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	1時間
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	1時間
備考	<p>講義前には、担当に該当する教科書の内容を読んでおくこと。講義の後に「関連文献」や「関連書籍」を伝えるので、それを読み関心を高めること。最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。なお、質的研究を安達(前期)、量的研究(後期)を上原が主に担当する予定。</p> <p>オフィスアワー(上原):前後期ともに、月曜4限、金曜4限とする。</p> <p>オフィスアワー(安達):前後期ともに、火曜5限と水曜3限とする。</p>			

保健福祉学専攻

科目名	社会福祉研究方法論		
英文名	Research Methods of Social Welfare		
担当教員	安達 正嗣		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>社会福祉学ならびにその関連の学問分野(老年学、社会学など)における参考文献、既存の学術論文・報告書などを検討して、その研究方法を学習することを通じて、受講生各自で社会福祉研究法を理解し身につけることが目標である。</p> <p>講義全体を通じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図書の各章(担当者の指定する教科書の場合もある)・学術論文を解題し意見を述べ、担当者ならびに他の受講生と質疑応答・議論をする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉研究の方法論の基本事項を説明できる。</li> <li>2. 社会福祉研究のデザインの重要性を認識できる。</li> <li>3. 社会福祉研究の手法の種類と分析方法を解説できる。</li> <li>4. 受講生自身の研究方法について、社会福祉研究の方法を適用できる。</li> <li>5. 社会福祉に関する実現可能な研究方法を一人で計画できる。</li> </ol>		
学位授与方針との 対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身に着けている。	
	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連			
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 20%等を総合して判断する。		
課題に対する フィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
2	講義内容	学問の一分野としての社会福祉研究	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	現場の視点と研究の視点	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
4	講義内容	研究のレビューの方法と作成	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
5	講義内容	研究の倫理	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間

保健福祉学専攻

6	講義内容	研究課題の設定とその手順		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	仮説の構築と検証の手続き		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	研究の資料と分析		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	量的調査データの分析		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	面接調査による質的研究		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	ミクロレベルの評価分析		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	メゾレベルの評価分析		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	研究計画の作成		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	問題を政策に結びつける調査研究		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	総合討論、まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	3時間
		復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	3時間
備考	最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワーは、前後期共に、火曜日 5 限・6 限である。 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。			

保健福祉学専攻

科目名	保健福祉調査特論		
英文名	Basic Research Methods in Health and Welfare Sciences		
担当教員	安達 正嗣		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>保健福祉学の学問分野、とりわけ社会福祉学の実証研究における参考文献、既存の学術論文・報告書などを検討して、その研究方法を学習することを通じて、受講生各自が保健福祉学の研究法を理解し身につけることができるようにすることが、目標である。</p> <p>講義全体を通じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図書の各章(担当者の指定する教科書の場合もある)・学術論文を解題し意見を述べ、担当者ならびに他の受講生と質疑応答・議論をする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会福祉研究の方法論の基本事項を説明できる。</li> <li>2. 社会福祉研究のデザインの重要性を認識できる。</li> <li>3. 社会福祉研究の手法の種類と分析方法を解説できる。</li> <li>4. 受講生自身の研究方法について、社会福祉研究の方法を適用できる。</li> <li>5. 保健福祉学における実現可能な研究方法を一人で計画できる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連			
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 30%を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2,3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
2	講義内容	調査対象と調査主体の明確化	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	調査目的の設定と社会貢献の意味	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
4	講義内容	調査の企画と調査回数(横断調査と縦断調査)	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
5	講義内容	サンプリング(標本抽出)の方法と対象者の協力	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間

保健福祉学専攻

6	講義内容	質問紙調査と測定方法		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	事前調査の意義		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	配布・回収と自記式・他記式		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	量的分析方法(記述統計・仮説検証・統計的手法)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	質的調査の方法(面接・観察・記録)		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	質的データの分析の手法		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	調査倫理と個人情報		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	国際比較調査の課題		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	社会福祉調査の困難さと長所		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	総合討論、まとめ		
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	3時間
		復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	3時間
備考	最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。 オフィスアワーは、前後期共に、火曜日 5限・6限である。 教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。			

科目名	精神神経医学特論		
英文名	Neuropsychiatry research		
担当教員	上原 徹		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 精神疾患や心理的問題にかかわる行動医学分野が精神神経医学である。精神障害に罹患している人々は、5人に一人ともいわれる。うまれてから老年に至るまで、幅広いライフステージにわたり、個人の認知、情動、社会的機能に重大な影響を与える。当事者のみならず、家族や周囲の人々、社会にも大きな苦悩をもたらす。学生が、精神障害や心理的問題の知識を学び、支援に関わる専門家としての基本を獲得できる。また、関連するヘルスケア多職種との協働に向け、機能的に働けるようになることを目標とする。</p> <p>② 履修者の進捗状況に合わせて、個別指導に近い形態で、ディスカッションや相互討論も含めながら講義を行う。パワーポイントのスライドやPDF資料などの教材は随時配布する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神疾患の基本的概念を説明できる</li> <li>2. ケアを受ける人の心理や行動を理解できる</li> <li>3. 精神医学的支援の知識と技術が説明できる</li> <li>4. 他分野と機能的に連携する視点を持てる</li> <li>5. 精神医学研究の主な知見を説明できる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	①	⑩	⑯
評価方法	講義への出席 3分の2以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、ディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	三恵社 保健医療福祉関連専門職を目指す人のための精神医療・精神医学（上原徹）		
1	講義内容	精神神経医学とは	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
2	講義内容	こころや脳の構造と防衛機制	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	精神症状と行動心理評価	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
4	講義内容	診断学と疾病学	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
5	講義内容	器質性と症状性、薬物使用障害	

保健福祉学専攻

	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
6	講義内容	統合失調症		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
7	講義内容	双極性障害		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
8	講義内容	うつ病性障害		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
9	講義内容	認知症		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
10	講義内容	児童青年期疾患		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
11	講義内容	摂食障害		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
12	講義内容	人格や性格理論		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
13	講義内容	神経症と PTSD		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
14	講義内容	睡眠障害ほか		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
15	講義内容	総合討論、レポート発表		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間
備考	<p>配布した資料を基に、復習と自主的な発展的学習を行うこと。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー：前後期ともに月曜 4 限、金曜 4 限とする。連絡先については授業で提示する。</p> <p>研究室：1 号館 5 階 512</p>			

保健福祉学専攻

科目名	家族社会学特論		
英文名	Research of Family Sociology		
担当教員	安達 正嗣		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>家族社会学における参考文献、既存の学術論文・報告書などを検討して、その研究方法を学習することを通じて、受講生各自で保健福祉学分野において必要とされる家族社会学の基礎力と応用力を身につけることが目標である。</p> <p>講義全体を通じての進め方としては、受講生が自らの研究テーマや問題関心に応じた学術図書各章（担当者の指定する教科書の場合もある）・学術論文を解題し意見を述べ、担当者ならびに他の受講生と質疑応答・議論をする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家族社会学研究の方法論の基本事項を説明できる。</li> <li>2. 家族社会学研究のデザインの重要性を認識できる。</li> <li>3. 家族社会学研究の手法の種類と分析方法を解説できる。</li> <li>4. 受講生自身の研究方法について、家族社会学研究の方法を適用できる。</li> <li>5. 家族社会学における実現可能な研究方法を一人で計画できる。</li> </ol>		
学位授与方針との 対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連			
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 50%、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 30%を総合して判断する。		
課題に対する フィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標 1,2,3,4,5	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
2	講義内容	家族研究の発端	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	家族分析の基礎	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
4	講義内容	親族と地域生活	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
5	講義内容	家族変動・近代家族	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間

保健福祉学専攻

6	講義内容	結婚の定義・結婚行動		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	夫婦関係		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	生殖行動		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	子育てと子どもの社会化		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	階層と職業		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	家族危機・家族と個人		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	離婚・再婚		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	世代間関係		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	家族問題と家族政策		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	総合討論、まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	3時間
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	3時間
備考	<p>最終的に単位修得に必要な時間との差異は、各自で補完すること。                      オフィスアワーは、前後期共に、火曜日 5 限・6 限である。                      教員への連絡方法は、初回授業時に提示する。</p>			

保健福祉学専攻

科目名	子育て支援特論 I			
英文名	Child Care Support (Mastered I)			
担当教員	千葉 千恵美			
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 現代社会の問題である子育ての現状に着目し、家族環境の変化や親子関係等、子育てに必要な理論や技術の修得を目標とする。</p> <p>② 育児不安や育児ストレス等育児困難な状況にある養育者を対象に、困難事例を検討し、育児問題の解決にむけた研究報告を行う。各授業はテーマを決めて講義を行い、その後参加した学生から感想や意見を出し合うグループワークを用いる。</p>			
到達目標	<p>1. 養育者の生活や子育て環境を把握し、具体的な支援方法を考える事が出来る。</p> <p>2. 養育者の置かれた家族背景や家族環境から養育者の生育歴や状況を理解し検討する事が出来る。</p> <p>3. 親子関係を支援し、児童虐待防止に向けた支援方法を考える事が出来る</p> <p>4. 他機関連携・協働に向けた支援方法を実践する事が出来る</p>			
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。		
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。		
	✓	対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。		
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	✓	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: green; font-weight: bold;">3</span>      <span style="color: red; font-weight: bold;">5</span>      <span style="color: purple; font-weight: bold;">8</span>      <span style="color: pink; font-weight: bold;">10</span>      <span style="color: orange; font-weight: bold;">11</span>      <span style="color: blue; font-weight: bold; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">16</span>      <span style="color: blue; font-weight: bold; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">17</span> </p>			
評価方法	課題提出レポート 20%、定期レポート試験を 80%とする。			
課題に対するフィードバック	提出されたレポートに対するコメントをする。また定期レポート課題についてフィードバックする。			
使用教材	<p>1. 千葉千恵美著「子育て支援の実践」現代図書 2020</p> <p>2. 千葉千恵美著「乳幼児保育と子育て支援」風詠社 2023</p> <p>3. スーザン・H・マクダニエル著「メディカルファミリーセラピー」金剛出版 2016</p>			
1	講義内容	オリエンテーション		
	該当する到達目標	予習	事前の配布資料を読み、子育て支援の現状と課題について予備知識を入れる	1.5 時間
1,2		復習	講義資料を読み返し、子育て支援の現状と課題について講義内容を振り返る	1.5 時間
		講義内容	子ども・家庭福祉に必要な子育て支援の生活実態と取り巻く社会情勢について	
2	該当する到達目標	予習	書籍 1.p1-p9 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3	復習	書籍、配布資料を読み返し子育て支援の社会情勢について講義内容を振り返る	1.5 時間
3	講義内容	家庭や家族の役割や機能について		
	該当する到達目標	予習	配布資料、書籍 2. p1-p5 を事前に読み家庭や家族について予備知識を入れる	1.5 時間
1,2,3		復習	書籍、配布資料を読み返し、家庭や家族への講義内容を振り返る	1.5 時間
		講義内容	家族の歴史についてー原家族の理解とジェノグラム作成ー	
4	該当する到達目標	予習	事前に配布資料を読み、家族やジェノグラム、原家族の予備知識を入れる	1.5 時間
	1,2,3	復習	配布資料を読み返し、家族の歴史について講義内容の理解を深める	1.5 時間
5	講義内容	乳幼児時期の発達課題と子育て支援について		
	該当する到達目標	予習	書籍 1.第 2 章 p10-p24 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
1,2,3		復習	書籍や配布資料を読み返し、乳幼児時期の子育て支援の講義内容を振り返る	1.5 時間

6	講義内容	家族関係と家族問題について		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	書籍 1.第 2 章 p25-p32 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
		復習	書籍や配布資料を読み返し、家族関係や家族問題について内容の理解を深める	1.5 時間
7	講義内容	事例検討 1—子どもが見せた遊びと家族関係のつながり—		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	書籍 1.第 4 章 p106-p111 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
		復習	書籍や配布資料を読み返し、子どもが見せた家族関係と遊びについて振り返る	1.5 時間
8	講義内容	事例検討 2—国際結婚児の子育て支援について—		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	書籍 1.第 2 章 p33-p52 を事前に読み、予備知識を入れる	1.5 時間
		復習	書籍や配布資料を読み返し、国際結婚児の子育て支援の内容の理解を深める	1.5 時間
9	講義内容	事例検討 3—地域子育て支援センターの活動について—		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	書籍 1. 第 2 章 p53-p69 を事前に読み、活動内容について予備知識を入れる	1.5 時間
		復習	書籍や配布した資料を読み返し、地域子育て支援センターの活動内容を振り返る	1.5 時間
10	講義内容	事例検討 4—児童虐待死亡児童と親子の関係について—		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配布した資料を事前に読み、講義内容について予備知識を入れる	1.5 時間
		復習	配布した資料を読み返し、児童虐待死亡児童とその親理解への理解を深める	1.5 時間
11	講義内容	事例検討 5—特別支援が必要な子どもの子育て支援について—		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	書籍 2.第 7 章 p69-p71 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
		復習	書籍や配布資料を読み返し、特別な支援が必要な子育て支援の理解を深める	1.5 時間
12	講義内容	家族の病気と子育て支援		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	書籍 3.第 11 章 p263-p290 を事前に読み、予備知識として講義内容を入れる	1.5 時間
		復習	書籍や配布資料を読み返し、家族の病気と子育て支援について理解を深める	1.5 時間
13	講義内容	医療・教育・福祉に関連した子育て支援について		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	書籍 3.第 10 章 p239-p261 を事前に読み、講義内容の予備知識を入れる	1.5 時間
		復習	配布資料や書籍を読み返し、医療・教育・福祉の関連性について内容を振り返る	1.5 時間
14	講義内容	子育て支援の動向と施策と役割について		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	配布した資料を事前に読み、子育て支援の動向や役割について内容にふれる	1.5 時間
		復習	配布資料を読み返し、子育て支援の動向や課題等今後の流れを理解し深める	1.5 時間
15	講義内容	まとめ これからの子ども家庭福祉に関する子育て支援施策や課題について		
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	いままでの書籍や配布資料を読み、今後の子育て支援についての動向を調べる	1.5 時間
		復習	書籍や配布資料を読み返し、これから必要な子育て支援について理解を深める	1.5 時間
備考	Key Word: 子ども家庭福祉、子育て支援、家族の役割、支援方法 オンラインで実施する場合は、オンデマンド型授業とする。資料の配布や課題の提出には C-Learning を用いる。 オフィスアワー: 火曜日 4・5 限目 8 号館 4F chiba#takasaki-u.ac.jp (#→@)			

保健福祉学専攻

科目名	子育て支援特論Ⅱ		
英文名	Child Care Support (Mastered Ⅱ)		
担当教員	千葉 千恵美		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 保健、医療、福祉の観点から、子育て支援の理論と技法を習得する。保育・教育現場で応用できる事例検討と親子関係についてアセスメントできる力量の獲得を目標とする。</p> <p>② 複雑な家庭背景や家族関係や生活環境、生育歴や精神疾患を抱える親子、外国籍の親子を含むハイリスクにある家庭や家族への子育て支援の方法について、多機関連携・協働にむけた実践報告を行う。子育て支援に必要な資料、教科書、視覚教材を用い、グループワークを行い問題解決に向けた事項を研究し整理する。</p>		
到達目標	<p>1. 養育者が抱える問題や背景を解析し、問題解決に向けた支援をする事が出来る。</p> <p>2. 精神疾患の親と子どもの発達課題をもつ相方にむけた介入支援をする事が出来る。</p> <p>3. 複雑な事例検討を行い、問題解決に向けた支援方法を考える事が出来る。</p> <p>4. 面接方法や支援方法のプロセスを検討し、海外で実践されている支援方法を生かす事が出来る。</p> <p>5. 保健、医療、福祉の観点から地域の多機関や社会資源と連携を支援する事が出来る。</p>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
	✓	対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連			
評価方法	授業終了後毎回レポートを提出 20% 最終レポート 80%とする。		
課題に対するフィードバック	授業終了後レポートの内容についてコメントを行う。また最終レポート課題についてフォードバックを行う。		
使用教材	<p>1. 千葉千恵美著「乳幼児保育と子育て支援」風詠社 出版 2023</p> <p>2. 日本家族研究・家族療法学会編「臨床家のための家族療法リソースブック」金剛出版社 2003</p> <p>3. スーザン・H・マクダニエル著「メディカルファミリーセラピー」金剛出版社 2016</p>		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標 1,2	予習	子育て支援に関連する研究論文を検索し事前に熟読しておく 1.5 時間
		復習	子育て支援関連の論文から得られた内容を整理する 1.5 時間
2	講義内容	子どもと家族に関する養育状況－国際比較調査報告の検討－	
	該当する到達目標 1,2	予習	書籍 3.pp.5-28 を事前に熟読しておく 1.5 時間
		復習	子育てに関する国際比較調査から得られた内容を整理する 1.5 時間
3	講義内容	育児不安や育児ストレスの高い養育者と児童虐待の関連性について	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	書籍 1.pp.61-68 を事前に熟読しておく 1.5 時間
		復習	育児不安の高い養育者について要因について整理する、 1.5 時間
4	講義内容	Playing by the Rules: Integrated Care's Impact on Quality of ADHD Management	
	該当する到達目標 2,3,4	予習	配布した Integrated Care's Impact on Quality of ADHD 資料を読んでおく 1.5 時間
		復習	海外の ADHD に関する資料から得られた支援方法を整理する 1.5 時間
5	講義内容	面接方法の理解と実践－インタビュー 分析、カテゴライズから見えてきた課題－	

保健福祉学専攻

	該当する到達目標	予習	書籍 2,pp.122-123 を事前に読んでおく	1.5 時間
	4,5	復習	困難な状況下にいる養育者を理解し、面接に必要な理解と支援を整理する	1.5 時間
6	講義内容	子育て支援の基礎理解について一複雑な家族関係にむけた支援方法		
	該当する到達目標	予習	書籍 2,pp.114-115 を事前に読んでおく	1.5 時間
	2,3,4	復習	複雑な家族関係から生じる課題や問題点を明らかにし支援方法の整理する	1.5 時間
7	講義内容	子育て支援で必要な家族支援方法について一危機的介入について一		
	該当する到達目標	予習	書籍 2,pp.132-133 を事前に熟読する	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	危機的介入の支援方法について整理する	1.5 時間
8	講義内容	子育て支援で生じる問題解決にむけた具体的な介入方法について		
	該当する到達目標	予習	書籍 2,pp.134-135 を事前に読んでおく	1.5 時間
	1,2,3	復習	子育て支援の関わりで必要な具体的な介入方法を整理する	1.5 時間
9	講義内容	親子関係性について 一児童虐待に向けた支援と早期発見の手がかり一		
	該当する到達目標	予習	書籍 2,pp.81-82 読んでおく	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	児童虐待の早期発見の手がかりに必要な具体的な事項を整理する	1.5 時間
10	講義内容	他機関連携の必要性と役割一医療機関、児童相談所、保健センター、警察との連携一		
	該当する到達目標	予習	書籍 1,pp.36-37 を読んでおく	1.5 時間
	1,2,5	復習	他機関連携によって問題解決した介入方法を整理する	1.5 時間
11	講義内容	事例検討のよる対応から児童虐待によって死亡した親子の関係性		
	該当する到達目標	予習	事前に配布している児童虐待死亡事例について熟読しておく	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	児童虐待によって死亡した原因や親子関係の背景、状況、解決方法を整理する	1.5 時間
12	講義内容	事例検討による対応から児童虐待の予防施策と具体的な介入方法について		
	該当する到達目標	予習	書籍 1,pp.31-35,48-60 事前に調査する	1.5 時間
	1,2,3,4	復習	児童虐待防止と具体的な対応について整理をする	1.5 時間
13	講義内容	親子にむけた支援方法一専門職にむけた支援一		
	該当する到達目標	予習	里親制度や養子縁組に関する施策を事前に調査する	1.5 時間
	1,2,3,5	復習	地域にある社会資源や里親制度など新たな親子に関する支援方法を整理する	1.5 時間
14	講義内容	医療・保育・教育現場に求められる子育て支援		
	該当する到達目標	予習	書籍 1,pp.6-23,書籍 2,p.7,pp.134-135 書籍 3,pp.115-132 を読んでおく	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	保育・教育現場に求められる子育て支援の実情を整理する	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	医療・教育・福祉の関連性から子育て支援の必要性を調査する	1.5 時間
	1,2,3,4,5	復習	医療・教育・福祉の関連領域から子育て支援を振り返る	1.5 時間
備考	<p>Key Word: 育児不安、子育て支援の実践、児童虐待の早期発見と対応、ハイリスクの家庭と家族</p> <p>オンラインで実施する場合は、オンデマンド型授業とする。資料の配布や課題の提出には C-Learning を用いる。</p> <p>オフィスアワー: 火曜 4・5 限目 8 号館 4 階 chiba#takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

科目名	コミュニティメンタルヘルスケア特論		
英文名	Community mental health care		
担当教員	池田 朋広		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 近年メンタルヘルスケアは、保健医療機関が提供するものばかりではなくなり、リハビリ概念の普及と共に、国民全員を対象としたものに変化してきており、教育、産業、司法等様々な領域へと広がりをみせてきている。これまで紹介されている多くの支援ツールやプログラムは、心の不調をきたした者にとって、自身のメンタルヘルスケアの方法や、よりよく生きていくための大切な学びを与えてくれるものとなってきている。また、支援の現場にとっては、薬物療法のみには偏らない、様々な介入法を提示してくれ、支援の可能性を大きく広げてくれるものとなっている。こうした、コミュニティベースの支援について学びを深めたい。</p> <p>② 研究テーマを遂行し成果につなげるために必要な研究や実践例をとりあげ、指導教員ならびに他の受講生と質疑応答・議論をする。</p>		
到達目標	<p>1. コミュニティベースの支援技法を知る。</p> <p>2. 日本の精神保健福祉の現状を、海外との比較から考察する。</p> <p>3. 新たな取り組みをしている現場を見る。</p> <p>4. 自身の立場でできるコミュニティメンタルヘルスケアを考える。</p>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
		精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
	✓	対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	<p>①                      ③   ④   ⑤                      ⑧                      ⑩   ⑪                      ⑬   ⑭   ⑮   ⑯   ⑰</p>		
評価方法	「講義への出席 3 分の 2 以上」を評価の条件とし、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 50%、レポート(3 回程度)30%を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題を告知し、提出されたレポートの内容について教員の意見をフィードバックする。		
使用教材	第 1 回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める		
1	講義内容	コミュニティメンタルヘルスケアにおける我が国の現状	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
2	講義内容	コミュニティメンタルヘルスケアにおける海外の動向①	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
3	講義内容	コミュニティメンタルヘルスケアにおける海外の動向②	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
4	講義内容	SAHSA(Substance Abuse and Mental Health. Services Administration)における「リハビリ一の定義(SAMHSA's WORKING DEFINITION OF RECOVERY)」について	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間

保健福祉学専攻

5	講義内容	ACT(Assertive Community Treatment:包括型地域生活支援プログラム)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
6	講義内容	IMR(Illness Management and Recovery)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	オープンダイアログ(Open Dialogue;開かれた対話)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	WRAP®(Wellness Recovery Action Plan)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	リカバリー・ダイナミクス®(RD)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	マトリクスモデル(Matrix model)・ SMARPP(Serigaya Methamphetamine Relapse Prevention Program)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	ITCOD(Integrated Treatment for Co-Occurring Disorders)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	マインドフルネス(Mindfulness)について		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	総合討論①		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義を振り返って、自分の考えをまとめておく。	1時間
	4	復習	討論を踏まえてコミュニティメンタルヘルスケアについての自分の考えをまとめる	1時間
14	講義内容	総合討論②		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義を振り返って、自分の考えをまとめておく。	1時間
	4	復習	自分ができるコミュニティメンタルヘルスケアを考案する。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	2回の討論を踏まえて、自分の考えをまとめておく。	2時間
	4	復習	自分なりに学んだことを整理する。	2時間
備考	予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。研究遂行において、学んだことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。 オフィスアワー:前後期ともに、火曜 4, 5 限とする。			

科目名	食とメンタルヘルス特論		
英文名	Mental health and eating attitudes		
担当教員	上原 徹		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
講義目標 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 2005年に成立した食育基本法では、食は生きるための基本的な行動であり、食に関する知識の教育が、心身の発達に重要であると明確に宣言された(「国民一人一人が、生涯を通じた健全な食生活の実現、食文化の継承、健康の確保等が図れるよう、自らの食について考える習慣や食に関する様々な知識と食を選択する判断力を楽しく身に付けるための学習等の取組みにより、健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことを目的としている」)。学生が、メンタルヘルスと食との関連や、さまざまな精神・心身の問題と「食」との密接な関係について学び、自ら考察できるようになることを目標とする。</p> <p>② 履修者の進捗状況に合わせて、個別指導に近い形態で、ディスカッションや相互討論も含めながら講義を行う。パワーポイントのスライドやPDF資料などの教材は随時配布する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>人間にとっての食の意味を多面的に理解できる</li> <li>食に関わるメンタルヘルス課題を説明できる</li> <li>摂食障害について解説できる</li> <li>精神疾患と食行動との関連を説明できる</li> <li>食と文化、人間関係と食行動との関係、現代社会の抱える食の問題に視野を広げられる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめ発表する能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	①	⑩	⑯
評価方法	講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、やディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	適宜参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス—摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和書店など)		
1	講義内容	ヒトや動物の食行動について	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
2	講義内容	食に関わる生理機能や脳機能	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	心身医学的病態と食行動	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
4	講義内容	精神医学的な疾患と食行動	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
5	講義内容	摂食障害特論① 診断と症状	

保健福祉学専攻

	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
6	講義内容	摂食障害特論② 病態と合併症		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
7	講義内容	摂食障害特論③ 歴史と疫学		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
8	講義内容	摂食障害特論④ 病因と経過		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
9	講義内容	摂食障害特論⑤ 心理社会要因		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
10	講義内容	摂食障害特論⑥ 生物身体要因		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
11	講義内容	摂食障害特論⑦ 子どもの摂食問題		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
12	講義内容	摂食障害特論⑧ 治療と支援		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
13	講義内容	摂食障害特論⑨ 社会的課題		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
14	講義内容	摂食障害特論⑩ スポーツとの関連		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1 時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1 時間
15	講義内容	マインドフルな食、まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2 時間
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2 時間
備考	<p>配布した資料を基に、復習と自主的な発展的学習を行うこと。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。  予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。  オフィスアワー(上原):前後期ともに、月曜 4 限、金曜 4 限とする。</p>			

保健福祉学専攻

科目名	地域福祉特論		
英文名	Community Care System		
担当教員	金井 敏		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>【講義目標】</p> <p>地域福祉の推進は、今後の社会福祉実践や政策を展開するうえで基調的なものであり、メインストリームである。この講義では、地域福祉の歴史や市町村の福祉行政や民間の実践、地域福祉計画づくりなどに関する先行研究や事例にあたりながら、研究者として政策立案や実践の批判的研究を行うことができる能力を身につけることを目標とする。</p> <p>【講義の実施方法】</p> <p>文献の精読テーマに基づくレジュメづくり、ディスカッション、その他</p>		
到達目標	<p>1. 地域福祉に関する日本およびイギリスの歴史と実践について説明できる。</p> <p>2. 地域福祉に関する行政施策、審議会答申などについて説明できる。</p> <p>3. 地域福祉の社会資源やソーシャルワーカーの活用や支援について学術レベルの議論が展開できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。	
	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連			
評価方法	<p>① 授業内における文献研究・フィールドワーク研究の発表内容＝約 50%</p> <p>② 授業内における発題や応答などディスカッションへの積極的な姿勢および当該テーマへのアプローチ方法の創意工夫など研究者としての資質の深化＝約 50%</p>		
課題に対する フィードバック	提出された意見やレポートについては、授業時に回答や提案などフィードバックを行い、必要に応じて学生とディスカッションする。		
使用教材	教科書は使用しない。参考文献は別途指示する。授業に要する資料は適宜配付する。		
1	講義内容	ガイダンス	
	該当する到達目標 1,2	予習	シラバスの講義目標や内容に目を通し、理解する。 1.5時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価の方法などを確認する。 1.5時間
2	講義内容	地域社会の変遷～人口構造・家族構造・要援護者の実態	
	該当する到達目標 1,2	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。 1.5時間
		復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。 1.5時間
3	講義内容	社会福祉基礎構造改革と地域福祉の考察	
	該当する到達目標 1,2	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。 1.5時間
		復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。 1.5時間
4	講義内容	社会的援護が必要な人々の実態	
	該当する到達目標 1,2	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。 1.5時間
		復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。 1.5時間
5	講義内容	社会福祉法の改称・改正の考察	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。 1.5時間

保健福祉学専攻

	1,2	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
6	講義内容	中央社会福祉審議会・社会保障審議会など政策動向		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
7	講義内容	地域福祉と地域包括ケアシステム		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
8	講義内容	地域福祉計画における行政と市民・民間福祉の役割		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
9	講義内容	イギリスのコミュニティケアの歴史と日本の地域福祉		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
10	講義内容	社会福祉協議会の役割と地域福祉の推進方法		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
11	講義内容	地域福祉における民生委員・児童委員の役割		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
12	講義内容	ふれあいいきいきサロン活動と住民の主体性		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
13	講義内容	住民や専門職が担う相談支援の重層的な拠点と場づくり		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
14	講義内容	災害時のソーシャルワークと住民の支援		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考文献や資料を読み、レビューする。	1.5 時間
	2,3	復習	講義内容に関する知識や情報を整理して、研究への応用を検討する。	1.5 時間
15	講義内容	まとめ 地域福祉展開のパラダイム		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返り、討議の柱を立てて議論の準備をする。	2 時間
	1,2,3	復習	議論の内容や得られた知見をもとに、研究課題を熟考する。	2 時間
備考	<p>シラバスをもとにして学生自身が主体的に研究計画を組み立てることを期待する。また、自身の研究目標に照らして、文献研究やフィールドワークを授業のなかに取り入れるようにしたい。なお、予習・復習時間は、講義内容に関する前後の学習やレビュー発表、論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー：質問は授業の前後、または C-learning やメールでも受け付けます。</p> <p>研究室：1 号館 3 階 310 研究室</p>			

保健福祉学専攻

科目名	高齢者保健福祉特論		
英文名	Health and Welfare for older adults		
担当教員	松沼 記代		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 高齢者保健・福祉分野における施策サービスの概要や課題を明確にして、理念を具現化するための方法や課題の解決方法について科学的に検証する。さらに、これらの過程をとおして、柔軟に思考する能力や分析する能力を習得することを目標とする。</p> <p>② 各回の授業では配布資料を基にして講義形式で概要の理解を図るとともに、考察する能力の向上を図るために討論の時間を設ける。</p>		
到達目標	<p>1. 高齢者保健・福祉分野における施策サービスの概要や問題点を説明できる。</p> <p>2. 1の問題点の解決方法や、福祉理念を具現化するための方法について提示できる。</p> <p>3. 高齢者福祉に関する現状や課題について考察した内容を、整理して説明することができる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<span style="color: green; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">3</span> <span style="color: red; font-weight: bold; font-size: 1.2em; margin-left: 100px;">8</span> <span style="color: magenta; font-weight: bold; font-size: 1.2em; margin-left: 100px;">10</span> <span style="color: blue; font-weight: bold; font-size: 1.2em; margin-left: 100px;">16</span>		
評価方法	レポート提出及び発表 70%、授業の参加度 30%		
課題に対する フィードバック	レポートはコメントを付けて返却する。発表の際はその場でフィードバックする		
使用教材	毎回印刷資料を配布する。適時参考資料を提示する。担当教員著書「施設内研修におけるエスノグラフィーの効果に関する研究」を配布する。		
1	講義内容	高齢者保健福祉施策全体像の把握 授業の進め方の説明	
	該当する到達目標	予習	高齢者保健福祉に関する施策について調べる 2時間
	1,2	復習	高齢者保健福祉に関する施策の問題点について考える。 1.5時間
2	講義内容	高齢者保健福祉施策の概要及び課題(1) 介護保険サービス	
	該当する到達目標	予習	介護保険サービスの最新の情報を収集する。 2時間
	1,2,3	復習	介護保険サービスの現状と問題点を考察する。 1.5時間
3	講義内容	高齢者保健福祉施策の概要及び課題(2) 地域包括ケアシステム① 福祉サービス	
	該当する到達目標	予習	地域包括ケアシステムにおける福祉サービスの最新の情報を収集する。 2時間
	1,2,3	復習	地域包括ケアシステムにおける福祉サービスの課題を整理し、考察する。 1.5時間
4	講義内容	高齢者保健福祉施策の概要及び課題(2) 地域包括ケアシステム② 医療保健サービス	
	該当する到達目標	予習	地域包括ケアシステムにおける医療保健サービスの最新の情報を収集する。 2時間
	1,2,3	復習	地域包括ケアシステムにおける医療保健サービスの課題を整理し、考察する。 1.5時間
5	講義内容	欧米における高齢者福祉施策の実情と課題 (1) カナダ	
	該当する到達目標	予習	高齢者福祉施策の海外の状況を調べる。 2時間
	1,2,3	復習	カナダにおける高齢者福祉施策の現状と課題を整理し、考察する。 1.5時間
6	講義内容	欧米における高齢者福祉施策の実情と課題 (2) ドイツ・イギリス等	
	該当する到達目標	予習	ドイツやイギリスの高齢者福祉施策の現状を調べる 2時間
	1,2,3	復習	ドイツやイギリスの高齢者福祉施策の現状と課題を整理し、考察する。 1.5時間

保健福祉学専攻

7	講義内容	尊厳を支えるケアに関する法律・制度と課題		
	該当する到達目標	予習	尊厳を支えるケアに関する法律・制度について調べる。	2時間
	1,2,3	復習	尊厳を支えるケアに関する法律・制度の現状と課題を整理し、考察する。	1.5時間
8	講義内容	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(1) ケアプラン		
	該当する到達目標	予習	介護保険制度におけるケアプランの位置づけについて調べる。	2時間
	1,2,3	復習	介護保険制度におけるケアプランの現状と課題を整理し、考察する。	1.5時間
9	講義内容	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(2) 第三者評価		
	該当する到達目標	予習	介護保険制度における第三者評価の位置づけについて調べる。	2時間
	1,2,3	復習	介護保険制度における第三者評価の現状と課題を整理し、考察する。	1.5時間
10	講義内容	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(3) 人材育成		
	該当する到達目標	予習	高齢者施策における人材育成の位置づけについて調べる。	2時間
	1,2,3	復習	高齢者施策における人材育成の現状と課題を整理し、考察する。	1.5時間
11	講義内容	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(4) スーパービジョン		
	該当する到達目標	予習	スーパービジョンの意義と方法について調べる。	2時間
	1,2,3	復習	高齢者福祉施設等におけるスーパービジョンの現状と課題を整理し、考察する。	1.5時間
12	講義内容	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(5) キャリアパス		
	該当する到達目標	予習	キャリアパスの意義と方法について調べる。	2時間
	1,2,3	復習	高齢者福祉施設等におけるキャリアパスの現状と課題を整理し、考察する	1.5時間
13	講義内容	尊厳を支えるケアを具現化するための施策と課題(6) チームケア		
	該当する到達目標	予習	福祉施設や事業所のチームケアに関する情報を収集する。	2時間
	1,2,3	復習	福祉施設や事業所のチームケアに関する現状と課題を整理し、考察する。	1.5時間
14	講義内容	介護予防事業の動向と課題		
	該当する到達目標	予習	介護予防事業に関する法律と市町村の介護予防事業について調べる。	2時間
	1,2,3	復習	今後の介護予防事業の課題を整理し、必要な施策を考察する。	1.5時間
15	講義内容	総括・発表		
	該当する到達目標	予習	高齢者保健・福祉分野における施策サービスの現状と課題をまとめる。	2時間
	1,2,3	復習	発表した内容をさらに深く考察してまとめる。	1.5時間
備考	<p>オフィスアワー：授業の前後の時間とする。</p> <p>質問や意見はメールからも随時受け付ける。メールアドレス：k-matsunuma#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

科目名	発達障害の脳科学と支援特論		
英文名	Neuroscience of developmental disorders towards improvements of their support		
担当教員	上原 徹		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 神経発達障害は、社会性やコミュニケーション、想像性、注意機能、衝動制御などに特異的な様態を呈する。これらは、生来の脳機能の特性に由来することがおおよそ明らかになってきている。こうした特徴は、場合によっては、一般の社会状況や対人場面で困難や不都合を生み出す。こうした事態が、養育や修学、就労をめぐる顕在化すると、心理社会生物要因が複雑に絡み合った 2 次的な障害を呈する。学生が、新しい脳科学的知見を獲得し、正しい情報や知識を保健福祉的な心理社会支援に結びつけられることを目標とする。</p> <p>② 履修者の進捗状況に合わせて、個別指導に近い形態で、ディスカッションや相互討論も含めながら講義を行う。パワーポイントのスライドや PDF 資料などの教材は随時配布する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 神経発達障害の成因、診断、経過を説明できる</li> <li>2. 代表的な自閉スペクトラムと ADHD について解説できる</li> <li>3. 神経発達障害をめぐる脳科学的な知見を理解できる</li> <li>4. 医療・教育・司法・福祉現場での実態や課題を考察できる</li> <li>5. 神経発達障害をめぐる問題を俯瞰し、実際の支援に結び付く討論ができる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGs との関連	①	⑩	⑯
評価方法	講義への出席 3 分の 2 以上、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、ディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	参考書を推薦する(佐々木正美、自閉症のすべてがわかる本、講談社など)。適宜資料を準備する。		
1	講義内容	神経発達障害の総論	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
2	講義内容	脳科学総論① 解剖と生理機能と局在	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
3	講義内容	脳科学総論② 高次脳機能、社会脳	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
4	講義内容	自閉スペクトラム① 疫学、診断、行動特性	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1 時間
5	講義内容	自閉スペクトラム② 社会での実態、2 次障害	

保健福祉学専攻

	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
6	講義内容	自閉スペクトラム③ 支援と治療、最新の脳科学		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	注意欠如多動性障害① 疫学、診断、行動特性		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	注意欠如多動性障害② 社会での実態、2次障害		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	注意欠如多動性障害③ 支援と治療、最新の脳科学		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	知的障害		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	特異的学習障害		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	社会的な動向や支援の課題		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	保健福祉施策の実際		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	新しい脳科学の動き		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	総合討論、レポート発表		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2時間
	1,2,3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2時間
備考	<p>配布した資料を基に、復習と自主的な発展的学習を行うこと。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー：前後期ともに月曜4限、金曜4限とする。連絡先については授業で提示する。</p> <p>研究室：1号館5階512</p>			

科目名	福祉人材育成特論		
英文名	Human Resource Development for a Person Engaged in Social Welfare Service		
担当教員	永田 理香		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>【講義の目標】</p> <p>現在、福祉人材確保政策において人材育成の重要性が注目され、キャリアパスの策定や人材育成認証評価制度等の取組みが進められてきている。本講義では、人材育成を組織的な学習・教育活動と捉え、社会福祉施設・機関のリーダー、管理者等の人材育成担当者に求められる、福祉職場におけるキャリアパス構築及び活用方法等の、福祉人材育成における方法論について学んでいく。</p> <p>【講義の実施方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事前配布された参考文献・資料を読み理解を深める</li> <li>・ テーマに基づきディスカッションし考察を深める</li> <li>・ 福祉職場の視点から課題を整理する</li> </ul>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福祉人材育成の今日的課題について説明することができる。</li> <li>2. 福祉人材育成方法の標準化における課題について説明することができる。</li> <li>3. 福祉職場において活用できるキャリアパスの構築方法について説明することができる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連			
評価方法	ディスカッションを中心とした授業展開とするため、授業における発言内容(50%)、最終講義における研究成果の発表内容(50%)により総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	提出されたレポートについては、出題した意図について解説を行い、コメントを付け返却を行なう。		
使用教材	講義に使用する資料は適宜配布する。また、参考資料、文献等は、講義内容に基づき提示する。		
1	講義内容	イントロダクション—人材育成とは—	
	該当する到達目標 1	予習	人材育成の定義について調べる。 1時間
		復習	人材育成における組織と個人の関わりについて理解を深める。 1時間
2	講義内容	社会福祉学における福祉人材育成の位置づけ	
	該当する到達目標 1	予習	福祉人材育成の対象について調べる。 1時間
		復習	福祉人材育成の学術的な位置付けについて理解を深める。 1時間
3	講義内容	福祉人材育成に関する政策的変遷	
	該当する到達目標 1	予習	最近の福祉人材育成に関する政策を調べる。 1時間
		復習	講義で扱った政策について理解を深める。 1時間
4	講義内容	標準化の視点からみた福祉・介護サービスの特性	
	該当する到達目標 2	予習	標準化の定義及び方法について調べる。 1時間
		復習	福祉分野における標準化の課題について理解を深める。 1時間
5	講義内容	福祉分野の職場研修における実態と課題	
	該当する到達目標	予習	職場研修の方法について調べる。 1時間

保健福祉学専攻

	2	復習	福祉分野の職場研修の課題について理解を深める。	1時間
6	講義内容	都道府県社会福祉研修実施機関における福祉の職場研修の実態と課題		
	該当する到達目標	予習	都道府県社会福祉研修実施機関が実施する研修事業を調べる。	1時間
	2	復習	都道府県レベルの研修事業の課題について理解を深める。	1時間
7	講義内容	福祉職場におけるキャリアパスの導入と課題		
	該当する到達目標	予習	福祉分野におけるキャリアパス導入の背景について調べる。	1時間
	2,3	復習	福祉職場におけるキャリアパス導入の実態と課題について理解を深める。	1時間
8	講義内容	キャリアパスに対応した生涯研修課程の検討		
	該当する到達目標	予習	全国社会福祉協議会の作成した生涯研修課程について調べる。	1時間
	2,3	復習	キャリアパスに対応した生涯研修課程のあり方について理解を深める。	1時間
9	講義内容	カリキュラムデザインの視点からみた福祉の職場研修		
	該当する到達目標	予習	カリキュラムデザインの定義について調べる。	1時間
	3	復習	福祉の職場研修における基準のあり方について理解を深める。	1時間
10	講義内容	カリキュラムデザインの手法に基づくキャリアパスの構築方法		
	該当する到達目標	予習	カリキュラムデザインの手法について調べる。	1時間
	3	復習	教育学的視点に基づくキャリアパスの構築方法について理解を深める。	1時間
11	講義内容	カリキュラム評価の視点からみた福祉職場におけるキャリアパスの分析		
	該当する到達目標	予習	カリキュラム評価の方法について調べる。	1時間
	3	復習	キャリアパスの分析方法について理解を深める。	1時間
12	講義内容	カリキュラムマネジメントの視点を導入した福祉職場におけるキャリアパスの活用(事例検討)		
	該当する到達目標	予習	カリキュラムマネジメントの定義について調べる。	1時間
	3	復習	キャリアパスの活用事例について理解を深める。	1時間
13	講義内容	カリキュラムマネジメントの視点に基づく福祉職場におけるキャリアパスの評価(事例検討)		
	該当する到達目標	予習	キャリアパスの評価方法について調べる。	1時間
	3	復習	キャリアパスの評価に関する事例について理解を深める。	1時間
14	講義内容	福祉の職場研修におけるカリキュラムマネジメントの可能性		
	該当する到達目標	予習	福祉の職場研修の課題を整理する。	1時間
	2,3	復習	福祉人材育成へのカリキュラムマネジメント導入の効果について理解を深める。	1時間
15	講義内容	総合討論、研究成果の発表		
	該当する到達目標	予習	今までの研究内容を整理し、研究成果としてまとめる。	1時間
	2,3	復習	指摘された事項に関して理解を深める。	1時間
備考	<p>オフィスアワー: 火曜日 3 時限と水曜日 2 時限</p> <p>研究室: 1 号館 3 階 309(メールアドレスは授業時にアナウンス)</p> <p>配布した資料を基に、復習と自主的な発展的学習を行うこと。</p> <p>予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究成果の発表準備で適宜補完すること。</p>			

科目名	刑事司法精神保健ソーシャルワーク特論		
英文名	Forensic mental health social work		
担当教員	池田 朋広		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 精神鑑定や医療観察法制度、精神保健福祉法における措置入院制度など、精神科医療では、矯正・刑事司法との近接領域を扱うことがある。精神保健福祉に携わる専門家は、刑事司法による強制力をどのように理解し、保健・福祉の専門家として、どのような立場で、人権を尊重した関わりを行なっていけばよいのだろうか？</p> <p>この講義では、刑事司法制度と精神保健福祉制度が交わっている領域について理解しやすいように整理をしていく。また、精神保健福祉制度と刑事司法制度との狭間を見据えて、これに関わる保健・福祉の専門家がどのような視点で、支援を行なえば良いのかについて考えを深めたい。</p> <p>② 研究テーマを遂行し成果につなげるために必要な研究や実践例をとりあげ、指導教員ならびに他の受講生と質疑応答・議論をする。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 刑事司法精神医療の対象となる制度を理解できる</li> <li>2. 我が国の刑事司法精神医学の歴史について理解できる</li> <li>3. 刑事司法精神科医療領域をめぐる社会福祉の現状や今後の展望を考察できる</li> <li>4. 刑事司法・精神科医療・コミュニティ福祉など現場での実態や課題を考察できる</li> <li>5. ソーシャルワーカーとして具体的支援策を立てることが出来る</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
		精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連			
評価方法	「講義への出席 3分の2以上」を評価の条件とし、授業への参加態度 20%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 50%、レポート(3回程度)30%を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題を告知し、提出されたレポートの内容について教員の意見をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める		
1	講義内容	刑事司法精神保健福祉が扱う領域	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
2	講義内容	我が国における司法精神医学とその周辺領域の歴史	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	刑事司法精神保健における海外の動向	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
4	講義内容	刑事司法精神保健領域における精神疾患① パラノイア・人格障害	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間

保健福祉学専攻

5	講義内容	刑事司法精神保健領域における精神疾患②依存症(薬物・窃盗・性)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
6	講義内容	医療観察法① 制度の概要・介入技法・支援技法		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	医療観察法② 精神保健参与員・社会復帰調整官に求められるもの		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	精神科医療施設内の司法対応(措置入院制度)		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	更生保護制度における精神保健福祉		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	刑務所内の精神医療 / 刑務所出所時のソーシャルワーク		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,3,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	社会福祉士 / 精神保健福祉士による刑事司法ソーシャルワーク		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,3,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	違法薬物使用障害者へのソーシャルワーク		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,3,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	総合討論①		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	総合討論②		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	3,4,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2時間
	3,4,5	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2時間
備考	予習・復習については、試験前後の学習で補完すること。自ら、疑問や課題となるテーマを毎回持参すること。研究遂行において、学んだことを実践し、それを振り返り、フィードバックすること。 オフィスアワー:前後期ともに、火曜 4, 5 限とする。			

保健福祉学専攻

科目名	貧困問題特論		
英文名	Poverty issue		
担当教員	石坂 公俊		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 現代社会および社会福祉領域を理解するうえで、貧困問題及び公的扶助からのアプローチは有効性の高い研究視座のひとつである。本講義では、貧困・生活困窮領域における分化した対象の中から、子どもの貧困、ひとり親世帯、高齢者の貧困、ホームレス問題などの探索的な理解を通して、貧困問題及び公的扶助への考察を深めることを目標とする。</p> <p>② 受講生の研究テーマに基づく、対話的討議が中心となる。</p>		
到達目標	<p>1. 貧困問題及び公的扶助の歴史的展開を理解できる。</p> <p>2. 社会福祉領域における貧困問題及び公的扶助からのアプローチの有効性を認識できる。</p> <p>3. 貧困状態にある人々の営為や考えを洞察できる。</p> <p>4. 研究テーマに対して、貧困問題及び公的扶助の視座を援用できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<p>①            ③   ④   ⑤            ⑧            ⑩            ⑫            ⑬   ⑮   ⑯   ⑰   ⑱   ⑲   ⑳</p>		
評価方法	議論を中心とするため、発言内容(60%)と最終レポート(40%)で評価を行う。		
課題に対する フィードバック	<p>レポートは事前に課題内容、出題意図を提示する。</p> <p>提出されたレポートは、解説などを加え、講義時にフィードバックする。</p>		
使用教材	<p>講義に使用する資料などを配付する。</p> <p>参考文献等は、適宜提示する。</p>		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標 1,2,3,4	予習	講義目標、到達目標などを確認する。 1時間
		復習	講義目標、到達目標、評価方法などを理解する。 1時間
2	講義内容	貧困・生活困窮者(対策)をめぐる動向	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
3	講義内容	日本の貧困問題(戦前・戦後)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
4	講義内容	子どもの貧困①(実態)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
5	講義内容	子どもの貧困②(ひとり親世帯)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
6	講義内容	子どもの貧困③(課題と対策)	
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。 1時間

保健福祉学専攻

	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
7	講義内容	高齢者の貧困①(実態)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
8	講義内容	高齢者の貧困②(課題と対策)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
9	講義内容	ホームレス問題①(実態)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
10	講義内容	ホームレス問題②(課題と対策)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
11	講義内容	女性の貧困①(実態)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
12	講義内容	女性の貧困②(課題と対策)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
13	講義内容	若者の貧困		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
14	講義内容	公的扶助制度まとめ		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1時間
15	講義内容	全体まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を整理し, 成果としてレポートにまとめる。	1時間
	1,2,3,4	復習	議論した内容を整理し, 研究テーマに援用する。	1時間
備考	履修者の研究テーマに即して, 講義内容を組み替えることがある。 予習・復習時間は, 最終レポート作成に関わる自己学習で補完すること。 オフィスアワー: 月曜2限(前後期とも) メールアドレス: kimi#takasaki-u.ac.jp (#→@)			

保健福祉学専攻

科目名	健康運動科学特論			
英文名	Health and Exercise Sciences			
担当教員	山西 加織			
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 心身の健やかな発達や健康の維持・増進には、適度な運動や身体活動が必要である。本講義では、様々なライフステージにおける健康の獲得・維持・増進に関する疫学研究や運動介入研究などの最新知見および研究方法を学び、運動実践による健康づくりの専門知識を習得することを目指す。</p> <p>② 各テーマに関する文献についてディスカッションや考察を行う。</p>			
到達目標	<p>1. 各ライフステージにおける健康課題とその背景を説明できる。</p> <p>2. 各ライフステージにおける運動習慣や身体活動の実態を説明できる。</p> <p>3. 各ライフステージにおける運動実践効果とそれらを測る調査方法を理解できる。</p> <p>4. 健康の獲得・維持・増進に関する最新知見を習得できる。</p>			
学位授与方針との 対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。		
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。		
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。		
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">3</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span>			
評価方法	講義に関する予習・復習の有無と理解度 50%、授業への参加態度 20%、発言やディスカッションの内容 30%を総合的に評価する。			
課題に対する フィードバック	レポート課題については、事前に内容を告知し、記載方法や出題意図をフィードバックする。			
使用教材	講義に使用する資料は適宜配布する。また、参考資料、文献等は適宜提示する。			
1	講義内容	オリエンテーション		
	該当する到達目標	予習	講義目標や到達目標等の講義内容を確認する。	0.5時間
	1	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
2	講義内容	幼少期の健康と運動		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
3	講義内容	思春期の健康と運動		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
4	講義内容	青年期の健康と運動		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
5	講義内容	妊娠期の健康と運動		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
6	講義内容	育児期の健康と運動		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間

保健福祉学専攻

7	講義内容	壮年期の健康と運動		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
8	講義内容	老年期の健康と運動		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	1,2,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
9	講義内容	運動介入による体力・運動能力の向上		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
10	講義内容	運動介入による生活習慣病の予防・改善		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
11	講義内容	運動介入による女性の月経前症候群・更年期症状・不定愁訴の予防・改善		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
12	講義内容	運動介入によるメンタルヘルスの維持・増進と心理的効果		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
13	講義内容	運動介入によるフレイルの予防・改善		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
14	講義内容	総合討論①		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
15	講義内容	総合討論②		
	該当する到達目標	予習	指定された文献や資料を読む。	1時間
	2,3,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を調べる。	1時間
備考	<p>予習・復習時間は、各自、適宜補完すること。                      オフィスアワー: 月曜 5 時限、火曜 3 時限                      メールアドレス: yamanishi@takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

保健福祉学専攻

科目名	社会福祉発達史特論		
英文名	Social Welfare Development History		
担当教員	石坂 公俊		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 現代社会および社会福祉領域を理解するうえで、歴史的アプローチは有効性の高い研究方法論のひとつである。本講義では、社会福祉領域を対象に、分化した福祉の歴史研究方法の中から、事業史、福祉史、政策史などの先行研究を通して、社会福祉の歴史的理解を深めるとともに歴史研究の方法について理解することを目標とする。</p> <p>② 受講生の研究テーマに基づく、対話的討議が中心となる。</p>		
到達目標	<p>1. 社会福祉の歴史的展開の概要を史資料の読解を通して理解できる。</p> <p>2. 社会福祉領域における歴史的研究方法の有効性を認識できる。</p> <p>3. 研究テーマに対して、歴史的研究の方法論を援用できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。	
		保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	<p>①                      ③   ④   ⑤                      ⑧                      ⑩                      ⑫                      ⑯</p>		
評価方法	議論を中心とするため、発言内容(60%)と最終レポート(40%)で評価を行う。		
課題に対する フィードバック	<p>レポートは事前に課題内容、出題意図を提示する。</p> <p>提出されたレポートは、解説などを加え、講義時にフィードバックする。</p>		
使用教材	<p>講義に使用する資料などを配付する。</p> <p>参考文献等は、適宜提示する。</p>		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	講義目標、到達目標などを確認する。 1時間
		復習	講義目標、到達目標、評価方法などを理解する。 1時間
2	講義内容	社会事業史の研究①(明治期)	
	該当する到達目標 1,2	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
3	講義内容	社会事業史の研究②(大正期)	
	該当する到達目標 1,2	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
4	講義内容	社会福祉史の研究①(昭和初期, 戦前)	
	該当する到達目標 1,2	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
5	講義内容	社会福祉史の研究②(戦後)	
	該当する到達目標 1,2	予習	テーマに関する先行研究文献を検討する。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間
6	講義内容	社会福祉政策史の研究①(戦前)	
	該当する到達目標 1,2	予習	事前に提示した参考文献、資料を読み込む。 1時間
		復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。 1時間

保健福祉学専攻

7	講義内容	社会福祉政策史の研究②(戦後)		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
8	講義内容	ニーズ論に関する歴史的展開		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
9	講義内容	援助論・援助関係論に関する歴史的研究		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
10	講義内容	社会福祉の思想史		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
11	講義内容	宗教と福祉史		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
12	講義内容	社会福祉施設史		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
13	講義内容	社会福祉実践史		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
14	講義内容	社会福祉の地域史		
	該当する到達目標	予習	事前に提示した参考文献, 資料を読み込む。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報及び知識を整理する。	1 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を整理し, 成果としてレポートにまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	議論した内容を整理し, 研究テーマに援用する。	1 時間
備考	履修者の研究テーマに即して講義内容を組み替えることがある。 予習・復習時間は, 最終レポート作成に関わる自己学習で補完すること。 オフィスアワー: 月曜 2 限(前後期とも) メールアドレス: kimi#takasaki-u.ac.jp (#→@)			

保健福祉学専攻

科目名	高齢者権利擁護特論		
英文名	Advocate for the rights of the elderly		
担当教員	原田 欣宏		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 超高齢社会に突入した現在において権利擁護を具体的に実現するための政策とシステムが重要であり、成年後見制度利用促進法の制定、意思決定支援、在宅サービスでの虐待防止への対応義務化などの取り組みが進められている。本講義では高齢者の権利擁護実践が科学的根拠に基づく支援とともに法制度と社会システムを結び付けられることを目標とする。</p> <p>② 資料、教科書、視覚教材を用いながら講義とレポート発表、グループワークを行い、権利擁護に関する社会全体で抱える課題とともに、それぞれの研究課題に関連した事項も整理する。</p>		
到達目標	<p>5. 高齢者権利擁護の今日的課題について理解することができる。</p> <p>6. 高齢者権利擁護システムの構築における課題について理解することができる。</p> <p>7. 高齢者福祉の現場において活用できるシステムの構築方法について理解することができる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
	✓	精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
		保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="margin-left: 200px; color: magenta; font-weight: bold;">⑩</span> <span style="margin-left: 200px; color: blue; font-weight: bold;">⑯</span> </p>		
評価方法	講義への出席 3分の2 以上の場合に評価対象となり、講義に関する予習・復習の有無ならびに理解度 70%、授業への参加態度 10%、ディスカッションの内容 20%、等を総合して判断する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	講義に使用する資料は適宜配布する。また、参考資料、文献等は、講義内容に基づき提示する。		
1	講義内容	高齢者における権利擁護の課題	
	該当する到達目標 1,2	予習	高齢者分野の権利擁護にかかわる問題を調べる 1時間
		復習	問題の範囲と現在の課題について整理する 2時間
2	講義内容	成年後見制度①対応の範囲	
	該当する到達目標 1,2	予習	老人福祉法、介護保険法、高齢者虐待防止法との関係について調べる 1時間
		復習	行政における対応のながれとソーシャルワーカーの対応を整理する 2時間
3	講義内容	成年後見制度②利用促進法のねらい	
	該当する到達目標 1,2	予習	民法および成年後見制度利用促進法の厚労省資料を確認する 1時間
		復習	これまで利用が進まなかった原因と今後の対策を整理する 2時間
4	講義内容	成年後見制度③法人後見	
	該当する到達目標 1,2	予習	社協や専門職団体以外が実施する法人後見の課題について調べる 1時間
		復習	親族後見と専門職後見の効果と課題を整理する 2時間
5	講義内容	意思決定支援①システムの構築	
	該当する到達目標 1,2	予習	厚労省資料「意思決定支援に係る各種ガイドラインの比較について」を確認する 1時間
		復習	後見人等に期待される実戦での役割を整理する 2時間
6	講義内容	意思決定支援②法的課題	

保健福祉学専攻

	該当する到達目標	予習	医療・ケアの決定プロセスを具体的に想定して課題を考える	1 時間
	1,2	復習	意思決定支援を実践するときの注意点と課題を整理する	2 時間
7	講義内容	意思決定支援③人材確保と教育、啓発		
	該当する到達目標	予習	関係者の理解を深めるための注意点を考える	1 時間
	2,3	復習	高齢者福祉施設および事業所での教育啓発の要点を整理する	2 時間
8	講義内容	意思決定支援④日常生活における支援		
	該当する到達目標	予習	意思決定支援と代行決定の留意点を確認する	1 時間
	2,3	復習	必要な体制整備の方法を整理する	2 時間
9	講義内容	高齢者虐待①防止法に基づく対応実践と課題		
	該当する到達目標	予習	通報受理から終結までの流れを確認する	1 時間
	2,3	復習	地域包括支援センターの対応範囲と限界を整理する	2 時間
10	講義内容	高齢者虐待②予防		
	該当する到達目標	予習	在宅サービスにおける虐待予防の方法を確認する	1 時間
	2,3	復習	予防の実施を公表する方法を整理する	2 時間
11	講義内容	医療行為への支援①健康管理の支援		
	該当する到達目標	予習	日常生活での健康管理を支援する方法を確認する	1 時間
	2,3	復習	ケアマネジメントの範囲で実施する支援を整理する	2 時間
12	講義内容	医療行為への支援②緊急時の支援		
	該当する到達目標	予習	緊急時支援のマニュアルを確認する	1 時間
	2,3	復習	対外的に適切な支援の在り方を整理する	2 時間
13	講義内容	社会福祉における紛争解決①ADR、運営適正化委員会の役割		
	該当する到達目標	予習	ADR、運営適正化委員会の対応手順について確認する	1 時間
	2,3	復習	裁判によらない紛争解決の方法を整理する	2 時間
14	講義内容	社会福祉における紛争解決②行政機関		
	該当する到達目標	予習	苦情解決の手順と役割について確認する	1 時間
	2,3	復習	サービス供給の信頼性維持の役割を整理する	2 時間
15	講義内容	総合討論		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を整理し、自らの研究テーマに即したレポートをまとめる。	1 時間
	1,2,3	復習	議論した内容を整理し、自らの研究テーマに援用する。	2 時間
備考	<p>オフィスアワー：金曜 5 限(前後期とも)</p> <p>メールアドレス：harada#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p> <p>履修者の研究テーマに即して、講義内容を組み替えることがある。</p> <p>予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p>			

保健福祉学専攻

科目名	保健福祉学特別研究		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Health and Welfare Sciences		
担当教員	指導教員		
時期・単位	保健福祉学専攻博士前期課程 1・2年 通年 必修 8単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 保健福祉学に関する修士論文完成に向けて、問題意識の抽出と研究テーマの設定、研究デザインの吟味と計画の作成、研究の実施遂行、データ解析と考察、学会発表、論文執筆、すべての過程において、指導教員による適切な助言・指導を通じて、大学院生が主体的に研究を完遂し、論文を完成することを目標とする。</p> <p>② 学生と相談のうえで、各指導教員が個別に実施方法を計画遂行する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関連研究をレビューできる</li> <li>2. 研究デザインを吟味できる</li> <li>3. 研究者としての倫理や基本的姿勢を獲得できる</li> <li>4. 研究を実施し、結果を分析できる</li> <li>5. 修士論文を完成する</li> </ol>		
学位授与方針との 対応		保健福祉学の基礎理論および保健福祉政策に関する該博な知識を身につけている。	
		精神保健、高齢者福祉等の保健福祉における諸問題に関する専門的知識を身につけている。	
		対人援助技術を修得し、それを活用して保健福祉的援助を実践する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉における未解決の課題に関する研究を行い、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	保健福祉分野の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	1	10	16
評価方法	修士論文完成度 50%、論文作成過程における研究態度(客観性、熱意、誠実さなど) 10%、審査の過程評価(発表会での講演・質疑) 20%、倫理感 20%、などを総合的に評価する。		
課題に対する フィードバック	課題の意図や目的、学会発表での質疑応答、査読結果への返答を通じて、フィードバックを行う。		
使用教材	各指導教員より別途指示する。		
講義内容	修士論文の作成		
	予習	論文提出のフォーマットを準備する	適宜
	復習	これまで学んだことを振り返る	適宜
備考	他の院生や研究科内の教員、学内外の専門家との議論や交流を通じて、研究者としての基本を身につける。オフィスアワー含めて、指導教官とのアポイントにより、直接的な指導助言が随時行われる。		

食品栄養学専攻

科目名	<b>食品栄養学特論</b>		
英文名	Advanced Food and Nutrition Science		
担当教員	下川 哲昭、岡村 信一、田中 進、木村 典代、村松 芳多子、綾部 園子、竹内 真理、應本 真、 <b>未定1、未定2</b>		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 必修 4単位		
実施概要	① 食品栄養学全般の広い視野にわたり学識を深め、各分野の専門知識や新たな問題点を学習する。 ② 授業はオムニバス形式で行う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養教育学研究の性質や発展に対する理解を深める。(木村)</li> <li>2. 健康維持における栄養素の役割と代謝の概要を栄養生化学的に理解する。(田中)</li> <li>3. 食品学研究の多様性に対する理解を深める。(應本)</li> <li>4. 調理科学研究に対する理解を深める。(綾部)</li> <li>5. 食物栄養と実生活との関係について理解を深める。(岡村)</li> <li>6. 食品中の栄養素の生理機能について欠乏や過剰による障害を含めて理解する。(下川)</li> <li>7. 食品安全学特論の食べ物の安全と安心に対する理解を深める。(村松)</li> <li>8. 疾病と栄養、食事との関係について理解を深める。(竹内)</li> <li>9. 疫学研究の意義と可能性について理解を深める。<b>(未定)</b></li> <li>10. 健康増進、疾病予防・改善に寄与する栄養科学研究への理解を深める。<b>(未定)</b></li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<b>2 3 4</b>		
評価方法	課題 20%、平常点(授業参加度・貢献度)80%で評価する。		
課題に対するフィードバック	ディスカッション時のコメントおよび課題提出物に対するコメントを通じてフィードバックを行う。		
使用教材	担当教員から別途指示する。		
1	講義内容	栄養教育学研究の可能性	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1.5 時間
1		復習	関連分野の文献をまとめる 1.5 時間
	講義内容	栄養教育学研究のデータの表し方と見方	
2	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1.5 時間
	1	復習	関連分野の文献をまとめる 1.5 時間
3	講義内容	栄養教育学の最新の研究紹介	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1.5 時間
1		復習	関連分野の文献をまとめる 1.5 時間
	講義内容	栄養素の代謝の概要	
4	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる 1.5 時間
	2	復習	レポートを作成する 1.5 時間
5	講義内容	栄養素の代謝における酵素の役割	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	レポートを作成する	1.5 時間
6	講義内容	酵素欠損と代謝異常の概要		
	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでもくる	1.5 時間
	2	復習	レポートを作成する	1.5 時間
7	講義内容	食品学研究(概論)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでもくる	1.5 時間
	3	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
8	講義内容	食品学研究(食品機能分野)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでもくる	1.5 時間
	3	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
9	講義内容	食品学研究(食品分析学分野)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでもくる	1.5 時間
	3	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
10	講義内容	調理科学研究の分野		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでもくる	1.5 時間
	4	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
11	講義内容	調理科学研究の研究手法		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでもくる	1.5 時間
	4	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
12	講義内容	調理科学研究のデータの表し方と見方		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでもくる	1.5 時間
	4	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
13	講義内容	主な栄養素の生理機能		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を検索し読んでもくる	1.5 時間
	5	復習	関連分野の文献を体系的にまとめる	1.5 時間
14	講義内容	栄養素の欠乏と過剰における生理機能の破綻		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を検索し読んでもくる	1.5 時間
	5	復習	関連分野の文献を体系的にまとめる	1.5 時間
15	講義内容	胎児期の脳内環境における栄養素の生理機能		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を検索し読んでもくる	1.5 時間
	5	復習	関連分野の文献を体系的にまとめる	1.5 時間
16	講義内容	成長期の食習慣の改善効果と根拠		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読み、分からない文章・言葉を調べる	1.5 時間
	6	復習	関連分野の文献を読み、まとめる	1.5 時間
17	講義内容	成人期の疾病予防にかかわる栄養改善効果と根拠		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読み、分からない文章・言葉を調べる	1.5 時間
	6	復習	関連分野の文献を読み、まとめる	1.5 時間
18	講義内容	高齢者を対象とした栄養療法の効果と根拠		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読み、分からない文章・言葉を調べる	1.5 時間
	6	復習	関連分野の文献を読み、まとめる	1.5 時間
19	講義内容	日本食品標準成分表 2020 年度(八訂)(水道水中の無機質)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1.5 時間

食品栄養学専攻

	7	復習	関連資料と講読文献の要約	1.5 時間
20	講義内容	食べ物の選択(最近の話題:食品添加物と科学的根拠)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1.5 時間
	7	復習	関連資料と講読文献の要約	1.5 時間
21	講義内容	食べ物表示(最近の話題:食品表示法と機能性表示食品)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1.5 時間
	7	復習	関連資料と講読文献の要約	1.5 時間
22	講義内容	傷病者を対象とした栄養食事療法の効果と根拠		
	該当する到達目標	予習	関連資料、文献の講読	1.5 時間
	8	復習	与えられた課題の考察	1.5 時間
23	講義内容	臨床栄養学の研究紹介(国内)		
	該当する到達目標	予習	関連資料、文献の講読	1.5 時間
	8	復習	関連資料、文献をまとめる	1.5 時間
24	講義内容	臨床栄養学の研究紹介(国外)		
	該当する到達目標	予習	関連資料、文献の講読	1.5 時間
	8	復習	関連資料、文献をまとめる	1.5 時間
25	講義内容	疫学研究入門		
	該当する到達目標	予習	関連した専門用語の意味を理解しておくこと	1.5 時間
	9	復習	講義で解説した内容を整理する	1.5 時間
26	講義内容	食と健康、疾病に関する疫学研究の紹介(国外)		
	該当する到達目標	予習	代表的な国外の疫学研究について調べる	1.5 時間
	9	復習	講義で解説した内容を整理する	1.5 時間
27	講義内容	食と健康、疾病に関する疫学研究の紹介(国内)		
	該当する到達目標	予習	代表的な国内の疫学研究について調べる	1.5 時間
	9	復習	講義で解説した内容を整理する	1.5 時間
28	講義内容	食物アレルギー		
		予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間
	10	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
29	講義内容	栄養と学業成績		
		予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間
	10	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
30	講義内容	カカオフラボノールの機能性		
		予習	関連分野の文献を読んでくる	1.5 時間
	10	復習	関連分野の文献をまとめる	1.5 時間
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関連文献や資料を読み、要点をまとめ、専門用語や不明な用語については調べて知識を深める。</li> <li>・ オフィスアワー:初回授業時に、各教員のオフィスアワーを知らせる。なお、事前に連絡があれば随時対応可。</li> <li>・ 教員への連絡方法:初回授業時に提示する。</li> </ul>			

食品栄養学専攻

科目名	<b>食品学特論</b>			
英文名	Advanced Food Chemistry			
担当教員	應本 真			
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 食品には三つの機能(栄養機能、嗜好機能、生体調節機能)がある。本講義では、特に、食品の嗜好性や機能性について科学的な視点から学習し、食品が有する嗜好機能や生体調節機能についての理解を深めることを目標とする。</p> <p>② 本講義では、毎回各テーマについて、討論と考察を行う。</p>			
到達目標	<p>1. 食品の嗜好性と機能性について、説明することができる。</p> <p>2. 食品成分を対象とした研究について、討議することができる。</p>			
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。		
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。		
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDGsとの 関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: yellow; font-weight: bold;">2</span> <span style="color: green; font-weight: bold;">3</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span> <span style="margin-left: 200px; color: orange; font-weight: bold;">9</span> </p>			
評価方法	授業中の質疑応答 60%、レポート 40%			
課題に対する フィードバック	レポートについては、提出後、その内容のディスカッションを行う。			
使用教材	特に指定はしないが、学術雑誌の論文を参考にすることがある。講義に使用する資料は適宜配布する。			
1	講義内容	ガイダンス、本特論の進め方、到達目標、評価方法の確認		
	該当する到達目標	予習	無し	0時間
	1,2	復習	無し	0時間
2	講義内容	感覚について(概論)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
3	講義内容	食品の嗜好機能(色素成分)1		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
4	講義内容	食品の嗜好機能(色素成分)2		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
5	講義内容	食品の嗜好機能(呈味成分)1		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
6	講義内容	食品の嗜好機能(呈味成分)2		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
7	講義内容	食品の嗜好機能(におい成分)1		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間

食品栄養学専攻

8	講義内容	食品の嗜好機能(におい成分)2		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
9	講義内容	中間まとめ		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
10	講義内容	食品の生体調節機能 1		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
11	講義内容	食品の生体調節機能 2		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
12	講義内容	食品の生体調節機能 3		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
13	講義内容	食品の生体調節機能 4		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
14	講義内容	食品の生体調節機能 5		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる	0時間
		復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
備考	予習・復習の時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。 オフィスアワー:随時 研究室:1号館4階402 メールアドレス:oumoto#takasaki-u.ac.jp(#→@)			

食品栄養学専攻

科目名	応用食品学特論		
英文名	Applied food science		
担当教員	熊倉 慧		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 食品の機能性を有機化学、生化学、分子生物学的な視点から学習し、食品加工等により生じる機能性を理解することを目標とする。 ② 授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。授業中に予習内容に関する確認・質問をする。		
到達目標	1. 天然物から加工により生じる機能性成分について説明できる。 2. 食品における成分分析の手法とその意義について説明できる。 3. 論文を読み、その内容について科学的な視点から考察することができる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	2 3 12 15		
評価方法	講義は対話形式や資料を利用した解説形式が中心となる。よって講義内でのディスカッション、発表、コメントを重視する(評価の70%)。学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を十分に理解しているかを重視する)による評価30%。		
課題に対する フィードバック	講義中の対話におけるコメントを通して、フィードバックを行う。 レポートに関しては、その内容のディスカッションを行う。		
使用教材	必要に応じて講義資料を配布する。		
1	講義内容	ガイダンス(概要、本特論の進め方、到達目標、評価方法等の確認)	
	該当する到達目標	予習	配布資料をよく読む。 0.5時間
	1	復習	配布された資料を復習し、講義内容についてまとめる。 1時間
2	講義内容	天然物から加工により生じる食品の機能性成分	
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。 2時間
	1	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間
3	講義内容	天然物から加工により生じる食品の機能性成分の分析方法	
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。 2時間
	1,2	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間
4	講義内容	加工による機能性成分生成の方法	
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。 2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間
5	講義内容	in vitro 試験における食品の機能性評価1(抗酸化作用)	
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。 2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間
6	講義内容	in vitro 試験における食品の機能性評価2(抗高血圧作用)	
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。 2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。 1時間
7	講義内容	疾患モデル動物を用いた食品の機能性評価1(動物を用いた実験方法)	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
8	講義内容	疾患モデル動物を用いた食品の機能性評価2(関与成分の同定)		
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
9	講義内容	食品におけるプロテオーム解析1(食品からの成分の抽出)		
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
10	講義内容	食品におけるプロテオーム解析2(二次元電気泳動とLC-MS/MS分析)		
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
11	講義内容	食品におけるプロテオーム解析3(データベースを用いた解析)		
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
12	講義内容	食品におけるメタボローム解析1(食品からの成分の抽出)		
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
13	講義内容	食品におけるメタボローム解析2(抽出成分の分析方法)		
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
14	講義内容	食品におけるメタボローム解析3(多変量解析)		
	該当する到達目標	予習	配布文献をよく読む。	2時間
	1,2,3	復習	与えられた課題について考察し、講義内容を要約する。	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を振り返る。	2時間
	1,2	復習	与えられた課題について考察する。	2時間
備考	オフィスアワー:木曜日2限 研究室:10号館306研究室 メール「 <a href="mailto:kumakura@takasaki-u.ac.jp">kumakura@takasaki-u.ac.jp</a> (#→@)」でアポイントを取れば、その他の時間帯でも受け付ける。			

食品栄養学専攻

科目名	食品安全学特論		
英文名	Advanced Food Safety		
担当教員	村松 芳多子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 食品の安全と安心には、食べ物が安全であることと、食べ物が安心であることの二つの意味がある。テーマは「安全と安心」である。「安全、安心とは何か」を考え、現代社会を生きる自分が人間社会の一員で、自分が何をもって食べ物を安全でかつ安心であるかを自覚することは重要である。人間は自然の一部でもあり、環境と社会を考えることなしに、人類の生存はおぼつかない。</p> <p>② 食に関するビデオ等の教材を使用し、テーマに関する討論と考察を行う。</p>		
到達目標	<p>自分がいかに何も考えず、ただ、食べ物を口にしている(食べている)のかを自覚し、徹底的に食品の安全と安心とは何かを考える。自分における「食品の安全と安心」の意義を見つける</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食の安全とは何かを考えることができる</li> <li>2. 食の安心とは何かを考えることができる</li> <li>3. 毎日の食事は、安全かつ安心か(あなたの考える「食の安全と安心」は何か)について科学的根拠をふまえて答えることができる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
	✓	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連			
評価方法	試験を実施する(100%)、資料や文献等の持ち込みは可能、制限時間内に論文を仕上げる		
課題に対するフィードバック	新聞の食品の安全・安心に関する記事をスクラップする。消費者として、健康食品等の広告より科学的根拠の記載の有無を調査する。食品の安全・安心に関する法規制に対して関心をもつ		
使用教材	必要に応じて配布、および紹介する。食物に関するDVD教材を使用する		
1	講義内容	概要(食品の安全と安心)	
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読 1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約 1時間
2	講義内容	現代社会とその食品の安全・安心、および私たちの食生活	
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読 1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約 1時間
3	講義内容	食品の安全・安心における社会システム	
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読 1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約 1時間
4	講義内容	生産者(生産・製造・加工・流通・販売)と消費者	
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読 1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約 1時間
5	講義内容	食品保存と食品添加物	
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読 1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約 1時間
6	講義内容	食品汚染と健康被害	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
7	講義内容	食品と微生物制御		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
8	講義内容	微生物と化学物質による食中毒		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
9	講義内容	健康食品の安全性(食品と医薬品の違い)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
10	講義内容	食品の安全と安心を考える1(環境と理論)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
11	講義内容	食品の安全と安心を考える2(近代科学と現代科学)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
12	講義内容	食品の安全と安心を考える3(科学と技術)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
13	講義内容	食品の安全と安心を考える4(どう生きるか、どう考えるか1)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
14	講義内容	食品の安全と安心を考える5(どう生きるか、どう考えるか2)		
	該当する到達目標	予習	関連資料・文献の講読	1時間
	1,2,3	復習	関連資料・講読文献の要約	1時間
15	講義内容	まとめ(討論・考察)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1時間
	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1時間
備考	<p>授業の進め方:講義中に予習・復習課題について発表を求められることがある</p> <p>◎ 状況によりオンラインになった場合は別途メール等で連絡する</p> <p>新聞の食品の安全・安心に関する記事を収集する。消費者として、健康食品等の広告より科学的根拠の記載の有無を調査し、食品の安全・安心に関する法規制に対して関心をもつ</p> <p>※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと</p> <p>オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5時限)</p> <p>研究室:1号館4階404</p> <p>教員への連絡方法は授業内で指示する</p>			

食品栄養学専攻

科目名	調理機能学特論		
英文名	Advanced Course on Functional Cookery Science		
担当教員	綾部 園子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 調理学を基礎として、各種調理操作に伴って生ずる食品の呈味成分・機能性成分・物性・組織の変化を理解するとともに、食べ物に対する人間の受容性とかかわりについて、身体的・心理的側面から考察する。講義、実験、討議の一連の過程において、研究者として必要な総合的な知識・態度を修得する。</p> <p>② 授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。</p>		
到達目標	<p>1. 各種調理操作に伴って生ずる食品の呈味成分・機能性成分・物性・組織の変化を説明できる。</p> <p>2. 食べ物に対する人間の受容性とかかわりについて、身体的・心理的側面から説明できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。	
		栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	③		⑫
評価方法	テーマごとに討論 50%、レポート 50%		
課題に対するフィードバック	レポートはルーブリックを用いて評価し、コメントをつけて返却する		
使用教材	特に指定はしないが、参考書を何冊か紹介する。 資料は適宜配布する。		
1	講義内容	イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する 1時間
	1,2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する 1時間
2	講義内容	味覚の受容機構と閾値 講義	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む 1時間
	2	復習	味覚の受容機構と閾値について理解する 1時間
3	講義内容	味覚の受容機構と閾値 実験	
	該当する到達目標	予習	実験方法を確認しておく 1時間
	2	復習	実験後はデータを整理しておくこと 1時間
4	講義内容	味覚の受容機構と閾値 データ解析・討論	
	該当する到達目標	予習	実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する 1時間
	2	復習	討論内容を反映して、レポートを作成する 2時間
5	講義内容	ポリフェノール類やビタミン類などの抗酸化成分の調理による変化 講義	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む 1時間
	1	復習	抗酸化成分の調理による変化について理解する 1時間
6	講義内容	ポリフェノール類やビタミン類などの抗酸化成分の調理による変化 実験	
	該当する到達目標	予習	実験方法を確認しておく 1時間
	1	復習	実験後はデータを整理しておくこと 1時間
7	講義内容	ポリフェノール類やビタミン類などの抗酸化成分の調理による変化 データ解析・討論	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する。	1 時間
	1	復習	討論内容を反映して、レポートを作成する。	2 時間
8	講義内容	ゲル状食品の物性 講義		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	1	復習	ゲル状食品の物性について理解する	1 時間
9	講義内容	ゲル状食品の物性 実験		
	該当する到達目標	予習	実験方法を確認しておく	1 時間
	1	復習	実験後はデータを整理しておくこと。	1 時間
10	講義内容	ゲル状食品の物性 データ解析・討論		
	該当する到達目標	予習	実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する。	1 時間
	1	復習	討論内容を反映し、レポートを作成する。	2 時間
11	講義内容	咀嚼・嚥下機能と食品物性 講義		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索して、内容を理解しておく	1 時間
	1,2	復習	咀嚼・嚥下機能と食品物性について理解する	1 時間
12	講義内容	サイコロロジー 講義		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	1,2	復習	サイコロロジーについて理解する	1 時間
13	講義内容	サイコロロジー 実験		
	該当する到達目標	予習	実験方法を確認しておく	1 時間
	1,2	復習	実験後はデータを整理しておくこと	1 時間
14	講義内容	サイコロロジー データ解析・討論		
	該当する到達目標	予習	実験に関連した文献を検索し、実験結果と比較する	1 時間
	1,2	復習	討論内容を反映し、レポートを作成する	2 時間
15	講義内容	プレゼンテーション、まとめ		
	該当する到達目標	予習	調理機能に関するプレゼンテーションを用意する	2 時間
	1,2	復習	プレゼンテーションを修正し完成する	2 時間
備考	<p>記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、レポート作成等の学習で補完すること。                      オフィスアワー: 授業日の 3~5 時限、質問はメールでも受け付ける。                      研究室: 1 号館 4 階 406                      メールアドレス: s-ayabe@takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	栄養学特論		
英文名	Advanced Nutrition		
担当教員	永井 俊匡		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 摂食行動に関与する味覚は、栄養学における重要な一分野である。この科目では、味覚受容のしくみと最新の研究の展開を理解する。研究史の流れに沿った授業の中で、研究者として必要な論理的思考も修得する。</p> <p>② 授業では、事前に配布したプリントについて説明し、その中で質疑応答を繰り返して、取り扱うテーマへの理解と論理性を高めてゆく。</p>		
到達目標	<p>1. 味覚受容のしくみを通じて、細胞内・細胞間シグナル伝達について、説明できる。</p> <p>2. 英語の論文を読み、その内容について討議できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<p style="text-align: center;"> <span style="background-color: yellow; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="background-color: green; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-left: 10px;">3</span> <span style="background-color: red; border-radius: 50%; padding: 2px 5px; margin-left: 10px;">4</span> </p>		
評価方法	授業中の質疑応答 60%、レポート 40%		
課題に対するフィードバック	レポートについては、提出後、その内容のディスカッションを行う。		
使用教材	講義資料を、前の週に配布する。		
1	講義内容	分子生物学的な研究の基礎	
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく 1時間
1		復習	与えた課題について考察する 0.5時間
	講義内容	味覚受容機構の概論	
2	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく 1時間
	1	復習	与えた課題について考察する 0.5時間
3	講義内容	味覚受容体発見の歴史	
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく 1時間
1		復習	与えた課題について考察する 0.5時間
	講義内容	甘味受容体	
4	該当する到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく 2時間
	1,2	復習	与えた課題について考察する 0.5時間
5	講義内容	うま味受容体	
	該当する到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく 2時間
1,2		復習	与えた課題について考察する 0.5時間
	講義内容	苦味受容体	
6	該当する到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく 2時間
	1,2	復習	与えた課題について考察する 0.5時間
7	講義内容	酸味受容体	
	該当する到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく 2時間

食品栄養学専攻

	1,2	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
8	講義内容	塩味受容体		
	該当する到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2 時間
	1,2	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
9	講義内容	脊椎動物の味覚受容体		
	該当する到達目標	予習	配布文献の Abstract と Figure を読んでおく	2 時間
	1,2	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
10	講義内容	細胞内シグナル伝達		
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間
	1	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
11	講義内容	遺伝子の個人差と味覚受容の個人差の関係		
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間
	1	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
12	講義内容	味覚の個人差の検出法		
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間
	1	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
13	講義内容	味蕾以外に発現する味覚関連分子		
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間
	1	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
14	講義内容	味覚修飾物質		
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間
	1	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
15	講義内容	まとめ講義		
	該当する到達目標	予習	配布プリントをよく読んでおく	1 時間
	1	復習	与えた課題について考察する	0.5 時間
備考	<p>記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。                      オンライン講義となった場合は、オンデマンドの動画を主とする。詳細は第 1 回の講義日または適宜連絡する。                      オフィスアワー: 木曜 1 限(農学部 4 階・動物生命科学研究室)。                      メールアドレス: tngai#takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	応用栄養学特論		
英文名	Applied Nutrition		
担当教員	未定		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 健康増進、疾病予防に効果的なエネルギー・栄養素の摂取量、組み合わせ、摂取のタイミング、及び栄養状態の評価・判定方法などに関する科学的知見を理解し、科学的根拠に基づいた栄養改善の方法について考察する。</p> <p>② パワーポイントによる研究内容の解説をさく。配布された資料を基に、研究内容に関する自主的な発展的学習を行う。</p>		
到達目標	<p>1. 健康増進、疾病予防に効果的な栄養管理に関する具体的知見について説明できる。</p> <p>2. 科学的根拠に基づき、栄養改善の具体的方法について説明できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">④</span>		
評価方法	授業内での課題の内容等を勘案し、総合的に評価する。		
課題に対する フィードバック	課題の出題意図、評価基準についての講評を行う。		
使用教材	講義に関する教材について、授業の中で紹介を行う。		
1	講義内容	研究論文に関する基礎知識	
	該当する到達目標 1,2	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 2時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
2	講義内容	栄養評価・判定に関する研究 身体計測・生化学的検査	
	該当する到達目標 1,2	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 2時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
3	講義内容	栄養評価・判定に関する研究 食事調査	
	該当する到達目標 1,2	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 2時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
4	講義内容	エネルギー・栄養素の摂取方法に関する研究	
	該当する到達目標 1,2	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 2時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
5	講義内容	たんぱく質に関する研究	
	該当する到達目標 1,2	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 2時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
6	講義内容	脂質に関する研究	
	該当する到達目標 1,2	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 2時間
		復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
7	講義内容	水溶性ビタミンに関する研究	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 2時間

食品栄養学専攻

	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
8	講義内容	脂溶性ビタミンに関する研究		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
9	講義内容	機能性成分に関する研究1(食品成分)		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
10	講義内容	機能性成分に関する研究2(食品成分)		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
11	講義内容	環境・ストレス応答に関する研究		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
12	講義内容	食物アレルギーに関する研究		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
13	講義内容	小児期の栄養に関する研究		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
14	講義内容	妊娠の栄養に関する研究		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
15	講義内容	高齢者の栄養に関する研究		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	2時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
備考	<p>予習・復習については、研究論文の事前学習や研究発表・レジュメ作成に関わる自習で補完する。                      授業の実施方法の通知や課題提出等は、授業支援システム(C-learning)を用いて行う。                      オフィスアワー:未定                      研究室:未定                      メールアドレス:未定</p>			

食品栄養学専攻

科目名	分子生物学特論			
英文名	Special Seminar for Molecular biology			
担当教員	田中 進			
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>講義の目標</p> <p>分子生物学は、コンピューターを始めとする情報科学と同様に20世紀に最も進歩した学問である。この学問の進歩により、遺伝情報の流れが明かとなり、医学、生物学、栄養学の理解が分子のレベルで理解できるようになった。この科目では、その基本を教授する。</p> <p>講義の実施方法</p> <p>予習・復習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命とは何かを説明できる。</li> <li>2. 細胞間の情報伝達が説明できる。</li> <li>3. 遺伝情報の流れ、セントラルドグマが説明できる。</li> <li>4. ヒトゲノム計画からヒトゲノム配列がどの様にして決定されたか、(1)その歴史的背景、(2)計画達成の結果、どの様な果実が得られたか、(3)他の産業への波及効果、倫理問題などについて説明できる。また発表後20年ほど経過した現在の諸問題について討論できる。</li> </ol>			
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。		
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。		
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDGsとの関連	<b>4</b>			
評価方法	<p>講義は対話形式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容を重視する(評価の50%)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を十分に理解して分析が行われているかを重視する)による評価を50%とする。</p> <p>総合評価60%以上を合格とする。</p>			
課題に対するフィードバック	レポートは添削して返却する。			
使用教材	講義の内容はプリントを配布。			
1	講義内容	イントロダクション		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義目標や到達目標などを理解する。	1時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解する。	1時間
2	講義内容	生命とは何か		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1時間
1		復習	RNA、DNA、細胞の視点から生命とは何かを理解する。	1時間
3	講義内容	DNAから細胞そして個体へ		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1時間
1		復習	DNA、細胞、組織、器官が作り上げる個体について理解する。	1時間
4	講義内容	細胞間の情報伝達 1		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1時間
2		復習	細胞間情報伝達物質の役割について理解する。	1時間

食品栄養学専攻

5	講義内容	細胞間の情報伝達 2		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	2	復習	細胞表面タンパク質による情報伝達とギャップ結合について理解する。	1 時間
6	講義内容	セントラルドクマ		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	DNA→mRNA→タンパク質の遺伝情報の流れの概要を理解する。	1 時間
7	講義内容	DNA の複製		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	DNA の半保存的複製について理解する。	1 時間
8	講義内容	転写 1		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	DNA から mRNA への転写について理解する。	1 時間
9	講義内容	転写 2		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	mRNA への発現調節について理解する。	1 時間
10	講義内容	翻訳 1		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	mRNA からタンパク質への翻訳を理解する。	1 時間
11	講義内容	翻訳 2		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	3	復習	タンパク質への翻訳調節を理解する。	1 時間
12	講義内容	ヒトゲノム計画の概要		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	ヒトゲノム計画に至る道と戦略を理解する。	1 時間
13	講義内容	ヒトゲノム計画から得られた結果について		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	第一次概略版の発表とその内容の意味を理解する。	1 時間
14	講義内容	ヒトゲノム計画から得られた果実		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	ゲノム診断、テーラーメイド医療、RNA 医療について理解する。	1 時間
15	講義内容	分子生物学の未来		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	4	復習	分子生物学の諸問題、現実、未来について理解する。	1 時間
備考	<p>※ 2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間(実質 3 時間×15 回))が必要です。不足分は各自で補完すること。</p> <p>オンラインで実施する場合には、別途提示する。</p> <p>【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。研究室:1 号館 4 階 401 研究室</p> <p>【メールアドレス】tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	栄養生化学特論			
英文名	Advanced Nutrition Biochemistry			
担当教員	田中 進			
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>講義の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養生化学の基本的知識を身に付け、栄養素の代謝全体を理解する。</li> <li>2. 代謝を理解する上で必要な酵素の一般的な性質について理解する。</li> </ol> <p>講義の実施方法</p> <p>予習・復習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 栄養生化学の基本的知識を身に付け、栄養素の代謝全体を説明できる。</li> <li>2. 酵素の一般的な性質について説明できる。</li> <li>3. 酵素による代謝の調節機構を説明できる。</li> </ol>			
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。		
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。		
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDGs との 関連	<b>4</b>			
評価方法	<p>講義は対話形式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容を重視する(評価の 50%)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を十分に理解して分析が行われているかを重視する)による評価を 50%とする。</p> <p>総合評価 60%以上を合格とする。</p>			
課題に対する フィードバック	レポートは添削して返却する。			
使用教材	講義の内容はプリントを配布。			
1	講義内容	イントロダクション		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、講義目標や到達目標などを理解する。	1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを理解する。	1 時間
2	講義内容	人体の構成		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
3	講義内容	アミノ酸・たんぱく質の栄養生化学		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
4	講義内容	糖質の栄養生化学		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
5	講義内容	脂質の栄養生化学		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
6	講義内容	ミネラルの栄養生化学		

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
7	講義内容	ビタミンの栄養生化学		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	ブ講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
8	講義内容	核酸の栄養生化学		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
9	講義内容	酵素の一般的性質		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
10	講義内容	代謝の概要と酵素		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
11	講義内容	アミノ酸・たんぱく質代謝と酵素		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
12	講義内容	糖質代謝と酵素		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
13	講義内容	脂質代謝と酵素		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
14	講義内容	酵素による代謝調節機構		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
15	講義内容	代謝と疾病		
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。	1 時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
備考	<p>※ 2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))＋予習・復習時間(60 時間(実質 3 時間×15 回))が必要です。不足分は各自で補完すること。</p> <p>オンラインで実施する場合には、別途提示する。</p> <p>【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。研究室:1 号館 4 階 401 研究室</p> <p>【メールアドレス】tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	栄養生理学特論		
英文名	Advanced Course on Nutritional Physiology		
担当教員	下川 哲昭		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 人体生理学を概観した後、栄養・栄養素の観点から生理機能を考察する。最後に内分泌機能の破綻である糖尿病や消化器疾患である吸収不良症候群等を通して疾患と栄養生理学の関連性を理解することを目標とする。</p> <p>② 双方向性を重視した活発な議論による授業になるように進める。</p>		
到達目標	<p>1. 人体の多様な機能の詳細を栄養生理学的側面から系統的に説明できる。</p> <p>2. 消化・吸収、栄養・代謝の破綻における疾病の特徴と発症機序について、栄養生理学を通して理解し他人に説明できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	<b>4</b>		
評価方法	学期末の口頭試問により評価する。得点率 60%以上を合格とする。		
課題に対する フィードバック	提出された課題に対して、採点しコメントを付して返却する。		
使用教材	適時資料、文献等を配布する。		
1	講義内容	体液・血液・免疫の生理学	
	該当する到達目標 1	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1時間
2	講義内容	循環・呼吸の生理学	
	該当する到達目標 1	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1時間
3	講義内容	内分泌・生殖の生理学	
	該当する到達目標 1	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1時間
4	講義内容	神経生理学	
	該当する到達目標 1	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1時間
5	講義内容	消化器系の生理学	
	該当する到達目標 1	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1時間
6	講義内容	泌尿器系の生理学	
	該当する到達目標 1	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間
		復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。 1時間
7	講義内容	栄養素の合成・分解 1 炭水化物	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。 1時間

食品栄養学専攻

	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
8	講義内容	栄養素の合成・分解2 タンパク質および脂質		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
9	講義内容	栄養素の消化・吸収1 炭水化物		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
10	講義内容	栄養素の消化・吸収2 タンパク質および脂質		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
11	講義内容	生理機能に果たす栄養素の役割1 糖質		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
12	講義内容	生理機能に果たす栄養素の役割2 タンパク質		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
13	講義内容	生理機能に果たす栄養素の役割3 脂質		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
14	講義内容	内分泌機能の破綻による疾病の栄養生理学的考察		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	2時間
	1, 2	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2時間
15	講義内容	消化・吸収機能の破綻による疾病の栄養生理学的考察		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	2時間
	1, 2	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2時間
備考	<p>予習・復習時間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー：月曜日(終日)、木曜日(午前中)</p> <p>研究室：1号館3階311研究室</p> <p>メールアドレス：shimokawa-n#takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	臨床栄養学特論		
英文名	Clinical Nutrition		
担当教員	岡村 信一		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 食は人の体を作り、健康や疾病に重要役割を果たすことを理解する。 ② 本講座は、各自の能動的学習に基づいて進められる。食と健康・疾病との関わりについて、最新の論文等を用いて基礎及び臨床の両面から学習する。		
到達目標	1. 食と健康・疾病との関わりについて、基礎知識を理解する。 2. 食と健康・疾病との関わりの最新情報について、基礎および臨床の両面から批判的に吟味できる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
	✓	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	<b>3</b>		
評価方法	プレゼンテーション 50%、ディスカッション 50%の状況から総合的に成績を評価する。		
課題に対する フィードバック	適宜、ディスカッション等を通じてフィードバックする。		
使用教材	資料を適宜配布する。		
1	講義内容	食と栄養・代謝系疾患(1)糖尿病など	
	該当する到達目標 1,2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
2	講義内容	食と栄養・代謝系疾患(2)脂質異常症など	
	該当する到達目標 1,2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
3	講義内容	食と栄養・代謝系疾患(3)肥満など	
	該当する到達目標 1,2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
4	講義内容	食と内分泌系疾患	
	該当する到達目標 1,2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
5	講義内容	食と消化器系疾患(1)上部消化管疾患	
	該当する到達目標 1,2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
6	講義内容	食と消化器系疾患(2)下部消化管疾患	
	該当する到達目標 1,2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
7	講義内容	食と消化器系疾患(3)肝・胆・膵	
	該当する到達目標 1,2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
8	講義内容	食と循環器系疾患(1)高血圧など	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
9	講義内容	食と循環器系疾患(2)虚血性心疾患など		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
10	講義内容	食と腎・尿路系疾患(1)腎疾患		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
11	講義内容	食と腎・尿路系疾患(2)尿路系疾患		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
12	講義内容	食と神経・精神系疾患		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
13	講義内容	食と呼吸器系疾患		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
14	講義内容	食と血液系疾患		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
15	講義内容	食と免疫・アレルギー系疾患		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1 時間
備考	<p>予習・復習を各自積極的に行い、疑問点や課題点を見つけるようにする。予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完する。</p> <p>オフィスアワー: 金曜日の 5 時限</p> <p>研究室: 1 号館 4 階 403 研究室</p>			

食品栄養学専攻

科目名	臨床栄養管理特論		
英文名	Advanced Clinical Nutrition		
担当教員	長嶺 竹明、竹内 真理		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 後期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいて栄養管理する力を修得する。また、栄養食事指導において、傷病者の QOL を損なうことなく栄養療法を実践できる知識と技術を修得する。</p> <p>② 授業は、配布資料を用いて栄養ケアマネジメントについての要点をまとめ、症例検討や事例検討を繰り返し、栄養ケアプロセスを設定できるスキルと実践力を身につける。</p>		
到達目標	<p>1. 臨床現場における傷病者の様々な病態を把握し、疾病に応じた栄養ケアを設定できるスキルを修得する。</p> <p>2. 臨床現場における傷病者の様々な病態を把握し、疾病に応じた個人または集団に対する栄養食事指導を実践できる力を修得する。</p> <p>3. チーム医療において、管理栄養士に役割を果たし、活躍できる力を養う。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: yellow;">②</span> <span style="color: green;">③</span> <span style="color: red;">④</span> <span style="color: red;">⑧</span> </p>		
評価方法	レポート 70%、平常点 30%		
課題に対する フィードバック	レポートにコメントを付けて返却する。		
使用教材	各講義時に資料を配布する。参考書として、各疾患の診療ガイドラインおよび治療ガイド(各医学会の編集による)、病態栄養ガイドブック(メディカルビュー社)、栄養ケアプロセス理論・活用・症例(建帛社)		
1	講義内容	疾病の診療ガイドラインと治療ガイドに基づく栄養食事療法	
	該当する到達目標	予習	臨床栄養学の復習をする 1.5 時間
	1	復習	演習内容の復習とまとめ 1.5 時間
2	講義内容	疾病の栄養食事療法による治療目的	
	該当する到達目標	予習	各疾病の診療ガイドラインおよび治療ガイドに目を通す 1.5 時間
	1	復習	演習内容の復習とまとめ 1.5 時間
3	講義内容	傷病者の病態および栄養状態の把握、栄養スクリーニングと栄養アセスメント	
	該当する到達目標	予習	栄養スクリーニング、栄養アセスメントの手技と評価を復習する 1.5 時間
	1	復習	演習内容の復習とまとめ 1.5 時間
4	講義内容	疾病の栄養食事療法・個人栄養指導のプロセス①	
	該当する到達目標	予習	症例のデータを収集する 1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ 1.5 時間
5	講義内容	疾病の栄養食事療法・個人栄養指導のプロセス②	
	該当する到達目標	予習	症例の指導案および媒体の準備 1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ 1.5 時間
6	講義内容	疾病の栄養食事療法・個人栄養指導のアウトカム①	
	該当する到達目標	予習	症例のモニタリング項目をまとめる 1.5 時間

食品栄養学専攻

	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
7	講義内容	疾病の栄養食事療法・個人栄養指導のアウトカム②		
	該当する到達目標	予習	症例の継続指導についてまとめる	1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
8	講義内容	疾病の栄養食事療法・集団栄養指導のプロセス①		
	該当する到達目標	予習	集団指導の企画・運営を考える	1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
9	講義内容	疾病の栄養食事療法・集団栄養指導のプロセス②		
	該当する到達目標	予習	集団指導の準備、媒体の準備	1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
10	講義内容	疾病の栄養食事療法・集団栄養指導のアウトカム①		
	該当する到達目標	予習	集団指導の評価とフィードバックについて考える	1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
11	講義内容	疾病の栄養食事療法・集団栄養指導のアウトカム②		
	該当する到達目標	予習	集団指導のシステムの評価について考える	1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
12	講義内容	モニタリングと評価、フィードバック		
	該当する到達目標	予習	個人指導、集団指導について結果をまとめる	1.5 時間
	1,2	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
13	講義内容	クリニック管理栄養士の役割		
	該当する到達目標	予習	管理栄養士の役割について考える	1.5 時間
	3	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
14	講義内容	チーム医療での管理栄養士		
	該当する到達目標	予習	チーム医療のなかで管理栄養士の役割について考える	1.5 時間
	3	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
15	講義内容	まとめと発表		
	該当する到達目標	予習	発表のためのまとめ	1.5 時間
	1,2,3	復習	演習内容の復習とまとめ	1.5 時間
備考	<p>オンラインで実施する場合：状況に応じ、講義内容、評価方法、試験は変更することがある。</p> <p>オフィスアワー：木曜 2-4 限、1 号館 308 研究室。質問等はメールでも受け付ける。</p> <p>メールアドレス：mtakeuchi#takasaki-u.ac.jp</p>			

食品栄養学専攻

科目名	<b>食育と精神保健特論</b>		
英文名	Mental health and education of eating attitudes		
担当教員	上原 徹		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 2005年に成立した食育基本法では、食は生きるための基本的な行動であり、食に関する知識の教育が、心身の発達に重要であると明確に宣言された。学生が、メンタルヘルスと食との関連や、さまざまな精神・心身の問題と「食」との密接な関係について学び、自ら考察できることを目標とする。</p> <p>② 履修者の進捗状況に合わせて、個別指導に近い形態で、ディスカッションや相互討論も含めながら講義を行う。パワーポイントのスライドやPDF資料などの教材は随時配布する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>人間にとっての食の意味を多面的に理解できる</li> <li>食に関わるメンタルヘルス課題を説明できる</li> <li>摂食障害について解説できる</li> <li>精神疾患と食行動との関連を説明できる</li> <li>食と文化、人間関係と食行動との関係、現代社会の抱える食の問題に視野を広げられる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの関連	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 24px; color: red;">①</span> <span style="font-size: 24px; color: magenta;">⑩</span> <span style="font-size: 24px; color: blue;">⑯</span> </div>		
評価方法	「講義への出席 3分の2以上」、授業への参加態度 40%、プレゼンテーションやディスカッションの内容 60%等を総合的に勘案し評価する。		
課題に対するフィードバック	レポートについては、事前に課題内容を告知し、記載方法や出題意図、基準をフィードバックする。		
使用教材	第1回の時に学生と相談の上、研究テーマに応じて決める。適宜参考書を推薦する(食にとらわれたプリンセス—摂食障害をめぐる物語、上原徹、星和書店など)		
1	講義内容	ヒトや動物の食行動について	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
		講義内容	食に関わる生理機能や脳機能
2	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
3	講義内容	心身医学的病態と食行動	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
		講義内容	精神医学的な疾患と食行動
4	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,4	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間
5	講義内容	マインドフルな食と心	
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む 1時間
	1,5	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる 1時間

食品栄養学専攻

6	講義内容	摂食障害特論① 診断と症状		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
7	講義内容	摂食障害特論② 病態と合併症		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
8	講義内容	摂食障害特論③ 歴史と疫学		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
9	講義内容	摂食障害特論④ 病因と経過		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
10	講義内容	摂食障害特論⑤ 心理社会要因		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
11	講義内容	摂食障害特論⑥ 生物身体要因		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
12	講義内容	摂食障害特論⑦ 子どもの摂食問題		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
13	講義内容	摂食障害特論⑧ 治療と支援		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
14	講義内容	摂食障害特論⑨ 社会的課題、スポーツとの関連		
	該当する到達目標	予習	あらかじめ指定した参考書や資料の部分を読む	1時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べる	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容を俯瞰し、討論のレポートをまとめる	2時間
	1,2,3	復習	討論した事項をまとめ、研究にかかわる課題を考察する	2時間
備考	<p>講義前には、担当に該当する教科書の内容を読んでおくこと。講義の後に「関連文献」や「関連書籍」を伝えるので、それを読み関心を高めること。</p> <p>記載した予習・復習時間では、単位修得に必要な時間に満たないため、各自で補完すること。</p> <p>オフィスアワー：前後期ともに月曜4限、金曜4限とする。連絡先については授業で提示する。</p> <p>研究室：1号館5階512研究室</p>			

食品栄養学専攻

科目名	栄養教育学特論		
英文名	Nutrition Education		
担当教員	木村 典代		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要	① 様々なライフステージ・ライフスタイルにおいて求められる食行動変容について考察する力を身につけ、それぞれの対象にあった栄養教育方法を提案することができる。		
①講義の目標	② 授業はレクチャー形式およびディスカッション形式で実施する。		
②講義の実施方法			
到達目標	1. 食行動変容を促す様々な行動科学理論・モデルを提案できる。 2. 栄養教育マネジメントの評価ができる。		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">3</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span>		
評価方法	文献紹介・文献講読および対話・発表を行う。 授業中の発言や発表内容などの授業態度(80%)、レポートの提出(20%)にて成績評価を行う。		
課題に対するフィードバック	授業時のコメントを通じてフィードバックを行う。		
使用教材	特に指定はしない。授業中に参考文献・参考図書を適宜紹介する。		
1	講義内容	行動科学理論・モデルと栄養教育 個人の行動変容 1	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を読む 1.5時間
1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
2	講義内容	行動科学理論・モデルと栄養教育 個人の行動変容 2	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を読む 1.5時間
1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
3	講義内容	行動科学理論モデルと栄養教育 個人間における行動変容 1	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を読む 1.5時間
1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
4	講義内容	行動科学理論モデルと栄養教育 個人間における行動変容 2	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を読む 1.5時間
1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
5	講義内容	行動科学理論モデルと栄養教育 組織における行動変容 1	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を読む 1.5時間
1,2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
6	講義内容	行動科学理論モデルと栄養教育 組織における行動変容 2	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を読む 1.5時間
2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
7	講義内容	ケーススタディで考える 学校の食育シーンにおける食行動変容 1	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を読む 1.5時間
3		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間

食品栄養学専攻

8	講義内容	ケーススタディで考える 学校の食育シーンにおける食行動変容 2		
	該当する到達目標 3	予習	関連する文献を読む	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
9	講義内容	ケーススタディで考える スポーツシーンにおける食行動変容 1		
	該当する到達目標 3	予習	関連する文献を読む	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
10	講義内容	ケーススタディで考える スポーツシーンにおける食行動変容 2		
	該当する到達目標 3	予習	関連する文献を読む	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
11	講義内容	ケーススタディで考える スポーツシーンにおける食行動変容 3		
	該当する到達目標 3	予習	関連する文献を読む	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
12	講義内容	ケーススタディで考える 職域 1		
	該当する到達目標 3	予習	関連する文献を読む	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
13	講義内容	ケーススタディで考える 職域 2		
	該当する到達目標 3	予習	ケースを考えてくる	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
14	講義内容	食行動変容を促す行動経済学 ナッジを用いた戦略 1		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	ケースを考えてくる	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
15	講義内容	食行動変容を促す行動経済学 ナッジを用いた戦略 2		
	該当する到達目標 1,2,3	予習	ケースを考えてくる	1.5 時間
		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
備考	<p>オンラインで授業を実施する際の変更点:大学のオンラインシステムを通じて、初回授業前に実施方法を通知する                      オフィスアワー:講義のある日は、事前にメール連絡があれば対応可                      研究室:1号館 301 研究室 問い合わせ先:kimura#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	保健情報学特論		
英文名	Health Informatics		
担当教員	未定		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 栄養教育、栄養指導、公衆栄養活動を効果的に実践するには、多角的視野から情報を収集し、収集した情報を適切に分析・判断する能力が必要である。本講義では、地域、学校、職場等の人間集団を対象に健康状態、食生活や栄養状態を評価するための疫学的方法論や結果を適切に評価するための統計学的手法について修得する。さらに、各種調査から得られる結果の信頼性(妥当性や有効性)を客観的に評価し、正しく利用するための応用力を養う。</p> <p>② 配付資料で説明し、コンピュータを使った演習を行う。理論と実践的な技術の習得の両方を重視した講義とする。</p>		
到達目標	<p>1. 食品栄養学分野の情報を適切な統計処理方法を用いて分析できる。</p> <p>2. 得られた結果を適切に考察できる。</p> <p>3. 信頼度の高い情報の収集と評価について説明できる。</p>		
学位授与方針との対応	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。		
	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。		
	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。		
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<b>③</b>		
評価方法	課題に対する学習意欲 20%、レポートの内容 80%などで総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	課題レポートにコメントを付けて返却する。		
使用教材	資料は適宜配布する。		
1	講義内容	オリエンテーション	
	該当する到達目標 1	予習	シラバスの内容を読んで、講義の目標などを理解する 1.5 時間
		復習	授業内容を整理する 1.5 時間
2	講義内容	記述統計(講義)	
	該当する到達目標 1,2	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する 1.5 時間
		復習	授業内容を整理する 1.5 時間
3	講義内容	記述統計(演習)	
	該当する到達目標 1,2	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する 1.5 時間
		復習	授業内容を整理する 1.5 時間
4	講義内容	区間推定(講義)	
	該当する到達目標 1,2	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する 1.5 時間
		復習	授業内容を整理する 1.5 時間
5	講義内容	区間推定(演習)	
	該当する到達目標 1,2	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する 1.5 時間
		復習	授業内容を整理する 1.5 時間
6	講義内容	仮説検定の考え方	
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する 1.5 時間

食品栄養学専攻

	1,2	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
7	講義内容	2 群の比較(データに関連がない場合)(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
8	講義内容	2 群の比較(データに関連がある場合)(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
9	講義内容	3 群以上の比較(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
10	講義内容	相関分析(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
11	講義内容	単回帰分析(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
12	講義内容	重回帰分析(演習)		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	1,2	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
13	講義内容	研究倫理について		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	3	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
14	講義内容	研究の質の評価		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	3	復習	授業内容を整理する	1.5 時間
15	講義内容	EBN 関連資料の講読・討論		
	該当する到達目標	予習	事前に示すキーワードや専門用語について調べ理解する	1.5 時間
	3	復習	討論内容を整理する	1.5 時間
備考	<p>関連分野の論文を精読し、統計手法の活用方法について理解を深める。</p> <p>オフィスアワー:未定</p> <p>研究室:未定</p> <p>メールアドレス:未定</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I			
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I			
担当教員	下川 哲昭			
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 栄養生理学領域における研究法とその実際について自身の研究テーマを選び研究を遂行し研究成果につなげる。特に以下の3点に焦点をあてて講義と研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳汁中のホルモンによる育児行動の解析</li> <li>2. 先天性脊柱側弯症における胎児期の栄養素について</li> <li>3. 細胞分化因子 EID1 の脂質代謝における抑制機能</li> </ol> <p>② 自主性を重視し実践的な考え方・技術を習得できるように指導する。</p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の醍醐味を味わい、新たな環境でも自分で研究を遂行できる能力を確立することを目標とする。</li> <li>2. 自身の研究成果を英文への学術雑誌に投稿・掲載することを目指す。</li> </ol>			
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。		
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。		
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。		
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDGs との 関連	<b>4</b>			
評価方法	学年末の口頭試問により評価する。得点率 60%以上を合格とする。			
課題に対する フィードバック	提出された課題に対して、採点しコメントを付して返却する。			
使用教材	適時資料、文献等を配布する。			
1	講義内容	研究とは？イントロダクション		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
2	講義内容	研究とは？研究方法について		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
3	講義内容	研究対象における現在までの既知情報		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
4	講義内容	研究対象における現在までの既知情報の収集法		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
5	講義内容	研究ゴールの設定		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1,2	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
6	講義内容	動物実験の必要性		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
7	講義内容	動物実験を行う上での規則と注意点		

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
8	講義内容	実験動物の扱い方 : マウス、ラット		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
9	講義内容	細胞培養法とは？		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
10	講義内容	細胞培養の種類と準備		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
11	講義内容	細胞培養法の確立		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
12	講義内容	遺伝子導入法とは？		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
13	講義内容	遺伝子導入法の種類と準備		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1 時間
14	講義内容	遺伝子導入法の確立		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	2 時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2 時間
15	講義内容	これまでのまとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容から実験法のプロトコールを作成しておく。	2 時間
	1,2	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	2 時間
備考	<p>予習・復習時間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー: 月曜日(終日)、木曜日(午前中)</p> <p>研究室: 1号館3階311研究室</p> <p>メールアドレス: shimokawa-n#takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	岡村 信一		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 1. 生命科学と栄養学に関する最新の学術論文・情報を収集する。 2. 収集した学術論文・情報を吟味して考察する。</p> <p>② 本講座は、各自の能動的学習に基づいて進められる。また、専攻分野以外の科学的知見についても注意を払う。</p>		
到達目標	<p>1. 自身の問題解決に必要な学術論文・情報を必要十分に収集できる。 2. 収集した学術論文・情報を、批判的に吟味して考察できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
	✓	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<b>3</b>		
評価方法	プレゼンテーション 50%、ディスカッション 50%の状況から総合的に成績を評価する。		
課題に対する フィードバック	適宜、ディスカッション等を通じてフィードバックする。		
使用教材	担当教員から別途指示する。		
1	講義内容	問題解決に必要な学術論文について学ぶ。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
2	講義内容	問題解決に必要な学術論文の収集方法について学ぶ。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
3	講義内容	問題解決に必要な学術論文の整理・保存について学ぶ。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
4	講義内容	問題解決に必要な学術論文以外の情報について学ぶ。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
5	講義内容	問題解決に必要な学術論文以外の情報の収集方法について学ぶ。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
6	講義内容	問題解決に必要な学術論文以外の情報の整理・保存について学ぶ。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
7	講義内容	生命科学に関する科学知識を取り上げ、関連する学術論文・情報を収集する。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間

食品栄養学専攻

8	講義内容	前回収集した学術論文・情報を批判的に吟味・考察する。		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
9	講義内容	栄養科学に関する科学知識を取り上げ、関連する学術論文・情報を収集する。		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
10	講義内容	前回収集した学術論文・情報を批判的に吟味・考察する。		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
11	講義内容	自身の専攻テーマに関連した学術論文を収集する。		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
12	講義内容	自身の専攻テーマに関連した情報を収集する。		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
13	講義内容	収集した学術論文・情報を批判的に吟味・考察する。		
	2	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
14	講義内容	収集した学術論文・情報をさらに批判的に吟味・考察する。		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
15	講義内容	収集した学術論文・情報をデータベース化する。		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1,2	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
備考	<p>予習・復習を各自積極的にいき、疑問点や課題点を見つけるようにする。予習・復習時間は、総合討論前後の学習や研究発表・論文作成に関わる自習で補完する。生命科学と栄養科学に関連する最新の情報に対して、日常生活でも常に注意を向ける。</p> <p>オフィスアワー: 金曜日の5時限</p> <p>研究室: 1号館4階403研究室</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	未定		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 研究テーマに関連した国内外の論文を精読し、最近の知見を得るとともに論文のまとめ方や効果的な分析方法を修得する。</p> <p>② 事前に、収集した学術論文の要約を作成し、授業では、論文内容のディスカッションを通して論文の学術的意義を理解する。</p>		
到達目標	<p>1. 研究テーマに関連した文献を収集することができる。</p> <p>2. 収集した国内外の学術論文について、内容を正確に読み取り、要約を説明することができる。</p>		
学位授与方針との 対応	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。		
	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。		
	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。		
	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。		
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<b>3</b>		
評価方法	レポートの提出 50%や教員とのディスカッション 50%で理解度を総合的に評価する。		
課題に対する フィードバック	ディスカッション時のコメントや課題提出物に対するコメントを通じてフィードバックを行う。		
使用教材	別途指示する		
1	講義内容	研究テーマと文献検索	
	該当する到達目標 1	予習	シラパスの内容を読んで、目標などを理解する 0.5時間
		復習	授業内容を整理する 0.5時間
2	講義内容	関連文献の収集	
	該当する到達目標 1	予習	文献の整理 1時間
		復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
3	講義内容	関連文献(1)の精読と討論	
	該当する到達目標 2	予習	収集した論文を読んできると 1.5時間
		復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
4	講義内容	関連文献(1)の参考文献の精読と討論	
	該当する到達目標 2	予習	収集した論文を読んできると 1.5時間
		復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
5	講義内容	関連文献(2)の精読と討論	
	該当する到達目標 2	予習	収集した論文を読んできると 1.5時間
		復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
6	講義内容	関連文献(2)の参考文献の精読と討論	
	該当する到達目標 2	予習	収集した論文を読んできると 1.5時間
		復習	関連する知識や情報を調べる 1時間
7	講義内容	関連文献(3)の精読と討論	
	該当する到達目標 2	予習	収集した論文を読んできると 1.5時間
		復習	関連する知識や情報を調べる 1時間

食品栄養学専攻

8	講義内容	関連文献(3)の参考文献の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んてくる	1.5時間
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
9	講義内容	関連文献(4)の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んてくる	1.5時間
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
10	講義内容	関連文献(4)の参考文献の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んてくる	1.5時間
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
11	講義内容	関連文献(5)の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んてくる	1.5時間
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
12	講義内容	関連文献(5)の参考文献の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んてくる	1.5時間
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
13	講義内容	関連文献(6)の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んてくる	1.5時間
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
14	講義内容	関連文献(6)の参考文献の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んてくる	1.5時間
	2	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
15	講義内容	先行研究のまとめ		
	該当する到達目標	予習	精読した論文の整理	1時間
	2	復習	討論内容の整理	1時間
備考	<p>予習・復習の不足分については、関連分野の新聞記事やニュースに関心をもち、専門知識を自主的に調べるなどで補完する。</p> <p>オフィスアワー:未定</p> <p>研究室:未定</p> <p>メールアドレス:未定</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	田中 進		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要	<p>講義の目標</p> <p>研究テーマに関連した学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解する。</p> <p>講義の実施方法</p> <p>予習・復習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。</p>		
到達目標	<p>1. 研究テーマに関連した学術論文の収集を行うことができる。</p> <p>2. 研究テーマに関連した学術論文の精読を行うことができる。</p> <p>3. 研究テーマに関連した学術論文の研究背景を理解することができる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGs との関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">④</span>		
評価方法	<p>講義は対話形式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容を重視する(評価の 50%)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を十分に理解して分析が行われているかを重視する)による評価を 50%とする。</p> <p>総合評価 60%以上を合格とする。</p>		
課題に対するフィードバック	レポートは添削して返却する。		
使用教材	別途指示をする。		
1	講義内容	研究テーマの背景	
	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる。 1時間
	3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
2	講義内容	関連論文の検索方法と収集方法	
	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる。 1時間
	1	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
3	講義内容	学術論文の構成について	
	該当する到達目標	予習	配布したプリントを読んでくる。 1時間
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
4	講義内容	学術論文 1 報目の検索	
	該当する到達目標	予習	プリントに目を通す。 1時間
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
5	講義内容	学術論文 1 報目の精読	
	該当する到達目標	予習	学術論文 1 報目を精読してくる。 1時間
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
6	講義内容	学術論文 1 報目の発表と討論	
	該当する到達目標	予習	学術論文 1 報目の発表内容をまとめてくる。 1時間

食品栄養学専攻

	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
7	講義内容	学術論文2報目の検索と精読		
	該当する到達目標	予習	学術論文2報目を精読してくる。	1時間
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
8	講義内容	学術論文2報目の発表と討論		
	該当する到達目標	予習	学術論文2報目の発表内容をまとめてくる。	1時間
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
9	講義内容	学術論文3報目の検索と精読		
	該当する到達目標	予習	学術論文3報目を精読してくる。	1時間
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
10	講義内容	学術論文3報目の発表と討論		
	該当する到達目標	予習	学術論文3報目の発表内容をまとめてくる。	1時間
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
11	講義内容	学術論文4報目の検索と精読		
	該当する到達目標	予習	学術論文4報目を精読してくる。	1時間
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
12	講義内容	学術論文4報目の発表と討論		
	該当する到達目標	予習	学術論文4報目の発表内容をまとめてくる。	1時間
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
13	講義内容	学術論文5報目の検索と精読		
	該当する到達目標	予習	学術論文5報目を精読してくる。	1時間
	1,2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
14	講義内容	学術論文5報目の発表と討論		
	該当する到達目標	予習	学術論文5報目の発表内容をまとめてくる。	1時間
	2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
15	講義内容	精読した学術論文のまとめ		
	該当する到達目標	予習	精読した論文のまとめを行ってくる。	1時間
	1,2,3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1時間
備考	<p>※ 2単位を修得するためには、講義時間(30時間(実質90分×15回))+予習・復習時間(60時間(実質3時間×15回))が必要です。不足分は各自で文献収集を行い、精読してその研究背景を調べること。</p> <p>オンラインで実施する場合には、別途提示する。</p> <p>【オフィスアワー】前期(火4時限目)、後期(火4時限目)。研究室:1号館4階401研究室</p> <p>【メールアドレス】tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	木村 典代		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 栄養教育分野の新規知見や課題を理解し、食行動、食環境に関する調査方法や評価方法を用いて、関連課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。</p> <p>② 授業期間を通して、研究テーマを遂行し成果につなげるために必要な研究や実践例をとりあげ、批判的視点をもってディスカッションを行う。</p>		
到達目標	<p>1. 研究テーマに関連した国内外の学術論文を収集し精読できる</p> <p>2. 研究テーマに関連した国内外の学術論文のデータを正しく解釈することができる</p> <p>3. 研究テーマに関連した国内外の学術論文の論点を把握することができる</p>		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">④</span>		
評価方法	授業中の発言や発表内容などの授業態度(80%)、レポートの提出(20%)にて成績評価を行う。		
課題に対する フィードバック	授業時のコメントを通じてフィードバックを行う。		
使用教材	特に指定はしない。授業中に参考文献・参考図書を適宜紹介する。		
1	講義内容	関連論文の検索と収集方法について	
	該当する到達目標	予習	関連論文を調べてくる 1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5 時間
2	講義内容	関連論文の基本構成について	
	該当する到達目標	予習	関連論文を調べてくる 1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5 時間
3	講義内容	総説 1 報目の精読	
	該当する到達目標	予習	総説 1 報目を精読してくる 1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5 時間
4	講義内容	総説 1 報目のディスカッション	
	該当する到達目標	予習	総説 1 報目の論点を抽出してくる 1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5 時間
5	講義内容	総説 2 報目の精読	
	該当する到達目標	予習	総説 2 報目を精読してくる 1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5 時間
6	講義内容	総説 2 報目のディスカッション	
	該当する到達目標	予習	総説 2 報目の論点を抽出してくる 1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5 時間
7	講義内容	総説 3 報目の精読	
	該当する到達目標	予習	総説 3 報目を精読してくる 1.5 時間

食品栄養学専攻

	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
8	講義内容	総説 3 報目のディスカッション		
	該当する到達目標	予習	総説 3 報目の論点を抽出してくる	1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
9	講義内容	研究テーマに関連した学術論文 1 報目の精読・ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	関連論文 1 報目を精読してくる	1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
10	講義内容	研究テーマに関連した学術論文 2 報目の精読・ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	関連論文 2 報目を精読してくる	1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
11	講義内容	研究テーマに関連した学術論文 3 報目の精読・ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	関連論文 3 報目を精読してくる	1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
12	講義内容	研究テーマに関連した学術論文 4 報目の精読・ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	関連論文 4 報目を精読してくる	1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
13	講義内容	研究テーマに関連した学術論文 5 報目の精読・ディスカッション		
	該当する到達目標	予習	関連論文 5 報目を精読してくる	1.5 時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
14	講義内容	精読した研究論文のまとめ		
	該当する到達目標	予習	精読した関連論文の論点をまとめてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
15	講義内容	精読した研究論文のまとめつづき		
	該当する到達目標	予習	精読した関連論文の論点をまとめてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
備考	<p>オンラインで授業を実施する際の変更点:大学のオンラインシステムを通じて、初回授業前に実施方法を通知する。                      オフィスアワー:講義のある日は、事前にメール連絡があれば対応可                      研究室:1号館301研究室 問い合わせ先:kimura#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	村松 芳多子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要	① 食物に関わる広範囲な栄養学と食品学等に関する内容(研究課題)の一端を健康や疾病との関わりから模索し、人間栄養学・実験栄養学の研究手法を用いて分析・評価・検討する。		
①講義の目標	② 講義と演習(実験と実習を含む)を中心に進め、発表や討論を実施する。		
②講義の実施方法			
到達目標	『何を覚えるかではなくて、どうやって考えるかという方法を習得し、「君たちはどう生きるか(吉野源三郎)」を考える。方法を見つける力があるならば、初めて出会った現象でも、これを探求するための方法を自分の力で考え出すことができる(石川伊織)』を実践する。 1. 日本語学術論文を読むことができる 2. 日本語学術論文を要約し、結論について考察することができる 3. 意見を論理的にまとめることができる		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
	✓	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連			
評価方法	提出する論文(レポート)で評価する(100%)		
課題に対するフィードバック	提出課題に対し、コメント等をつけて返却する		
使用教材	必要に応じて配布する		
1	講義内容	概要(講義の進め方)	
	該当する到達目標	予習	「君たちはどう生きるか」を読む 1時間
1,2,3		復習	「君たちはどう生きるか」の読んだ箇所の要約と感想 0.5時間
	講義内容	テーマの立て方1(解説)	
2	該当する到達目標	予習	「君たちはどう生きるか」を読む 1時間
	1,2	復習	君たちはどう生きるか」の読んだ箇所の要約と感想 0.5時間
3	講義内容	テーマの立て方2(実践)	
	該当する到達目標	予習	「君たちはどう生きるか」を読む 1時間
1,2		復習	君たちはどう生きるか」の読んだ箇所の要約と感想 1時間
	講義内容	調査の仕方1(解説:文献検索方法等)	
4	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集 1時間
	1,2,3	復習	文献整理(分類と要約) 1時間
5	講義内容	調査の仕方2(実践1)	
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集 1時間
1,2,3		復習	文献整理(分類と要約) 1時間
	講義内容	調査の仕方3(実践2)	
6	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集 1時間
	1,2,3	復習	文献整理(分類と要約) 1時間

食品栄養学専攻

7	講義内容	資料・素材の分析 1(解説)		
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間
	1,2,3	復習	図表の作成	1 時間
8	講義内容	資料・素材の分析 2(実践 1)		
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間
	1,2,3	復習	図表の作成	1 時間
9	講義内容	資料・素材の分析 3(実践 2)		
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間
	1,2,3	復習	図表の作成	1 時間
10	講義内容	素材の配置 1(解説)		
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間
	1,2,3	復習	図表の作成・工夫	1 時間
11	講義内容	素材の配置 2(実践)		
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1 時間
	1,2,3	復習	図表の作成・工夫	1 時間
12	講義内容	文章を書く 1(構想)		
	該当する到達目標	予習	構想の箇条書き	1 時間
	1,2,3	復習	構想の確認と文章(下書き)を書く	1 時間
13	講義内容	文章を書く 2(下書き)		
	該当する到達目標	予習	下書き文章の確認	1 時間
	1,2,3	復習	文章の修正	1 時間
14	講義内容	文章を書く 3(清書)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1 時間
	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1 時間
15	講義内容	文章の完成(提出)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の確認	1 時間
	1,2,3	復習	発表用資料の再修正	1 時間
備考	<p>授業の進め方:講義中に予習・復習課題について発表を求められることがある</p> <p>◎ 状況によりオンラインになった場合は別途メール等で連絡する</p> <p>国内の学術論文の収集、および論文を読む(テーマに関する論文を 50~100 程度)</p> <p>※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと(課題等は、記載の平日時間だけでは終了できません)</p> <p>オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5 時限)</p> <p>研究室:1 号館 4 階 404</p> <p>教員への連絡方法は授業内で指示する</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	綾部 園子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 食品の嗜好性およびその評価に関する国内外の学術論文を、収集・整理・精読して、その背景知識および最新知見を得て、研究推進に活用する。 ② 授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。		
到達目標	1. 文献の検索、整理方法を理解し実践できる。 2. 総論を精読して、背景知識について説明できる。 3. 学術論文を精読して、背景知識および最新知見について説明できる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	③ ⑫		
評価方法	レポートの提出(50%)、ディスカッション(50%)により総合的に評価する。		
課題に対する フィードバック	課題の返却や、ディスカッションを通じて、フィードバックを行う		
使用教材	特に指定はしないが、参考書を何冊か紹介する 資料は適宜配布する		
1	講義内容	イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する 1時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する 1時間
2	講義内容	インターネットを用いた文献検索について	
	該当する到達目標 1	予習	関連する文献を検索し読む 1時間
		復習	キーワードにより、文献を検索する 2時間
3	講義内容	文献収集について	
	該当する到達目標 1	予習	関連する文献を検索し読む 1時間
		復習	検索した文献を整理する 2時間
4	講義内容	文献管理ソフトの活用方法	
	該当する到達目標 1	予習	関連する文献を検索し読む 1時間
		復習	文献検索ソフトに入力して整理する 2時間
5	講義内容	データの収集と取り扱いについて	
	該当する到達目標 1	予習	関連する文献を検索し、読む 1時間
		復習	データの収集と取り扱いについて要約する 2時間
6	講義内容	総説(1報目)の通読	
	該当する到達目標 2	予習	総説を(1報目)検索し、一通り読む 1時間
		復習	総説に関連する事項を調べて要約する 2時間
7	講義内容	総説(1報目)の精読・内容討議	
	該当する到達目標	予習	総説を再度読み、不明な点について調べる 1時間

食品栄養学専攻

	2	復習	総説に関連する事項を調べて要約する	2時間
8	講義内容	総説(2報目)の通読		
	該当する到達目標	予習	総説(2報目)を検索し、一通り読む	1時間
	2	復習	総説に関連する事項を調べて要約する	2時間
9	講義内容	総説(2報目)の精読・内容討議		
	該当する到達目標	予習	総説(2報目)を再度読み、不明な点について調べる	1時間
	2	復習	総説に関連する事項を調べて要約する	2時間
10	講義内容	精読した総説のまとめ		
	該当する到達目標	予習	精読した総説のプレゼンテーションを作成する	2時間
	1,2	復習	討議した事項について調べ、研究テーマを検討する	1時間
11	講義内容	研究テーマに関連した学術論文(1報目)の精読・内容討議		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1時間
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2時間
12	講義内容	研究テーマに関連した学術論文(2報目)の精読・内容討議		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1時間
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2時間
13	講義内容	研究テーマに関連した学術論文(3報目)の精読・内容討議		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1時間
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2時間
14	講義内容	研究テーマに関連した学術論文(4報目)の精読・内容討議		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む	1時間
	3	復習	論文に関連する事項を調べて要約する	2時間
15	講義内容	精読した学術論文のまとめ		
	該当する到達目標	予習	精読した学術論文のプレゼンテーションを作成する	2時間
	1,3	復習	討議した事項について調べて、研究方法を検討する	2時間
備考	<p>オフィスアワー: 授業日の3~5時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>研究室: 1号館4階406</p> <p>教員への連絡方法は授業内で指示する。</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	未定		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 応用栄養学分野の新規知見や課題を理解し、生化学、分子生物学的知識、および実験技術を用いて、関連課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。</p> <p>② 研究内容の紹介を行い、研究課題についてディスカッションを行う。配布された資料を基に、研究内容に関する自主的な発展的学習を行う。</p>		
到達目標	<p>1. 関連分野の新規知見や課題についての情報を自ら調べることができる。</p> <p>2. 生化学、分子生物学的知識、及び実験技術を用い、関連課題に関する新規情報を得ることができる。</p> <p>3. 新規情報を適切に取りまとめ、他者へ説明できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGs との 関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">④</span>		
評価方法	授業内での課題の内容等を勘案し、総合的に評価する。		
課題に対する フィードバック	課題の出題意図、評価基準について説明する。		
使用教材	講義に関する教材について、授業の中で紹介を行う。		
1	講義内容	研究論文の基本情報と検索方法	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2 時間
2	講義内容	研究論文の管理方法	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2 時間
3	講義内容	研究論文の活用の基礎	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2 時間
4	講義内容	データベースの活用法(遺伝子について)	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2 時間
5	講義内容	データベースの活用法(タンパク質について)	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2 時間
6	講義内容	先行研究の精査	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2 時間
7	講義内容	研究課題の抽出	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5 時間

食品栄養学専攻

	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
8	講義内容	予備調査		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
9	講義内容	予備実験		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
10	講義内容	研究成果の取り扱い方		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
11	講義内容	研究結果の解析方法		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
12	講義内容	研究成果の表し方		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
13	講義内容	研究成果の発表方法と準備		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
14	講義内容	研究成果の発表		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
15	講義内容	学術会議での研究発表		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2時間
備考	授業の実施方法の通知や課題提出等は、授業支援システム(C-learning)を用いて行う。 オフィスアワー:未定 研究室:未定 メールアドレス:未定			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習 I		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science I		
担当教員	應本 真		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 食品科学に関連する学術論文の収集、精読を行い、研究背景を理解することを目的とする。 ② 本講義では、毎回各テーマについて、討論と考察を行う。		
到達目標	1. 研究テーマに関連した学術論文の収集を行うことができる。 2. 研究テーマに関連した学術論文の精読を行うことができる。 3. 研究テーマに関連した学術論文の研究背景を理解することができる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	2 3 4 9		
評価方法	授業中の質疑応答 60%、レポート 40%		
課題に対する フィードバック	レポートについては、提出後、その内容のディスカッションを行う。		
使用教材	特に指定はしないが、学術雑誌の論文を参考とすることがある。講義に使用する資料は適宜配布する。		
1	講義内容	ガイダンス、本特論の進め方、到達目標、評価方法の確認	
	該当する到達目標	予習	無 0時間
		復習	無 0時間
2	講義内容	インターネット等を用いた文献検索について1(文献から文献を)	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
1	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
3	講義内容	インターネット等を用いた文献検索について2(pubmed)	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
1	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
4	講義内容	インターネット等を用いた文献検索について3(Scifinder)	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
1	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
5	講義内容	文献収集(実践と活用)	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
6	講義内容	文献収集と管理(理論)	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
7	講義内容	文献収集と管理(endnote)	
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間

食品栄養学専攻

8	講義内容	文献収集と管理(ResearchGate)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
9	講義内容	研究ノート作成法(理論)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
10	講義内容	研究ノート作成法(実践)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
11	講義内容	データの収集と取り扱い(理論)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
12	講義内容	データの収集と取り扱い(実践)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
13	講義内容	プレゼンテーション法(理論)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
14	講義内容	プレゼンテーション法(実践)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読んでくる	1時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習		0時間
	1,2,3	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
備考	<p>予習・復習の時間数:不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー:随時</p> <p>研究室:1号館4階402</p> <p>メールアドレス:oumoto#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	下川 哲昭		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 栄養生理学領域における研究法とその実際について自身の研究テーマを選び研究を遂行し研究成果につなげる。特に以下の3点に焦点をあてて講義と研究を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 乳汁中のホルモンによる育児行動の解析</li> <li>2. 先天性脊柱側弯症における胎児期の栄養素について</li> <li>3. 細胞分化因子 EID1 の脂質代謝における抑制機能</li> </ol> <p>② 演習の進め方: 自主性を重視し実践的な考え方・技術を習得できるように指導する。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究の醍醐味を味わい、新たな環境でも自分で研究を遂行できる能力を確立することを目標とする。</li> <li>2. 自身の研究成果を英文への学術雑誌に投稿・掲載することを目指す。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGs との関連	<b>4</b>		
評価方法	研究課題の探索、実験のデザイン、実験への熱意、データの解釈、プレゼンテーション、論文の作成等、研究への取り組みを踏まえ、口頭試問にて総合的に評価する。得点率 60%以上を合格とする。		
課題に対するフィードバック	提出された課題に対して、採点しコメントを付して返却する。		
使用教材	適時資料、文献等を配布する。		
1	講義内容	核酸・タンパク質の抽出法	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。
2	講義内容	核酸の抽出	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。
3	講義内容	タンパク質の抽出	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。
4	講義内容	核酸・タンパク質の電気泳動法	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。
5	講義内容	核酸の電気泳動	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。
6	講義内容	タンパク質の電気泳動	
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。

食品栄養学専攻

7	講義内容	タンパク質の免疫沈降法とウェスタンブロット法について		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
8	講義内容	タンパク質の免疫沈降法		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
9	講義内容	タンパク質のウェスタンブロット法		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
10	講義内容	結果の解釈		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
11	講義内容	追試験の実際		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
12	講義内容	追試験の解析		
	該当する到達目標	予習	予め指定した資料・論文に目を通しておく。登場する学術用語を理解しておく。	1時間
	1	復習	講義内容を理解し関連情報を取得、解析する。	1時間
13	講義内容	論文の作成とプレゼンテーションの準備		
	該当する到達目標	予習	論文の構成と図表の位置などを検討しておく。	1時間
	1,2	復習	指摘された箇所を修正しておく。	1時間
14	講義内容	プレゼンテーションの準備		
	該当する到達目標	予習	プレゼン用のスライドの分量と論旨について検討しておく。	2時間
	1,2	復習	指摘された箇所を修正しておく。	2時間
15	講義内容	論文作成の準備		
	該当する到達目標	予習	これまでの講義内容から実験法のプロトコールを作成しておく。	2時間
	1,2	復習	制限時間内に効率良く自身の実験結果を相手に伝えられるように繰り返し練習する。	2時間
備考	<p>予習・復習時間は、研究発表・論文作成に関わる自習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー：月曜日（終日）、木曜日（午前中）</p> <p>研究室：1号館3階311研究室</p> <p>メールアドレス：shimokawa-n#takasaki-u.ac.jp（#→@）</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	岡村 信一		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 研究の進捗や成果をまとめ、考察を加えて発表する方法を学ぶ。 ② 本講座は、各自の能動的学習に基づいて進められる。また、自身の専攻分野にとらわれることなく、秀逸なプレゼンテーションや学術論文に触れる機会を設ける。		
到達目標	1. 専攻テーマに関して、研究の進捗を説明できる。 2. 専攻テーマの研究データを、整理・保存管理することができる。 3. 専攻テーマの成果を、ポスター発表・口演発表・論文発表できる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
	✓	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	<b>3</b>		
評価方法	プレゼンテーション 50%、ディスカッション 50%の状況から総合的に成績を評価する。		
課題に対する フィードバック	適宜、ディスカッション等を通じてフィードバックする。		
使用教材	担当教員から別途指示する。		
1	講義内容	研究データの収集・利用について学ぶ。	
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
3		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
		講義内容	研究データの保存管理について学ぶ。
2	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。 1時間
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
3		講義内容	研究成果のまとめ方について学ぶ。(1)図
	2	該当する到達目標	予習
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
	4	講義内容	研究成果のまとめ方について学ぶ。(2)表
2		該当する到達目標	予習
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
5		講義内容	ゼミ形式の発表方法について学ぶ。
	3	該当する到達目標	予習
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
	6	講義内容	口演発表の方法について学ぶ。(1)パワーポイント作製
3		該当する到達目標	予習
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間
7		講義内容	演発表の方法について学ぶ。(2)プレゼンテーション技術
	3	該当する到達目標	予習
		復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。 1時間

食品栄養学専攻

8	講義内容	ポスター発表について学ぶ。(1)ポスター作製		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
9	講義内容	ポスター発表について学ぶ。(2)プレゼンテーション技術		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
10	講義内容	論文作成について学ぶ(1)テーマ・仮説		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	11時間
11	講義内容	論文作成について学ぶ(2)序論		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
12	講義内容	論文作成について学ぶ(3)方法		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
13	講義内容	論文作成について学ぶ(4)結果		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
14	講義内容	論文作成について学ぶ(5)考察		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	3	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
15	講義内容	総括		
	該当する到達目標	予習	授業に関連する基礎知識を予め整理しておく。	1時間
	1	復習	講義内容に関連する文献や情報を自主的に調べる。	1時間
備考	<p>予習・復習を各自積極的にいき、疑問点や課題点を見つけるようにする。予習・復習の時間不足分については、中間まとめ・まとめ前後等の学習で補完する。生命科学と栄養科学に関連する最新の情報に対して、日常生活でも常に注意を向ける。</p> <p>オフィスアワー金曜日の5時限</p> <p>研究室:1号館4階403研究室</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ			
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ			
担当教員	未定			
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位			
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 研究テーマに関連した国内外の論文を精読し、最近の知見を得るとともに論文の学術的意義を理解する。また、研究計画に応じたデータ分析の実践力を養い、研究成果をまとめ、考察を加えて発表する方法を修得する。</p> <p>② 授業では、最新の情報の収集、論文の書き方、効果的な解析方法について講義と演習を行い、修士論文完成への準備を進める。</p>			
到達目標	<p>1. 収集した国内外の学術論文について、学術的価値を論ずることができる。</p> <p>2. 得られたデータを客観的に分析することができる。</p> <p>3. 研究成果をまとめ、効果的な表現方法で説明できる。</p>			
学位授与方針との 対応	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。			
	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。			
	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。			
	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。			
SDGsとの 関連	<b>3</b>			
評価方法	教員とのディスカッション 20%、レポートの提出 20%、プレゼンテーション(内容 40%、質疑応答 20%)で総合的に評価する。			
課題に対する フィードバック	授業中のディスカッション、プレゼンテーションでのコメントや課題提出物に対するコメントを通じてフィードバックを行う。			
使用教材	別途指示する			
1	講義内容	関連文献の検索と収集		
	該当する到達目標	予習	シラバスの内容を読んで、目標などを理解する	0.5時間
1		復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	講義内容	国内の関連文献の精読と討論		
2	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んできると	1.5時間
	1	復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
3	講義内容	国外の関連文献の精読と討論		
	該当する到達目標	予習	収集した論文を読んできると	2時間
1		復習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	講義内容	既存データの利用方法		
4	該当する到達目標	予習	既存データの収集	1時間
	2	復習	授業内容の整理	1時間
5	講義内容	既存データの分析		
	該当する到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1時間
2		復習	授業内容の整理	1時間
	講義内容	科学論文の構成		
6	該当する到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	3	復習	授業内容の整理	1時間

食品栄養学専攻

7	講義内容	科学論文の書き方(諸言)		
	該当する到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	3	復習	記述のポイントの整理	1時間
8	講義内容	科学論文の書き方(方法)		
	該当する到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	3	復習	記述のポイントの整理	1時間
9	講義内容	科学論文の書き方(結果)		
	該当する到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	3	復習	記述のポイントの整理	1時間
10	講義内容	科学論文の書き方(考察)		
	該当する到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	3	復習	記述のポイントの整理	1時間
11	講義内容	科学論文の書き方(まとめ・参考文献・謝辞)		
	該当する到達目標	予習	関連する知識や情報を調べる	1時間
	3	復習	記述のポイントの整理	1時間
12	講義内容	口頭発表によるプレゼンテーションの準備		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な情報の収集	1時間
	3	復習	指摘されたポイントの整理	1時間
13	講義内容	口頭発表によるプレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	発表の練習	1時間
	3	復習	討論内容のまとめ	1時間
14	講義内容	ポスター発表のプレゼンテーションの準備		
	該当する到達目標	予習	資料作成に必要な情報の収集	1時間
	3	復習	指摘されたポイントの整理	1時間
15	講義内容	ポスター発表のプレゼンテーション		
	該当する到達目標	予習	発表の練習	1時間
	3	復習	討論内容のまとめ	1時間
備考	<p>予習・復習の不足分については、関連分野の新聞記事やニュースに関心を持ち、専門知識を自主的に調べることなどで補完する。</p> <p>オフィスアワー:未定</p> <p>研究室:未定</p> <p>メールアドレス:未定</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	田中 進		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>講義の目標</p> <p>栄養科学に関連する学術論文を精読することにより、自分の研究成果のまとめ方や発表する能力を養う。</p> <p>講義の実施方法</p> <p>予習・復習の課題について講義中に発表や提出を求めることがある。</p>		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 研究方法に関連する学術論文を精読し、自分の研究テーマに応用することができる。</li> <li>2. 研究テーマに関連する学術論文を精読し、研究結果の解釈に応用することができる。</li> <li>3. 研究テーマに関連する学術論文を精読し、研究成果を発表に応用することができる。</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">③</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">④</span>		
評価方法	<p>講義は対話形式やリサーチ内容の発表形式が中心となる。従って、講義内での発言や発表内容を重視する(評価の 50%)。また学期末に課すレポート(レポートの採点にあたっては、講義の内容を十分に理解して分析が行われているかを重視する)による評価を 50%とする。</p> <p>総合評価 60%以上を合格とする。</p>		
課題に対するフィードバック	レポートは添削して返却する。		
使用教材	講義の内容はプリントを配布。		
1	講義内容	研究方法の振り返り	
	該当する到達目標	予習	研究方法をまとめてくる。 1時間
	1	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
2	講義内容	研究方法に関連した学術論文 1 報目の精読	
	該当する到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文 1 報目を精読してくる。 1時間
	1	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
3	講義内容	研究方法に関連した学術論文 1 報目の発表と討論	
	該当する到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文 1 報目の発表内容をまとめてくる。 1時間
	1	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
4	講義内容	研究方法に関連した学術論文 2 報目の精読	
	該当する到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文 1 報目を精読してくる。 1時間
	1	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
5	講義内容	研究方法に関連した学術論文 2 報目の発表と討論	
	該当する到達目標	予習	研究方法に関連した学術論文 1 報目の発表内容をまとめてくる。 1時間
	1	復習	講義の内容をレポートにまとめる。 1時間
6	講義内容	研究結果の振り返り	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	研究結果をまとめてくる。	1 時間
	2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	研究結果の解釈に応用できる学術論文 1 報目の精読		
7	該当する到達目標	予習	研究結果の解釈に応用できる学術論文 1 報目を精読してくる。	1 時間
	2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	研究結果の解釈に応用できる学術論文 1 報目の発表と討論		
8	該当する到達目標	予習	研究結果の解釈に応用できる学術論文 1 報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間
	2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	研究結果の解釈に応用できる学術論文 2 報目の精読		
9	該当する到達目標	予習	研究結果の解釈に応用できる学術論文 2 報目を精読してくる。	1 時間
	2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	研究結果の解釈に応用できる学術論文 2 報目の発表と討論		
10	該当する到達目標	予習	研究結果の解釈に応用できる学術論文 2 報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間
	2	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	発表に向けた研究成果の振り返り		
11	該当する到達目標	予習	研究成果の発表準備を行う。	1 時間
	3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	発表に応用できる学術論文 1 報目の精読		
12	該当する到達目標	予習	発表に応用できる学術論文 1 報目を精読してくる。	1 時間
	3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	発表に応用できる学術論文 1 報目の発表と討論		
13	該当する到達目標	予習	発表に応用できる学術論文 1 報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間
	3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	発表に応用できる学術論文 2 報目の精読		
14	該当する到達目標	予習	発表に応用できる学術論文 2 報目を精読してくる。	1 時間
	3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
	講義内容	発表に応用できる学術論文 2 報目の発表と討論		
15	該当する到達目標	予習	発表に応用できる学術論文 2 報目の発表内容をまとめてくる。	1 時間
	3	復習	講義の内容をレポートにまとめる。	1 時間
備考	<p>※ 2 単位を修得するためには、講義時間(30 時間(実質 90 分×15 回))+予習・復習時間(60 時間(実質 3 時間×15 回))が必要です。不足分は各自で文献収集を行い、精読してその研究背景を調べること。</p> <p>オンラインで実施する場合には、別途提示する。</p> <p>【オフィスアワー】前期(火 4 時限目)、後期(火 4 時限目)。研究室:1 号館 4 階 401 研究室</p> <p>【メールアドレス】tanaka#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	木村 典代		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 栄養教育分野の新規知見や課題を理解し、食行動、食環境に関する調査方法や評価方法を用いて、関連課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。 ② 授業期間を通して、実践的なデータ整理、検定、解析方法、論文作成のための文章、図表、描画作成方法などの演習を行う。		
到達目標	1. 研究データの収集・利用、管理をすることができる 2. 得られたデータを客観的に分析することができる 3. 研究テーマの成果をまとめて、発表することができる		
学位授与方針との 対応	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。		
	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。		
	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。		
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	③ ④		
評価方法	提出物、討論、プレゼンテーション等を通して、到達目標の達成度を総合的に勘案し評価する。		
課題に対する フィードバック	授業時のコメントを通じてフィードバックを行う。		
使用教材	特に指定はしない。授業中に参考文献・参考図書を適宜紹介する。		
1	講義内容	研究データの収集・利用と保存管理について データの性質	
	該当する到達目標	予習	授業で使うデータを整理する 1.5時間
1		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
		講義内容	研究データの収集・利用と保存管理について エクセル上での管理とコツ
2	該当する到達目標	予習	エクセル上で自分のデータを整理してくる 1.5時間
	1	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
3	講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について 単純集計の復習	
	該当する到達目標	予習	単純集計について復習しておく 1.5時間
2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
		講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について クロス集計の復習
4	該当する到達目標	予習	クロス集計の復習しておく 1.5時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
5	講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について 相関係数の復習	
	該当する到達目標	予習	相関係数を復習しておく 1.5時間
2		復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
		講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について 多変量解析について 概要
6	該当する到達目標	予習	多変量解析の種類や解析の目的を調べてくる 1.5時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること 1.5時間
7	講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について 重回帰分析	
	該当する到達目標	予習	重回帰分析の方法を調べてくる 1.5時間

食品栄養学専攻

	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
8	講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について 因子分析		
	該当する到達目標	予習	因子分析の方法を調べてくる	1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
9	講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について 主成分分析		
	該当する到達目標	予習	主成分分析の方法を調べてくる	1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
10	講義内容	得られたデータを客観的に分析する方法について 共分散構造分析		
	該当する到達目標	予習	共分散構造分析の方法を調べてくる	1.5 時間
	2	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
11	講義内容	研究テーマの成果をまとめる グラフ 表の表し方		
	該当する到達目標	予習	自分のデータをつかって複数のグラフ 表を作成してみる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
12	講義内容	研究テーマの成果をまとめる 構造化抄録の書き方		
	該当する到達目標	予習	自分の研究の抄録を書いてくる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
13	講義内容	研究テーマの成果をまとめる パワーポイントを使った表現		
	該当する到達目標	予習	自分の研究の成果をパワーポイントにまとめる	1.5 時間
	3	復習	自分の研究の成果をパワーポイントにまとめる	1.5 時間
14	講義内容	研究テーマの成果をまとめる ポスターを使った表現		
	該当する到達目標	予習	自分の研究の成果をポスターにまとめる	1.5 時間
	3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	これまでの学習内容を見直してくる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	授業で学んだことについてレポートを作成すること	1.5 時間
備考	<p>オンラインで授業を実施する際の変更点:大学のオンラインシステムを通じて、初回授業前に実施方法を通知する</p> <p>オフィスアワー:講義のある日は、事前にメール連絡があれば対応可</p> <p>研究室:1号館301研究室 問い合わせ先:kimura#takasaki-u.ac.jp(#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	村松 芳多子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 食物に関わる広範囲な栄養学と食品学等に関する内容(研究課題)の一端を健康や疾病との関わりから模索し、人間栄養学・実験栄養学の研究手法を用いて分析・評価・検討する(食品科学総合演習Ⅰ承前)。</p> <p>② 講義と演習(実験と実習を含む)を中心に進め、発表や討論を実施する。</p>		
到達目標	<p>『何を覚えるかではなくて、どうやって考えるかという方法を習得し、「君たちはどう生きるか(吉野源三郎)」を考える。方法を見つける力があるならば、初めて出会った現象でも、これを探求するための方法を自分の力で考え出すことができる(石川伊織)』を实践する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英文学術論文を読むことができる</li> <li>2. 英文学術論文を要約し、結論について考察することができる</li> <li>3. 意見を論理的にまとめることができる</li> </ol>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
	✓	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">2</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">3</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">4</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">6</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">9</span> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">12</span> </div>		
評価方法	提出する論文(レポート)で評価する(100%)		
課題に対するフィードバック	提出課題に対し、コメント等をつけて返却する		
使用教材	必要に応じて配布する		
1	講義内容	概要(講義の進め方)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献検索・文献収集 1時間
		復習	文献整理(分類と要約) 1時間
2	講義内容	テーマの立て方	
	該当する到達目標 1	予習	文献検索・文献収集 1時間
		復習	文献整理(分類と要約) 1時間
3	講義内容	文献収集1(解説)	
	該当する到達目標 1,2	予習	文献検索・文献収集 1時間
		復習	文献整理(分類と要約) 1時間
4	講義内容	文献収集2(実践)	
	該当する到達目標 1,2	予習	文献検索・文献収集 1時間
		復習	文献整理(分類と要約) 1時間
5	講義内容	資料の整理1(解説)	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	文献検索・文献収集 1時間
		復習	文献整理(分類と要約) 1時間
6	講義内容	中間発表1	
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成 1時間

食品栄養学専攻

	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1時間
7	講義内容	資料の整理2(実践1)		
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1時間
	1,2,3	復習	図表の作成	1時間
8	講義内容	資料の整理3(実践2)		
	該当する到達目標	予習	文献検索・文献収集・文献整理(分類と要約)	1時間
	1,2,3	復習	図表の作成	1時間
9	講義内容	中間発表2		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1時間
	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1時間
10	講義内容	文書を書く1(解説、実践1)		
	該当する到達目標	予習	構想の箇条書き	1時間
	1,2,3	復習	構想の確認と論文(下書き)を書く	1時間
11	講義内容	文書を書く2(実践2)		
	該当する到達目標	予習	論文の下書き	1時間
	1,2,3	復習	論文の修正	1時間
12	講義内容	中間発表3		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1時間
	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1時間
13	講義内容	文書を書く3(実践3)		
	該当する到達目標	予習	論文の作成	1時間
	1,2,3	復習	論文の修正	1時間
14	講義内容	文書を書く4(実践4)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の作成	1時間
	1,2,3	復習	発表用資料の修正	1時間
15	講義内容	文書・論文の完成(提出)		
	該当する到達目標	予習	発表用資料の確認	1時間
	1,2,3	復習	発表用資料の再修正	1時間
備考	<p>授業の進め方:講義中に予習・復習課題について発表を求められることがある</p> <p>◎ 状況によりオンラインになった場合は別途メール等で連絡する</p> <p>国外の学術論文(英語)の収集、および論文を読む(テーマに関する論文を5~10程度)</p> <p>※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日等に必ず補うこと(課題等は、記載の平日時間だけでは終了できません)</p> <p>オフィスアワー:講義のある曜日の午後(3~5時限)</p> <p>研究室:1号館4階404</p> <p>教員への連絡方法は授業内で指示する</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	綾部 園子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 食品の嗜好性およびその評価に関する研究データの整理、検定、解析方法、および論文作成のための文章、図表、描画作成方法などを、総合的な演習を通して修得する。 ② 授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。		
到達目標	1. 適切なデータ整理、検定、解析方法を理解し実践できる。 2. 論文作成のツールの扱いを理解し実践できる。 3. 修得したことを修士論文作成に活用できる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめで発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	③ ⑫		
評価方法	実験データの扱い方(30%)、作成した文章・図表・描画(30%)、ディスカッション(40%)により総合的に評価する。		
課題に対する フィードバック	課題の返却や、ディスカッションを通じて、フィードバックを行う		
使用教材	特に指定はしないが、参考書を何冊か紹介する。 資料は適宜配布する。		
1	講義内容	イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法	
	該当する到達目標 1,2,3	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する 1 時間
		復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する 1 時間
2	講義内容	研究用データベースの活用について	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連する文献を検索し読む 1 時間
		復習	研究用データベースの活用について要約する 2 時間
3	講義内容	研究用データベース Access の基本	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連する文献を検索し読む 1 時間
		復習	研究用データベースの構築法について要約する 2 時間
4	講義内容	Access の活用した研究用データベースの構築	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連する文献を検索し読む 1 時間
		復習	Access を用いた研究用データベースのフォームを完成する 2 時間
5	講義内容	データの検定法 1(量的データの検定)	
	該当する到達目標 1	予習	関連する文献を検索し、読む 1 時間
		復習	量的データの検定法について要約する 2 時間
6	講義内容	データの検定法 2(質的データの検定)	
	該当する到達目標 1	予習	関連する文献を検索し、読む 1 時間
		復習	質的データの検定法について要約する 2 時間
7	講義内容	多変量解析によるデータの解析方法	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	1	復習	総多変量解析による解析方法について要約する	2 時間
8	講義内容	因子分析法		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	1	復習	因子分析法について要約する	2 時間
9	講義内容	クラスター分析法		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	1	復習	クラスター分析法について要約する	2 時間
10	講義内容	論文作成方法について		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2 時間
	2	復習	論文作成方法について要約する	1 時間
11	講義内容	アウトライン化による論文構成論文づくり		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	2,3	復習	修士論文作成に向けてのアウトライン化する	2 時間
12	講義内容	図表の作成法		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	2,3	復習	研究結果を適切な図表で表現する	2 時間
13	講義内容	写真データの取り扱い		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	2,3	復習	写真データの取り扱いについて要約する	2 時間
14	講義内容	研究用イラスト・化学構造式描画の作成方法		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	1 時間
	2,3	復習	研究用イラスト・化学構造式描画について要約する	2 時間
15	講義内容	まとめ		
	該当する到達目標	予習	既学習内容について見直しておく	2 時間
	1,2,3	復習	既修得内容を修士論文作成につなげる	2 時間
備考	<p>オフィスアワー: 授業日の 3~5 時限、質問はメールでも受け付ける                      研究室: 1 号館 4 階 406                      教員への連絡方法は授業内で指示する。</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	未定		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 応用栄養学分野の新規知見や課題を理解し、生化学、分子生物学的知識、および実験技術を用いて、関連課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を養う。</p> <p>② 研究内容の紹介を行い、研究課題についてディスカッションを行う。配布された資料を基に、研究内容に関する自主的な発展的学習を行う。</p>		
到達目標	<p>1. 関連分野の新規知見や課題についての情報を自ら調べることができる。</p> <p>2. 生化学、分子生物学的知識、および実験技術を用いて、関連課題に関する新規情報を得ることができる。</p> <p>3. 新規情報を適切に取りまとめ、他者へ説明できる。</p>		
学位授与方針との対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの関連	<span style="color: green; font-weight: bold;">3</span> <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span>		
評価方法	授業内での課題の内容等を勘案し、総合的に評価する。		
課題に対するフィードバック	課題の出題意図、評価基準について説明する。		
使用教材	講義に関する教材について、授業の中で紹介を行う。		
1	講義内容	研究の立案	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
2	講義内容	研究計画の作成	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
3	講義内容	研究計画の発表・討論	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
4	講義内容	研究計画の実施(遺伝子の解析)	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
5	講義内容	研究計画の実施(タンパク質の解析)	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
6	講義内容	研究計画の実施(生化学指標の解析)	
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。 1.5時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。 2時間
7	講義内容	研究計画の実施(生理学指標の解析)	

食品栄養学専攻

	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
8	講義内容	研究計画の実施(形態学的解析)		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
9	講義内容	研究結果の統計解析		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
10	講義内容	研究結果の評価		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
11	講義内容	研究成果に関する討論		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
12	講義内容	論文の形式と書き方		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
13	講義内容	論文作成		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
14	講義内容	研究成果の発表準備		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
15	講義内容	研究成果の発表		
	該当する到達目標	予習	指定された資料、自主的に入手した資料を読み、分からない点を調べる。	1.5 時間
	1,2,3	復習	講義内容に関連する情報や知識を自主的に調べ、講義内容の理解を深める。	2 時間
備考	<p>予習・復習については、研究論文の事前学習や研究発表・レジュメ作成に関わる自習で補完する。                      授業の実施方法の通知や課題提出等は、授業支援システム(C-learning)を用いて行う。                      オフィスアワー:未定                      研究室:未定                      メールアドレス:未定</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学総合演習Ⅱ		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Science Ⅱ		
担当教員	應本 真		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 2年 通年 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 食品科学に関連する学術論文を精読することにより、自分の研究成果のまとめ方や発表する能力を養うことを目標とする。 ② 本講義では、毎回各テーマについて、討論と考察を行う。		
到達目標	1. 研究方法に関連する学術論文を精読し、自分の研究テーマに応用することができる。 2. 研究テーマに関連する学術論文を精読し、研究結果の解釈に応用することができる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
		栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。 栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	2 3 4 9		
評価方法	授業中の質疑応答 60%、レポート 40%		
課題に対する フィードバック	レポートについては、提出後、その内容のディスカッションを行う。		
使用教材	特に指定はしないが、学術雑誌の論文を参考書とすることがある。演習に使用する資料は適宜配布する。		
1	講義内容	研究用データベースソフトの構築法(概論)	
	該当する到達目標 1,2	予習	無 0時間
2	講義内容	研究用データベースソフトの構築法(基礎)	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
3	講義内容	研究用データベースソフトの構築法(実践)	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
4	講義内容	実験データの検定法(概論)	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
5	講義内容	実験データの検定法(基礎)	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
6	講義内容	実験データの検定法(実践)	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間
7	講義内容	多変量解析による実験データ解析法(概論)	
	該当する到達目標 1,2	予習	関連分野の文献を読んでくる 1時間

食品栄養学専攻

8	講義内容	多変量解析による実験データ解析法(主成分解析)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
9	講義内容	多変量解析によるデータ解析法(判別解析)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
10	講義内容	論文作成方法(概論)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
11	講義内容	論文作成方法(アウトライン化法による論文構成)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
12	講義内容	論文作成方法(グラフの作成)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
13	講義内容	論文作成方法(写真データの編集)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
14	講義内容	論文作成方法(表の作成)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
15	講義内容	論文作成方法(まとめ)		
	該当する到達目標	予習	関連分野の文献を読む	1時間
	1,2	復習	関連分野の文献をまとめる	1時間
備考	<p>予習・復習の時間数: 不足分については中間まとめ・まとめ前等の学習で補完すること。</p> <p>オフィスアワー: 随時</p> <p>研究室: 1号館4階402</p> <p>メールアドレス: oumoto#takasaki-u.ac.jp (#→@)</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食育特論		
英文名	Advanced Shokuiku		
担当教員	綾部 園子		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1年 前期 選択 2単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	<p>① 食育は、学習指導要改定により学校教育に位置づけられた理由は、食をめぐるさまざまな課題解決のための学びの重要性が認識されたからである。本講義では、食育が果たすべき役割を具体的事例から探り、食に関する諸問題とその解決に向けた食育の企画・提案するための知識と技術を修得する。</p> <p>② 授業はレクチャー形式および対話形式で実施する。</p>		
到達目標	<p>1. 教育や保育の場における「食育」の必要性や有効性に関する最近の情報を収集し分析できる。</p> <p>2. 今後の「食育」のあり方や教育現場における食育事例について説明できる。</p> <p>3. 効果的な食育を具体的に企画・提案できる。</p>		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
		食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
		食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。		
SDGsとの 関連	<p style="text-align: center;"> <span style="color: green; font-weight: bold;">3</span>   <span style="color: red; font-weight: bold;">4</span> <span style="margin-left: 200px; color: orange; font-weight: bold;">12</span> </p>		
評価方法	討論 50%、レポート 50%		
課題に対する フィードバック	レポートをルーブリック評価し、コメントをつけて返却する		
使用教材	特に指定はしないが、参考書を何冊か紹介する。 資料は適宜配布する。		
1	講義内容	イントロダクションー授業の進め方、到達目標、評価方法	
	該当する到達目標	予習	シラバスを読んで講義の目標などを理解する 1時間
	1,2	復習	講義内容、到達目標、学位授与方針、成績評価方法などを確認する 1時間
2	講義内容	現代社会における食と健康に関する課題の最新情報	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む 2時間
	1	復習	食と健康に関する最新情報について理解する 1時間
3	講義内容	食育基本法と食育推進基本計画の変容	
	該当する到達目標	予習	食育基本法と食育推進基本計画を読む 1時間
	1	復習	食育基本法と食育推進基本計画について理解する 2時間
4	講義内容	「食」は生きること一食と栄養の基礎	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し読む 2時間
	1	復習	「食」の重要性について理解する 1時間
5	講義内容	母子保健における食育の推進	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む 2時間
	1	復習	母子保健における食育について理解する 1時間
6	講義内容	保育における食育の推進	
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む 2時間
	1	復習	実際に保育における食育について理解する 1時間

食品栄養学専攻

7	講義内容	教育現場における食育の推進(1)学校における食育目標、年間計画の策定		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2	復習	学校における食育目標、年間計画の策定について理解する	1時間
8	講義内容	教育現場における食育の推進(2)体験活動と食育		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2,3	復習	体験活動と食育について理解する	1時間
9	講義内容	教育現場における食育の推進(3)教科と食育		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2,3	復習	教科における食育について理解する	1時間
10	講義内容	教育現場における食育の推進(4)特別活動・道徳と食育		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2,3	復習	特別活動・道徳における食育について理解する	1時間
11	講義内容	教育現場における食育の推進(5)食育の目標・計画・評価・改善・継続		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2,3	復習	学校における食育目標・計画・評価・改善・継続について理解する	1時間
12	講義内容	学校や保育園と家庭が連携した食育の推進		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2,3	復習	学校や保育園と家庭が連携について理解する	1時間
13	講義内容	地域と連携した食育の推進		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2,3	復習	地域と連携した食育について理解する	1時間
14	講義内容	世代間交流による食育の推進		
	該当する到達目標	予習	関連する文献を検索し、読む	2時間
	1,2,3	復習	世代間交流による食育の推進について理解する	1時間
15	講義内容	学生のための食教育のプレゼンテーション、まとめ		
	該当する到達目標	予習	学生の現状を把握し、目標を考えておく	2時間
	1,2,3	復習	プレゼンテーションを修正し、レポートを作成する	2時間
備考	<p>オフィスアワー:授業日の3~5時限、質問はメールでも受け付ける。</p> <p>研究室:1号館4階406</p> <p>教員への連絡方法は授業内で指示する。</p>			

食品栄養学専攻

科目名	食品栄養学特別研究		
英文名	Seminar for Master's Thesis on Food and Nutrition Sciences		
担当教員	下川哲昭、岡村信一、田中進、木村典代、村松芳多子、應本真、綾部園子、未定1、未定2		
時期・単位	食品栄養学専攻博士前期課程 1・2年 通年 必修 8単位		
実施概要 ①講義の目標 ②講義の実施方法	① 食品栄養学に関する修士論文のテーマ設定、研究計画の作成、研究の実施、論文の作成のすべての過程において、指導教員による適切な助言・指導を受け、修士論文を完成させる。 ② レクチャー方式、対話形式に実施する。		
到達目標	1. 研究の進め方を身につける。 2. 研究論文の構成を理解し、修士論文を完成させる。		
学位授与方針との 対応	✓	食品栄養学全般にわたる該博な知識を身につけている。	
	✓	食品安全に関する知識と安全性を確保するための実践能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる生化学、分子生物学的知識および実験技術を身につけている。	
	✓	栄養指導、栄養教育を効果的に実践するための能力を身につけている。	
	✓	食品栄養に関わる課題を研究し、その成果を適切に取りまとめて発表する能力を身につけている。	
	✓	栄養管理の専門職としての使命感と倫理観をもつ。	
SDGsとの 関連	② ③ ④		
評価方法	修士論文作成過程における研究態度、論文の完成度、審査の過程、および発表会での講演・質疑を総合的に評価する。		
課題に対する フィードバック	日常より、計画・実施・検証・改善・評価等の議論を行い支援する。		
使用教材	別途指示する。		
講義内容	第1回～第5回 研究課題の決定 第6回～第10回 研究計画の立案 第11回～第30回 本研究の前段的遂行 第31回～第35回 中間発表会の準備・発表(2年次) 第36回～第45回 本研究の遂行 第46回～第57回 修士論文の作成 第58回～第60回 修士論文発表会の準備・発表		
	予習	研究テーマに関連した文献を出来るだけ収集し、研究論文の質を向上させる。	1時間
	復習	研究テーマについて計画・実施・検証・改善・評価等を行い、研究論文の質を向上させる。	1時間
備考	他の院生や研究科内の教員、学内外の専門家との議論や交流を通じて、研究者としての基本を身につける。 ※ 平日の予習・復習時間の不足分は、土日祝日、長期休暇等に必ず補うこと。 教員への連絡方法は、担当教員の初回授業時に提示する。 オフィスアワー: 講義のある曜日の午後(3～5時限)		